

北海道立帯広美術館年報
平成13年—14年度

北海道立帯広美術館年報

平成13年－14年度



目 次

目 次	3
展覧会事業	
平成13-14年度コレクション・ギャラリー一覧	5
シルクスクリーン 孔版画の世界	6
多賀新展	7
ジュール・シェレ	9
ペル・エポックの商品ポスター	10
池田緑展	11
でこぼこ・ざらざらー見る触感	13
パストラル 田園詩ー19世紀フランスの風景画	14
平成13-14年度特別展一覧	16
帯広美術館コレクション選集	18
アレクサンダー・カルダー展	21
中国美術の精華	25
2001年シネマ・オデッセイ	32
バルビゾンと田園の画家たち	38
美術への扉ーコレクション十年十色	43
さくらに見る日本の美	48
岡本太郎と縄文	52
ニルス=ウド展【自然へ】	57
寺島春雄展	63
帯広美術館コレクション選集	67
絵本原画の世界展	70
教育普及事業	
美術講演会	80
特別展セミナー	81
ミュージアム・カレッジ	82
土曜映写室／映写室スペシャル	83
トークショー	84
ワークショップ	84
アートウォッチング	85
キッズ・ミュージアム	86
ミュージアム・ミステリー	87
団体オリエンテーション	89
博物館実習	90
移動美術館	91
芸術週間	94
ミュージアム子どもフェスタ	95
その他	96
美術作品の収集	
平成13年度作品収集状況	99
購 入	99
受 贈	99
平成14年度作品収集状況	100
購 入	100
受 贈	100
図版目録	101
美術作品の貸出	112
特 別 観 覧	113
貸 館 事 業	114
名 簿	115
館 内 案 内 図	116
建 築 概 要	117
設 備 概 要	117
沿 革	118
観 覧 者 数 一 覧	119

展覧会事業

平成13年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数
1	シルクスクリーン 孔版画の世界	4月6日(金)～6月17日(日)	59
2	十勝の新時代Ⅳ 多賀新展	6月23日(土)～9月5日(水)	60
3	近代ポスターの父 ジュール・シェレ	9月14日(金)～12月12日(水)	72

平成14年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数
1	19世紀から20世紀へ ベル・エポックの商品ポスター	4月9日(火)～7月3日(水)	67
2	十勝の新時代Ⅴ 池田緑展	7月12日(金)～9月16日(月/振休)	58
3	でこぼこ・ざらざら一見る触感	9月27日(金)～1月10日(金)	79
4	パストラル 田園詩ー19世紀フランスの風景画	1月16日(木)～3月26日(水)	56

シルクスクリーン 孔版画の世界

会期＝平成13年4月6日(金)－6月17日(日)59日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

孔版画とは版を図柄の形に切り抜き、そこにインクを透過させて切り抜いた部分の形そのままに図柄を印刷する版画技法。版材に絹布を用いたシルクスクリーンのほか謄写版やプリントごっこなど、孔版画技術は日常の幅広い分野で利用されている。

シルクスクリーンは、どのような素材や形状にも印刷できること、ほかの版画技法では得られない平滑で鮮やかな色面が得られることなどの特色から産業技術として重用されるばかりでなく、美術の領域においても、版表現の源流が問い直され実験的版画作品が制作された1960年代以降、ゆたかな表現力と可能性を秘めた技法として大きな注目を集めた。

本展では、当館所蔵品のなかから孔版画作品31点を展示、その表現の魅力を紹介した。また、解説パネルのほか製版されたシルクスクリーンの版材や家庭普及版のプリント機器などの資料を併せて展示し、版表現の可能性を支える技術についてわかりやすく伝える内容とした。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	幾 嘸	オープニング或いは再び田園	1992 (平成4)	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0 (2点組)
2	磯辺行久	江戸障壁	1965 (昭和40)	ミクストメディア	200.2×299.0
3	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	105.1×74.9
4	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	102.8×72.7
5	岡部昌生	版画集『12稜空間』－「Record-Feb.」	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	29.1×20.7
6	栗谷川健一	古代オリンピック塔	1959 (昭和34)	シルクスクリーン、紙	104.0×73.2
7	小谷博貞	風景	1951 (昭和26)	謄写版、紙	18.0×19.4
8	小谷博貞	窓	1951 (昭和26)	謄写版、紙	22.1×19.1
9	小谷博貞	蝶	1963 (昭和38)	シルクスクリーン、ポリエチレン	181.2×72.4
10	小谷博貞	シルバー・シャワー	1986 (昭和61)	シルクスクリーン、紙	46.6×33.5
11	小谷博貞	樹氷	1996 (平成8)	シルクスクリーン、紙	42.8×32.9
12	小谷博貞	海霧	1996 (平成8)	シルクスクリーン、紙	43.4×28.3
13	後藤和子	版画集『12稜空間』－「CURVE」	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、オフセット、紙	24.8×19.6
14	菅井 汲	シグナルD	1976 (昭和51)	シルクスクリーン、紙	33.4×22.3
15	杉山留美子	版画集『12稜空間』－「崩壊感覚」	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、オフセット、紙	24.8×19.6
16	中谷有逸	レダ (71-2)	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	45.0×62.7
17	中谷有逸	三羽の鳥 (水辺の形)	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	33.9×50.4
18	中谷有逸	三羽の鳥 (夜に飛ぶ)	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、紙	50.2×34.7
19	難波田龍起	無題	1951 (昭和26) 頃	謄写版、紙	32.5×21.9
20	野崎嘉男	版画集『12稜空間』－「ノドチンコ」	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	20.4×19.8
21	堀内掬夫	版画集『12稜空間』－「作品Au4-11」	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	17.9×22.4
22	丸藤信也	版画集『12稜空間』－「数字」	1973 (昭和48)	孔版、紙	24.0×19.3
23	百瀬 寿	Square-Metallic Yellow and Silver	1984 (昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
24	百瀬 寿	Square-Metallic Green and Violet	1984 (昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
25	矢崎勝美	版画集『12稜空間』－「鏡」	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、オフセット、紙	26.8×21.9
26	矢柳 剛	あなたのハートがでたとき	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	60.0×53.0
27	矢柳 剛	地球人間	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	77.7×78.0
28	矢柳 剛	みえる鏡を拒否する鏡	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、鏡、紙	78.0×103.5
29	横尾忠則	葬列Ⅱ	1969 (昭和44) / 再制作: 1985 (昭和60)	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×奥行9.5
30	米谷雄平	版画集『12稜空間』－「浸蝕の過程」	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	22.0×20.3
31	R.リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3

* 寸法は縦×横 (×奥行)

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵

十勝の新時代Ⅳ 多賀 新 展

会期＝平成13年6月23日(土)－9月5日(水) 60日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

() 内は10名以上の団体料金

関連事業

トークショー

「エロスと死を見つめて－私と版画制作」

講師＝多賀新氏(版画家)

日時＝8月18日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

図 録

規格＝27.0×21.5cm／総頁数28ページ

構成＝あいさつ／石尾乃里子「死からエロスへ、エロスから生へ」／作品図版／多賀新略年譜／出品リスト／参考文献

関連記事

菅訓章「画家と宗教」北海道新聞／8月2日

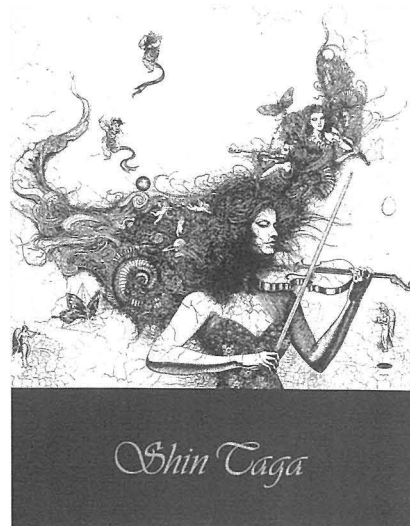
多賀新「my hometown わたしの十勝」北海道新聞／8月14日

瀬尾明彦「多賀新に魅せられて」北海道新聞／8月16日

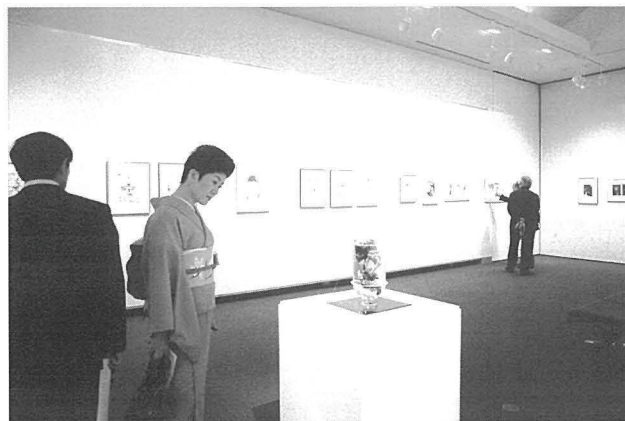
本展覧会は、現在および今後の活躍が期待される十勝ゆかりの美術家を個展形式で取り上げるシリーズ企画「十勝の新時代」の第4回展である。今回は、十勝管内本別町出身の版画家・多賀新の作品を紹介した。

多賀新は、銅版画の技術を独習し、その精緻な技法を駆使した幻視的な作品によって早くから注目を集めてきた。以降個展を中心に意欲的な創作活動を展開、銅版画の微細な描線によって解剖学的な図像を描き出した作品は、国内外で高い評価を得ている。本展では、1980年代以降近年の代表的な銅版画40点に加え、緻密な線描を一層際立たせた鉛筆画の最新作をふくむ13点、版画や写真の技法あるいは朽ちゆく生物などを用いた立体作品8点、計62作品により、人間の生とエロスの内奥に肉迫する独自の表現世界を紹介した。出品作品は、銅版画、鉛筆画、立体作品の3コーナーにより構成し、生の根源を見つめる作家の共通する視点が理解されるよう配慮した。

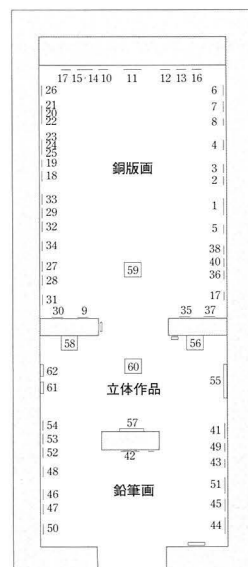
十勝出身で日本を代表する版画家の個展であることから、地元のファンや美術家からも関心を集め、入場者は3,670人を数えた。また会期中の関連事業としてトークショーを開催、作家本人の口から語られる創作体験の講話は、聴講者が多賀新の作品の鑑賞を深める好機となった。



図録



会場風景



展示図面

出品目録

■銅版画

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	双壁	1982 (昭和57)	エッチング、アクアチント、和紙	49.7×36.5	北海道立帯広美術館
2	誘惑	1987 (昭和62)	エッチング、アクアチント、和紙	36.5×24.2	作者
3	幽舞	1987 (昭和62)	エッチング (ルーレット)、和紙	36.5×23.8	作者
4	一雙	1987 (昭和62)	エッチング、アクアチント、和紙	24.0×36.2	作者
5	落飾	1988 (昭和63)	エッチング、和紙	36.5×24.0	北海道立帯広美術館
6	蜃気楼のように	1990 (平成2)	エッチング、和紙	36.3×21.8	作者
7	チェリスト	1990 (平成2)	エッチング、和紙	36.5×30.8	作者
8	ちょっと!!	1991 (平成3)	エッチング、和紙	39.7×28.0	作者
9	バイオリニストⅠ	1992 (平成4)	エッチング、和紙	33.0×36.5	北海道立帯広美術館
10	太古の夢 (ユニコーン)	1993 (平成5)	エッチング、アクアチント、和紙	36.5×23.1	北海道立帯広美術館
11	夢神	1993 (平成5)	エッチング、和紙	29.5×52.0	北海道立帯広美術館
12	夢魂	1994 (平成6)	エッチング、アクアチント、和紙	25.0×36.3	作者
13	夢寐	1994 (平成6)	エッチング、アクアチント、和紙	25.0×36.3	作者
14	夢艶	1994 (平成6)	エッチング、アクアチント、和紙	24.8×18.4	作者
15	驚草幻想	1994 (平成6)	エッチング、アクアチント、和紙	24.8×18.4	作者
16	メルヘン	1995 (平成7)	エッチング、アクアチント、和紙	31.0×18.4	作者
17	燐火	1995 (平成7)	エッチング、アクアチント、和紙	24.8×18.4	作者
18	Miss O嬢	1996 (平成8)	エッチング、和紙	24.0×18.2	作者
19	黄昏	1996 (平成8)	エッチング、和紙	26.5×20.5	作者
20	受難告知 (Ⅰ)	1997 (平成9)	エッチング、和紙	24.1×18.3	作者
21	受難告知 (Ⅱ)	1997 (平成9)	エッチング、和紙	22.0×18.3	作者
22	受難告知 (Ⅲ)	1997 (平成9)	エッチング、和紙	22.0×18.3	作者
23	夜明け前	1997 (平成9)	エッチング、和紙	22.0×18.2	作者
24	白い時・刻	1997 (平成9)	エッチング、アクアチント、ドライポイント、和紙	22.0×18.2	作者
25	夕刻の風	1997 (平成9)	エッチング、和紙	22.0×18.2	作者
26	受難記 (Ⅵ)	1997 (平成9)	エッチング、和紙	36.5×23.8	作者
27	告知の舞	1998 (平成10)	エッチング、和紙	36.4×24.0	作者
28	独舞	1998 (平成10)	エッチング、和紙	36.0×23.5	作者
29	ネコとポーズ	1998 (平成10)	エッチング、和紙	36.5×24.0	作者
30	バイオリニスト (Ⅲ) 序曲	1998 (平成10)	エッチング、和紙	36.5×23.8	作者
31	蓮華と芥子	1998 (平成10)	エッチング、和紙	23.7×36.5	作者
32	一ツの季節 (芙蓉)	1998 (平成10)	エッチング、和紙	36.2×23.7	作者
33	蜻蛉と鶏頭図	1998 (平成10)	エッチング、和紙	36.5×23.7	作者
34	秋草と鶉図	1998 (平成10)	エッチング、和紙	36.5×24.0	北海道立帯広美術館
35	カーマストラⅤ	2000 (平成12)	フォトエッチング、和紙	24.0×18.2	作者
36	沈黙	2000 (平成12)	フォトエッチング、和紙	24.0×18.2	作者
37	告白	2000 (平成12)	フォトエッチング、和紙	24.0×18.2	作者
38	道標 (中有へ)	2000 (平成12)	フォトエッチング、和紙	33.5×24.0	作者
39	漆黒のノイズ	2000 (平成12)	フォトエッチング、和紙	26.0×19.4	作者
40	告知の予感	2000 (平成12)	フォトエッチング、和紙	28.0×20.2	作者

■鉛筆画

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
41	三馬神	1994 (平成6)	鉛筆、紙	30.6×43.0	個人
42	海母 (水母)	1995 (平成7)	鉛筆、紙	38.6×53.2	個人
43	眼・Ⅱ (呟)	1996 (平成8)	鉛筆、紙	33.0×28.0	作者
44	舞う	1996 (平成8)	鉛筆、紙	47.0×65.0	渥美一統氏
45	聖セバスチャンの殉教	1999 (平成11) ~ 2000 (平成12)	鉛筆、紙	45.0×28.0	作者
46	カーマストラⅠ	2000 (平成12)	鉛筆、紙	32.0×24.0	石田剛氏
47	カーマストラⅡ	2000 (平成12)	鉛筆、紙	33.0×22.0	小野綾子氏
48	七面像	2000 (平成12)	鉛筆、紙	35.0×24.0	作者
49	瞳 (ユニコーン)	2000 (平成12)	鉛筆、紙	18.2×27.0	作者
50	ステイグマータ	2000 (平成12)	鉛筆、紙	35.0×25.0	作者
51	スフィンクス (土方巽氏に捧ぐ)	2000 (平成12)	鉛筆、紙	42.0×58.0	作者
52	ほおえみ	2001 (平成13)	鉛筆、紙	32.0×26.0	作者
53	済生	2001 (平成13)	鉛筆、紙	34.0×24.0	作者
54	心	2001 (平成13)	鉛筆、紙	34.0×24.0	作者

■立体作品

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
55	フレンドリー	1989 (平成元) ~ 1990 (平成2)	ミクストメディア	120.7×10.2×60.3	北海道立帯広美術館
56	スリーX (ジャスパー・ジョーンズに捧ぐ)	1992 (平成4)	ミクストメディア	32.0×12.5×28.5	作者
57	シーラカンス	1994 (平成6)	ミクストメディア	98.0×9.0×48.0	作者
58	存在の証 (Ⅰ)	1999 (平成11)	ミクストメディア	32.0×5.5×26.0	彩鳳堂画廊
59	存在の証 (Ⅱ) 2001年宇宙の旅 スタンリー・キューブリックに捧ぐ	1999 (平成11)	ミクストメディア	27.0×28.0×35.0	彩鳳堂画廊
60	黒薔薇	1999 (平成11)	ミクストメディア	23.0×27.1×21.5	彩鳳堂画廊
61	Joseph Cornell的私的コレクションⅠ	1999 (平成11)	ミクストメディア	21.7×6.0×31.5	彩鳳堂画廊
62	Joseph Cornell的私的コレクションⅡ	1999 (平成11)	ミクストメディア	26.8×6.0×35.8	彩鳳堂画廊

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ

近代ポスターの父 ジュール・シェレ

会期＝平成13年 9月14日(金)－12月12日(水) 72日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

1836年パリに生まれたジュール・シェレは、ロンドンでリトグラフ印刷術を習得したのち、パリに戻ってポスターの制作を開始。1870年代にはパリでも有数の印刷工房を率いて成功を収めた。明るい色彩と軽快な筆致、女性像を中心とした華やかな画面を特徴とするその作品は、パリの街角を彩り人気を博した。このように、ポスター芸術の黎明期に活躍したシェレは、近代ポスターの父とも称されている。

本展では、当館が所蔵するシェレの作品25点を展示、優美さに満ちた作品世界を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	「スコットランドの王位」ヴァリエテ座	1871	リトグラフ、紙	70.5×49.0
2	カフェ＝コンセル「19世紀」	1882	リトグラフ、紙	56.3×40.5
3	ジャルダン・ド・パリー見世物、舞踏会、コンサート	1884	リトグラフ、紙	117.0×82.1
4	「フランドール」オペラ座	1884	リトグラフ、紙	70.5×50.5
5	グレヴァン博物館－ジプシー楽士のコンサート	1885	リトグラフ、紙	120.0×81.1
6	ジョルジュ・デュヴァル著「笑うパリ」	1886	リトグラフ、紙	19.1×28.1
7	新聞「パリ風聞」	1888	リトグラフ、紙	118.4×82.3
8	プチ・サン＝トマーおもちゃ、本	1889	リトグラフ、紙	117.5×82.2
9	カフェ＝コンセル「新サーカス」	1889	リトグラフ、紙	117.4×83.2
10	道化	1880年代	リトグラフ、紙	20.0×14.0
11	第4回上映会「白と黒」	1890	リトグラフ、紙	120.7×80.0
12	カフェ＝コンセル「ジャルダン・ド・パリ」	1890	リトグラフ、紙	79.3×54.3
13	白粉「ディアファース」	1890	リトグラフ、紙	39.0×82.6
14	新劇場－網渡りとパントマイム	1891	リトグラフ、紙	119.4×84.6
15	風邪薬「バスティユ・ジェローデル」	1891	リトグラフ、紙	49.4×25.0
16	「鏡」フォリー＝ベルジェ劇場	1892	リトグラフ、紙	122.0×83.2
17	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4
18	フォリー＝ベルジェ劇場のエミリエンヌ・ダランソン	1893	リトグラフ、紙	80.0×57.9
19	ミュージック・ホール「エルドラド」	1894	リトグラフ、紙	55.8×37.3
20	マリアーニ・ワイン	1894	リトグラフ、紙	53.9×37.3
21	安全灯油「サクソレーヌ」	1894	リトグラフ、紙	51.2×33.2
22	安全灯油「サクソレーヌ」	1896	リトグラフ、紙	243.5×85.0
23	ルーヴル百貨店－1897年新春大売出し	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0
24	兵士・婦人	19世紀後半	リトグラフ、紙	28.2×22.3
25	グレヴァン博物館（文字刷り前のポスター）	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5

* 寸法は縦×横

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵

19世紀から20世紀へ ベル・エポックの商品ポスター

会期＝平成14年4月9日(火)－7月3日(水) 67日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

()内は10名以上の団体料金

19世紀末から20世紀はじめにかけてのヨーロッパでは、近代的な資本主義経済の発展や市民を主役とする大衆社会の確立にともない、華やかな消費生活が繰り広げられた。「ベル・エポック＝古き良き時代」と呼ばれるこの時代には、酒やタバコといった嗜好品、あるいは白熱灯や自動車など新たな商品がさかんに生産され流通して、人々の生活を彩ったのである。

これら商品を宣伝するうえで大きな役割を果たしたのが、街頭に貼り出された大判多色刷りのリトグラフ・ポスターである。さまざまな商品や流行の風俗が鮮やかに描き出されたポスターは、ベル・エポックの雰囲気伝える「時代の証言者」としての役割を備えている。その一方で、作家たちの個性や美意識、あるいは美術界からの影響を映してさまざまな描写や表現、スタイルによって描かれたポスターは、当時の人々にとって最も身近な「街角の美術」でもあった。

この展覧会では、当館の所蔵作品のうちベル・エポックの社会風俗と美意識を伝える商品ポスターを展示した。また、作家解説のほか、当時の消費生活を伝える工業製品や嗜好品などについての解説パネルを併せて掲示し、作品の背景となる時代状況についても理解できるように配慮した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	R.ヴァンサン	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2
2	E.オジェ	自動印刷機「シクロスティル」	1900頃	リトグラフ、紙	139.0×100.0
3	カッサンドル	ジャンシアヌ＝キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ、紙	154.2×114.5
4	L.カピエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
5	E.グラッセ	あんず酒「アブリコティヌ」	1895頃	リトグラフ、紙	109.5×149.5
6	J.シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4
7	J.シェレ	ルーヴル百貨店ー1897年新春大出し	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0
8	J.シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1896	リトグラフ、紙	243.5×85.0
9	C.ティション	自転車「メトロポール」	1890頃	リトグラフ、紙	139.0×99.0
10	J.-G.ドメルグ	ギャラリー・ラファイエット百貨店ー国債募集	1920	リトグラフ、紙	154.6×115.5
11	O.バウムベルガー	高品質のPKZ	1921	リトグラフ、紙	124.5×84.2
12	バルドリッシュ	果物は健康食品	1928	リトグラフ、紙	107.5×66.5
13	F.ブイセ	「プーラン・チョコレート」	1898	リトグラフ、紙	180.0×115.5
14	A.フォス	純ニッケル	1900頃	リトグラフ、紙	129.0×94.0
15	L.L.フォール	ザンドウ筋肉増強器	1899	リトグラフ、紙	139.5×99.5
16	フラム／ヴァルマン	タバコ巻紙「スエズ」	1890-1900頃	リトグラフ、紙	130.0×99.0
17	G.ベルニ	最高級浄水器	1893	リトグラフ、紙	128.5×99.0
18	ミシュ	自転車「ロワイヤル＝ファブリク」	1920頃	リトグラフ、紙	150.2×113.5
19	A.M.ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5×94.0
20	ラコット	ペリエのりんご酒	1900頃	リトグラフ、紙	119.5×79.5
21	ラチャ	体育教室	1885頃	リトグラフ、紙	123.5×90.5
22	P.ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
23	L.ルフェーヴル	白熱灯「エレクトリシーヌ」ー赤と白	1894	リトグラフ、紙	245.0×86.0
24	不詳	脱毛防止剤「ベルテュイジヌ」	1899	リトグラフ、紙	86.5×66.0
25	不詳	シトロエンの在庫	1923	リトグラフ、紙	156.0×116.0
26	不詳	「ムニエ・チョコレート」	1929	リトグラフ、紙	112.4×72.5

* 寸法は縦×横

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵

十勝の新時代V 池田 緑 展

会期＝平成14年7月12日(金)－9月16日(月/振替休日) 58日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料。()内は10名以上の団体およびとち国際現代アート展「デメーテル」入場券提示者の料金

関連事業

ワークショップ

「マスク・プロジェクト：グリーンパークから丘の上の美術館へ」

講師＝池田緑氏(美術家)

日時＝6月23日(日) 午後2時～4時30分

会場＝帯広市緑ヶ丘公園

トークショー

「標本から沈黙の風景へー私の創作過程」

講師＝池田緑氏(美術家)

日時＝8月3日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

図 録

規格＝27.0×21.5cm／総頁数24ページ

構成＝あいさつ／石尾乃里子「静かなる道標」／作品図版／池田緑略年譜／出品リスト

関連記事

池田緑「現代アート・池田緑の世界 上・中・下」十勝毎日新聞／7月31日～8月2日

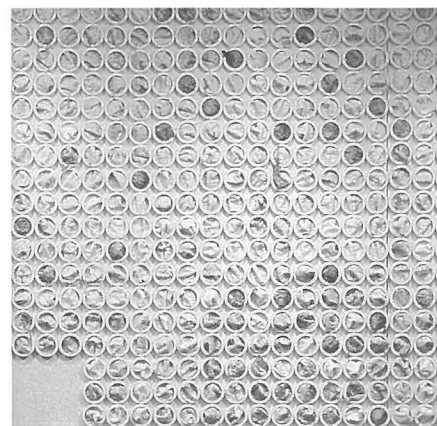
「自らの生を標本化」北海道新聞／8月1日

瀬尾明彦「語りかけてくるマスク」北海道新聞／8月14日

石尾乃里子「十勝の新時代V池田緑展 上・中・下」十勝毎日新聞／8月22日～24日

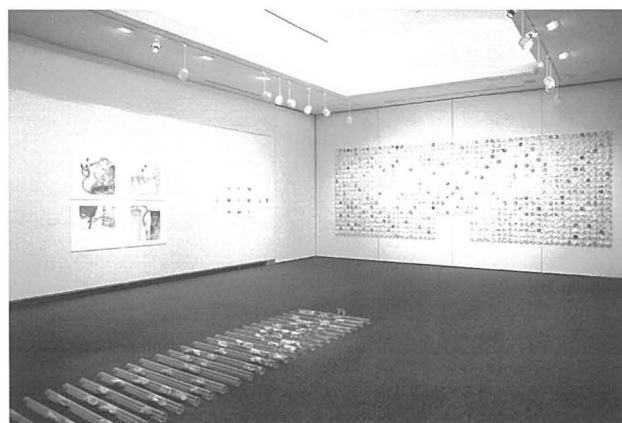
本展は、現在および今後の活躍が期待される十勝ゆかりの美術家を個展形式で取り上げるシリーズ企画の第5回展である。今回は、帯広在住の美術家・池田緑の作品を紹介した。

池田緑は十勝を拠点に1980年代から平原社展や全道展、独立展に油彩画を発表、90年代半ばからはさまざまな造形作品やインスタレーションにより各種コンクール展への入選や受賞、野外美術展への参加を重ね、地元の現代美術界に活況を与えてきた。すぐれた構成力を生かし、アクリルパイプやプラスチックテープなど斬新な素材や版表現を組み合わせた作品を制作、また林野の樹木や街中にマスクをかける行為など、自身の思索の過程や時間の連なりを映し出した清新な世界を構築している。本展では90年代半ば以降、様々なモチーフを標本として構成した連作から、2001～02年ニューヨーク滞在中に制作した映像や版画の最近作を展示、その造形世界を紹介した。コレクション



IKEDA MIDORI

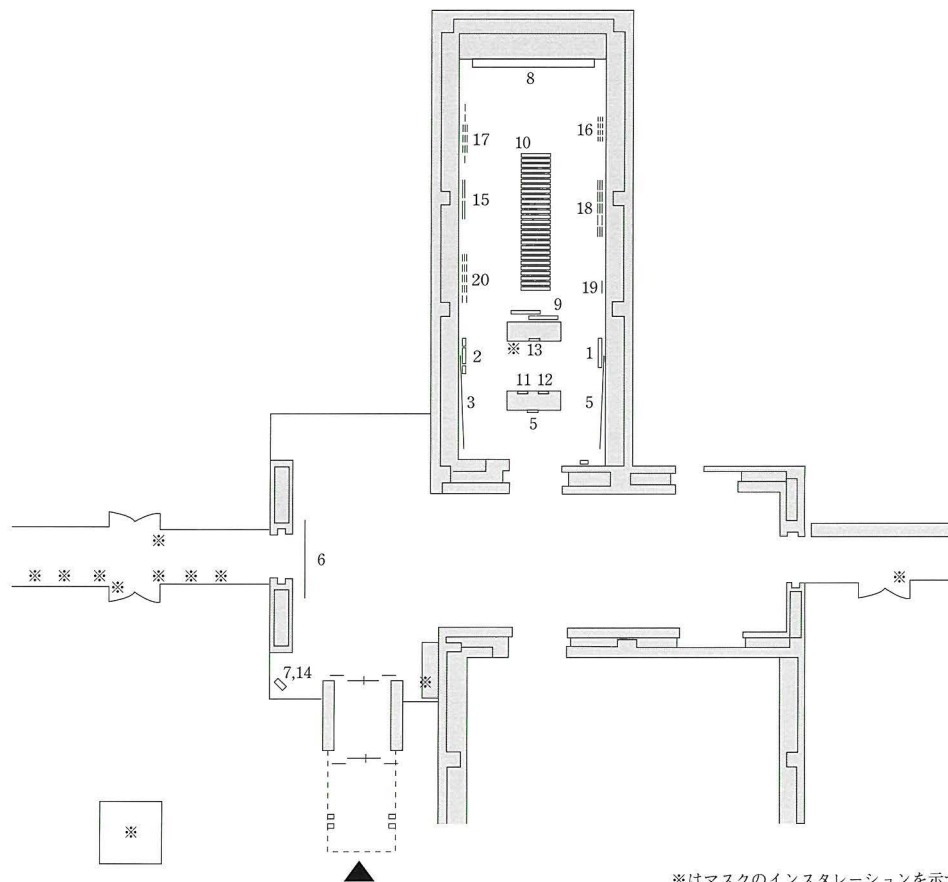
図録



会場風景

ン・ギャラリー内はもとよりロビーにも空間を生かし作品を展示し、また来館者の行き来する館内各所にマスクのインスタレーションも行うなど、作家近年の活動のテーマを反映した展示とした。

展覧会に先がけて開催したワークショップでは、緑ヶ丘公園の沿道約2km、550本の樹木にマスクをかけ当館までの道標を示す作品『Silent Breath 'Mask tree Path』を市民とともに共同制作、同時期に公園一帯で実施された「とち環境アート2002」とも連動する内容とした。会期中にはトークショーを開催、制作の動機やテーマ、アメリカ滞在中のエピソードを取り上げながら自らの表現について語っていただいた。本展は、「とち国際現代アート展「デメーテル」」と同時期開催としたことから、地元の現代美術愛好家のみならず、国内外各地から来帯した美術関係者による観覧もあった。会期中には約4,500人が来場した。



展示図面

※はマスクのインсталレーションを示す

出品目録

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・材質	所蔵先
1	ALICE'S SPECIMEN	1996 (平成8)	102.4×190.6×奥行9.8	シルクスクリーン、枯葉、 枯枝、紙、アクリルパイプ	北海道立帯広美術館
2	MY SPECIMEN	1998 (平成10)	左右:各106.4×35.0×奥行9.2 中央:106.4×65.0×奥行9.2 展示サイズ:106.4×155.0×奥行9.2	シルクスクリーン、紙、 アクリルパイプ/3点組	作者
3	トラリの7ヶ月 (1997年6月16日～1997年12月27日) I 6の付く日のトラリ	1998 (平成10)	91.7×657.0	インクジェットプリント、紙	作者
4	トラリの7ヶ月 (1997年6月16日～1997年12月27日) II 7の付く日のトラリ	1998 (平成10)	91.7×657.0	インクジェットプリント、紙	作者
5	My Own Specimen (1943年4月3日に生まれて)	1999 (平成11)	205.5×59.9×奥行9.8	プラスチックテープ、アクリルパイプ	北海道立帯広美術館
6	Germany with Masks 1999	1999 (平成11)	各365.0×91.0 展示サイズ:390.0×370.0	インクジェットプリント、 キャンバス/5点組	作者
7	マスクをかけた帯広の街 2000	2000 (平成12)	—	ビデオ作品/9分34秒	作者
8	MASK SPECIMEN サホロの7ヶ月 (1999年8月13日～2000年3月19日) サホロの12ヶ月 (1999年8月13日～2000年8月13日) サホロの21ヶ月 (1999年8月13日～2001年5月3日) サホロの24ヶ月 (1999年8月13日～2001年8月1日) サホロの33ヶ月 (1999年8月13日～2002年5月12日)	2000 (平成12)～ 2002 (平成14)	展示サイズ:220.0×605.0	マスク、金具、紙ケース	作者
9	MASK SPECIMEN I オリベの15ヶ月 (1999年12月23日～2001年3月17日)	2001 (平成13)	展示サイズ: 60.0×180.0×6.0	プラスチックテープ アクリルパイプ	作者
10	MASK SPECIMEN II オリベの15ヶ月 (1999年12月23日～2001年3月17日)	2001 (平成13)	展示サイズ: 400.0×103.0×6.0	マスク、金具 アクリルパイプ	作者
11	Silent Breath 10/11/2001NYC (Speak)	2001 (平成13)	—	ビデオ作品/4分54秒	北海道立帯広美術館
12	Silent Breath 10/11/2001NYC (Handmovement)	2001 (平成13)	—	ビデオ作品/3分41秒	北海道立帯広美術館
13	Silent Breath 2001 New York	2001 (平成13)	—	ビデオ作品/60分	北海道立帯広美術館
14	New York with Masks 2001	2001 (平成13)	—	ビデオ作品/7分22秒	北海道立帯広美術館
15	Silent Breath サホロの7ヶ月/12ヶ月/21ヶ月/24ヶ月	2001 (平成13)	各61.0×61.5 展示サイズ155.0×183.0	インクジェットプリント、紙 /4点組	作者
16	Silent Breath サホロの7ヶ月/12ヶ月/21ヶ月/24ヶ月	2001 (平成13)～ 2002 (平成14)	各6.5×9.8 展示サイズ:72.5×186.0	コロタイプ、紙/12点組	作者
17	Silent Breath サホロの7ヶ月/12ヶ月/21ヶ月/24ヶ月	2001 (平成13)～ 2002 (平成14)	各13.0×10.0 展示サイズ:118.0×120.0	コロタイプ、紙/12点組	作者
18	Silent Breath サホロの7ヶ月/12ヶ月/21ヶ月/24ヶ月	2001 (平成13)～ 2002 (平成14)	各58.2×33.5 展示サイズ:233.5×293.0	インクジェットプリント、 紙/14点組	作者
19	Silent Breath ニューヨークの10ヶ月 (2001年5月27日～2002年3月11日)	2002 (平成14)	58.2×33.5	インクジェットプリント、紙	作者
20	Silent Breath サホロの7ヶ月/12ヶ月/21ヶ月/24ヶ月	2002 (平成14)	各8.6×12.7 展示サイズ:73.0×152.5	トランスファー、紙/14点組	作者

* 寸法は縦×横 (×奥行)

* 平面作品の寸法はイメージサイズを示す

でこぼこ・ざらざら一見る触感

会期＝平成14年9月27日(金)－平成15年1月10日(金)79日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般100(80)円、大学生60(40)円

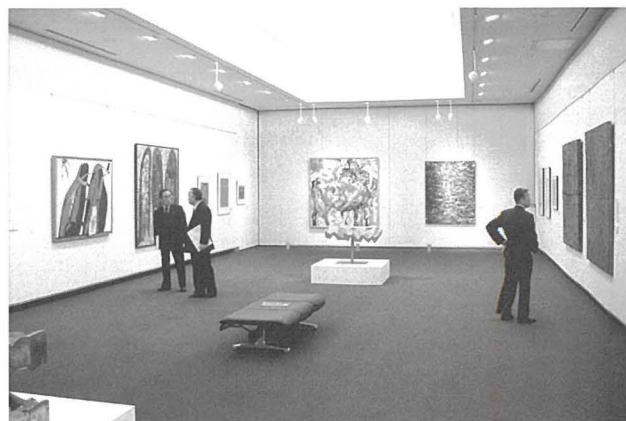
高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

() 内は10名以上の団体料金

美術作品では、触感にうったえるような表現が重要な要素である。画材や筆使い、版を刷り取るさまざまな技法、あるいは用いられる素材や道具、加工をほどこす方法など、さまざまな要因が複雑に関わりながら、造形の豊かな質感が生みだされてきた。

あるものは絵具を盛り上げて“でこぼこ”とした画面を作りだし、また、あるものは金属板を腐食させて“ざらざら”とした画面を作り出す。さらに、別のものは、トタン板やステンレス、紙、金箔など、さまざまな素材を生かし、あるいは、釘やグラインダー、タガネといった特殊な道具を駆使し、作品にさまざまな表情と質感を生み出す。

本展では、作品にそなわるさまざまな表情や質感と、表現との密接な関わりに着目し、当館所蔵の油彩画、版画、彫刻作品の優れた造形性を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法
1	池田良二	Window under the midnight sun (白夜の窓)	1988(昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	50.0×50.0
2	池田良二	Deposition of memories (記憶の沈殿)	1988(昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	69.0×58.0
3	池田良二	Architecture on the cape (岬の上の家)	1989(平成元)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	37.0×53.0
4	一原有徳	A.mi, S O N (a)	1986(昭和61)	インク、アクリルミラー	54.0×86.0
5	一原有徳	A.mi, S O N 2	1986(昭和61)	インク、アクリルミラー	63.4×100.5
6	一原有徳	タガネ 9	不明	タガネ、インク、鉛	77.6×47.8
7	神田日勝	人と牛 B	1968(昭和43)	油彩、板	183.5×182.5
8	島 州一	新聞紙に泥のプリント	1976(昭和51)	シルクスクリーン、新聞紙	81.5×54.5
9	島 州一	FINGER PRINT	1981(昭和56)	フロッタージュ、粘土、段ボール、和紙	99.0×69.0
10	島 州一	FINGER PRINT	1981(昭和56)	フロッタージュ、粘土、和紙	73.0×63.5
11	関根信夫	氷壁	1988(昭和63)	鳥の子紙、金箔	46.0×38.2
12	富谷道信	WAVE	1972(昭和47)	木	96.7×36.1×15.7
13	富谷道信	雲は切れて晴れるかも知れない	1973(昭和48)	ブロンズ	45.0×13.5×43.0
14	中谷有逸	碑(鬼の気配)	1996(平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紐、紙	115.8×160.2
15	中谷有逸	碑(羅生門)	1996(平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紙	186.4×186.5
16	橘原武正	日の出	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	165.0×132.5
17	橘原武正	無題	1984(昭和59)	塗料、釘、針金、トタン板	170.0×170.0
18	橘原武正	作品“赤”	1984(昭和59)	塗料、釘、針金、トタン板	180.0×180.0
19	百瀬 寿	Square-Metallic Green and Violet	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
20	百瀬 寿	Square-Metallic Yellow and Silver	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
21	矢柳 剛	ブラジルの叫び	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	196.6×119.5
22	矢柳 剛	宇宙と人間D	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	161.7×112.1
23	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵

平成13年度特別展一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か
1	帯広美術館コレクション選集 道東の美術／ヨーロッパのポスター	4月6日(金)～ 5月16日(水)	35	主催／北海道立帯広美術館
2	アレクサンダー・カルダー展	5月22日(火)～ 6月17日(日)	24	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、 北海道新聞社、カルダー展実行委員会、(社)国際芸術文化振興会 後援／外務省、文化庁、アメリカ大使館 協力／全日本空輸株式会社、日本貨物航空株式会社、安田火災海上保険株式会社、The Yasuda Fire & Marine Insurance Company of America、ヤマト運輸株式会社
3	中国美術の精華 台北・鴻禧美術館所蔵品展	7月13日(金)～ 9月5日(水)	47	主催／北海道立帯広美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 協賛／花王株式会社 協力／日本アジア航空
4	2001年シネマ・オデッセイ 映画ポスターの20世紀	9月14日(金)～ 10月24日(水)	35	主催／北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、映画ポスターの20世紀展実行委員会 後援／プリティッシュ・カウンスル、社団法人日本グラフィックデザイナー協会、十勝町村会、十勝教育局、帯広市、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、NPO十勝文化会議、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連絡協議会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UHB帯広支社、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA 企画協力／The Reel Poster Gallery、MEM INC. 協力／日本航空、帯広映画協会、おびひろシネフェスタ2001実行委員会
5	開館10周年記念 バルビゾンと田園の画家たち	11月1日(木)～ 12月12日(水)	37	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会
6	開館10周年記念 美術への扉ーコレクション十年十色	12月21日(金)～ 3月27日(水)	76	主催／北海道立帯広美術館

平成14年度特別展一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か
1	大観・松園から現代作家まで さくらに見る日本の美	4月9日(火)～ 5月15日(水)	32	主催／北海道立帯広美術館、北海道新聞社、共同通信社、 さくらに見る日本の美展実行委員会
2	美の始源、美の呪力。 岡本太郎と縄文	5月24日(金)～ 7月3日(水)	35	主催／北海道立帯広美術館、NHK帯広放送局、NHK北 海道ビジョン 企画協力／川崎市岡本太郎美術館、NHKプロモーショ ン、株式会社ツルモトルーム
3	とかち国際現代アート展「デメーテ ル」連携企画 ニルス＝ウド展【自然へ】	7月12日(金)～ 9月16日(月/振休)	58	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会 後援／ドイツ連邦共和国大使館、東京ドイツ文化センター 協力／とかち国際現代アート展実行委員会、日本航空
4	凍土：魂のマチエール 寺島春雄展	9月27日(金)～ 11月14日(木)	43	主催／北海道立帯広美術館
5	帯広美術館コレクション選集 今日のプリントアート	11月22日(金)～ 1月10日(金)	36	主催／北海道立帯広美術館
6	はじめての美術 絵本原画の世界展	1月31日(金)～ 3月26日(水)	47	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員 会、十勝毎日新聞社、NHK帯広放送局、NHK北 海道ビジョン、NPO十勝文化会議、絵本原画の 世界展帯広展実行委員会 後援／十勝町村会、十勝教育局、十勝管内各町村教育 委員会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、 北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長 会、帯広市校長会、十勝文化団体協議会、帯広 市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、 NHK文化センター帯広教室、HBC帯広放送局、 STV帯広放送局、UHB帯広支社、HTB帯広支社、 帯広シティーケーブル、FM-JAGA 協力／福音館書店、旭川こどものとも社、社団法人日 本国際児童図書評議会（JBBY）、北海道書店商 業組合十勝支部

帯広美術館コレクション選集 道東の美術／ヨーロッパのポスター

会期＝平成13年4月6日（金）－5月16日（水）35日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般300（250）円、大学生150（100）円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

（ ）内は10名以上の団体料金

関連事業

土曜映写室

「日本の美術館：『大原美術館』『神奈川県立近代美術館』」

日時＝4月14日（土）午後2時～3時

「日本の美術館：『ブリヂストン美術館』『石橋美術館』」

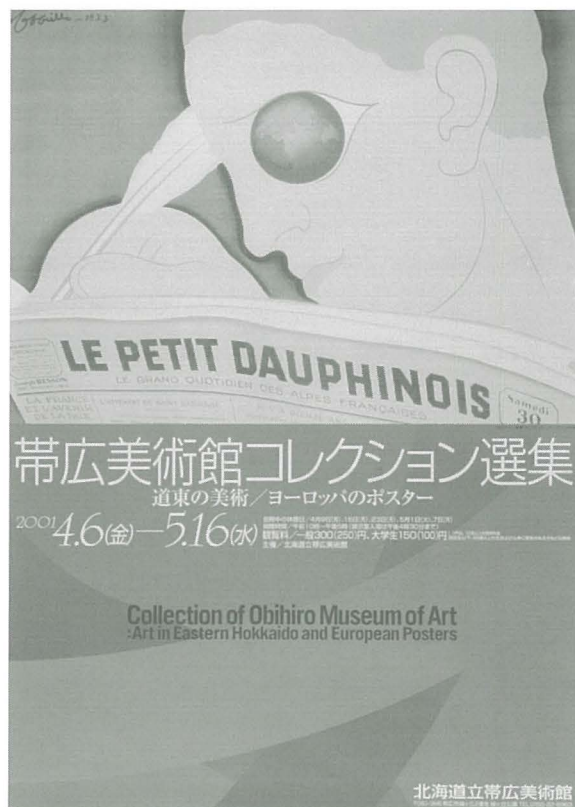
日時＝4月21日（土）午後2時～3時

「日本の美術館：『ひろしま美術館』『東京国立近代美術館』」

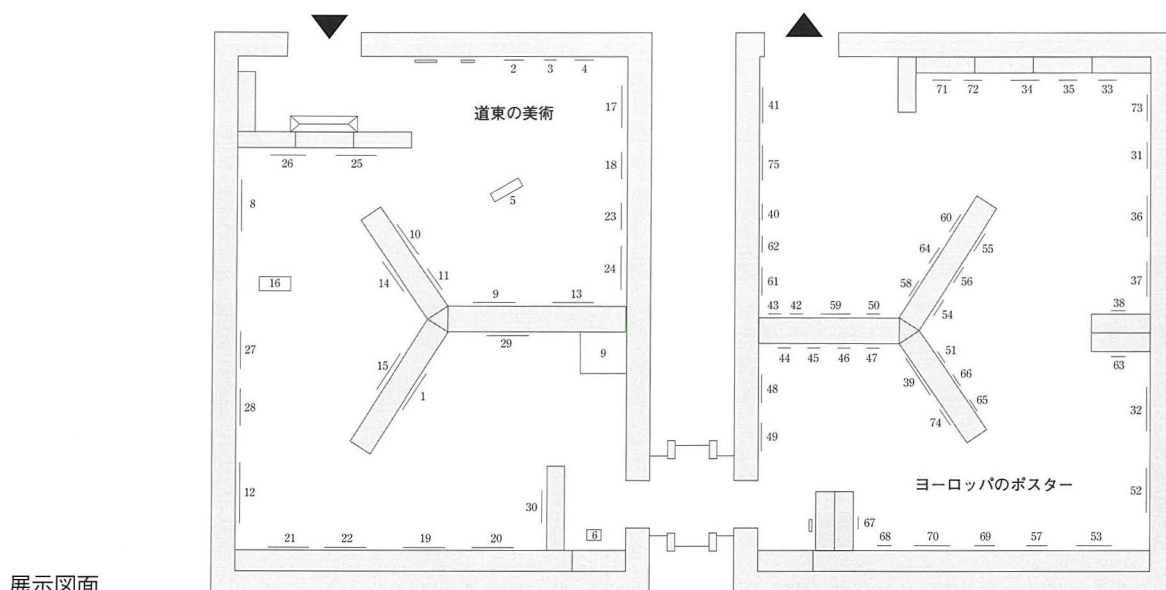
日時＝4月28日（土）午後2時～3時

美術館にとってコレクションは活動の中核をなす重要な要素である。北海道立帯広美術館は、平成3年9月の開館以来、幅広い領域に焦点をあてた展覧会を企画・開催すると同時に、系統的な作品収集を進めてきた。十勝・釧路・根室・網走の北海道東部4地域にゆかりの作家・作品を対象とした「道東の美術」、近現代の版画やポスターを中心とした「プリントアート」、バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした「西洋の美術」を3つの柱とし、特色あるコレクション形成に取り組んできたものである。

本展では、こうした当館所蔵作品のうち道東の美術、ヨーロッパのポスターの2つの分野のなかから代表的な作品75点を展示し、当館コレクションの現況を紹介した。



ポスター



展示図面



会場風景

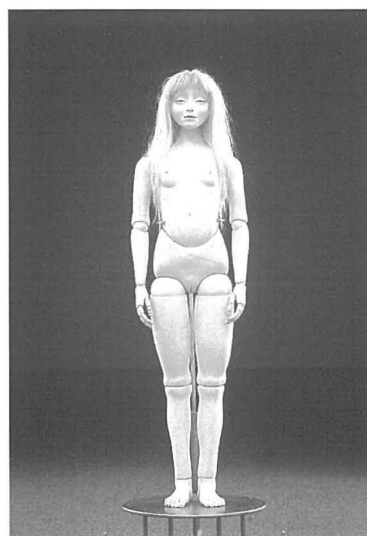


会場風景

出品目録

■道東の美術

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	池田良二	Space of foggy ocean (海霧の空間)	1990 (平成2)	手書き複製、フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メジチント	113.5×179.7
2	伊藤隆二	池のほとり	1931 (昭和6)	油彩、キャンバス	72.8×91.0
3	伊藤隆二	曇り日	1932 (昭和7)	油彩、キャンバス	53.1×72.9
4	伊藤隆二	雪景	1936 (昭和11)	油彩、キャンバス	72.8×91.0
5	岡沼淳一	MONSOON	1988 (昭和63)	木 (ニレ)	185.0×44.3×190.0
6	岡沼淳一	far away	1992 (平成4)	木	48.5×18.5×44.0
7	伽井丹彌	人形譚 一血管一	1996 (平成8)	桐塑、アクリリック	高さ110.5
8	神田日勝	人と牛 B	1968 (昭和43)	油彩、板	183.5×182.5
9	小林満枝	水辺	1977 (昭和52)	紙本彩色	96.8×145.4
10	小林満枝	叢原	1985 (昭和60)	紙本彩色	112.0×145.4
11	小林満枝	春夕焼II	1991 (平成3)	紙本彩色	116.7×80.3
12	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
13	竹山義雄	山湖 (レイクルイズ)	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.3×162.1
14	寺島春雄	黒の凶地	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	130.9×194.2
15	寺島春雄	赤の原野	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	131.3×194.3
16	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木	115.0×30.0×50.0
17	長尾栄三	樹苑の秋	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	130.3×162.2
18	長尾栄三	山脈の見える風景	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	145.4×112.4
19	中谷有逸	碑 (鬼の気配)	1996 (平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紐、紙	115.8×160.2
20	中谷有逸	碑 (羅生門)	1996 (平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紙	186.4×186.5
21	橋原武正	作品“赤”	1984 (昭和59)	トタン板、コラージュ、油彩	180.0×180.0
22	橋原武正	無題	1984 (昭和59)	トタン板、釘、針金、塗料	170.0×170.0
23	能勢真美	樹庭	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	148.0×91.0
24	能勢真美	疎林初秋	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	97.0×162.0
25	村元俊郎	セニョリータ	不詳	油彩、キャンバス	130.5×162.0
26	望月正男	落日	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
27	森 健二	光年のメロディーNo.3	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	130.5×162.5
28	森 健二	光年の導「道」	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
29	森 弘志	それ、普通	1994 (平成6) ~ 1995 (平成7)	油彩、キャンバス	162.4×162.2
30	矢柳 剛	宇宙と人間D	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	161.7×112.1



伽井丹彌「人形譚一血管一」

■ヨーロッパのポスター

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
31	R.ヴァンサン	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2
32	M.オラジ	曲馬場、クリシイ大通り	1900	リトグラフ、紙	216.0×159.0
33	カッサンドル	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
34	カッサンドル	ジャンシアヌ=キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ、紙	154.2×114.5
35	カッサンドル	ノルマンディー号—トランザトランティク総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
36	L.カビエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
37	L.カビエッロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」	1933	リトグラフ、紙	109.6×152.9
38	L.カビエッロ	「全国子ども週間」厚生省	1939	リトグラフ、紙	39.0×26.5
39	E.グラッセ	あんず酒「アプリコティヌ」	1895頃	リトグラフ、紙	109.5×149.5
40	R.グリュオー	くつろぎ	1950	リトグラフ、紙	80.0×60.0
41	J.コクトー	オルフェの遺言	1959	リトグラフ、紙	160.0×12.0
42	P.コラン	ジョセフィン・ベーカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0
43	P.コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
44	J.シェレ	「ファランドール」オペラ座	1884	リトグラフ、紙	70.5×50.5
45	J.シェレ	風邪薬「バステュー・ジェローデル」	1891	リトグラフ、紙	49.4×25.0
46	J.シェレ	安全灯油「サクソレス」	1894	リトグラフ、紙	51.2×33.2
47	J.シェレ	マリアーニ・ワイン	1894	リトグラフ、紙	53.9×37.3
48	A.シュープラク	トゥールヴィルのカジノ	1885頃	リトグラフ、紙	130.0×90.5
49	A.シュープラク	カジノ・ド・ピアリツ	1885頃	リトグラフ、紙	130.5×93.5
50	R.ショビ	ブランシュ・ノレル	1926	リトグラフ、紙	94.5×63.0
51	Th.A.スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
52	Th.A.スタンラン	演劇「居酒屋」ポルト=サンマルタン劇場	1900	リトグラフ、紙	192.0×139.0
53	C.H.デュフォー	児童画展「時を超える子ども」プティ・パレ	1901	リトグラフ、紙	139.0×100.0
54	H.de.トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャボネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
55	H.de.トゥールーズ=ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバビロン」	1894	リトグラフ、紙	122.0×86.7
56	H.de.トゥールーズ=ロートレック	エグランティヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.0×79.0
57	G.ド・フル	書籍「パリの暦」	1894	リトグラフ、紙	79.5×62.0
58	J-G.ドメルグ	バゲーラ	1935	リトグラフ、紙	117.6×75.2
59	J.ドン	ジャヌ・マルニ	1930	リトグラフ、紙	153.3×110.5
60	O.バウムベルガー	高品質のPKZ	1921	リトグラフ、紙	124.5×84.2
61	G.ファーヴル	自転車「ディレクタ」	1930	リトグラフ、紙	110.5×74.2
62	D.ブラン	青少年のために	1939	リトグラフ、紙	97.8×61.8
63	P.ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュ—西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
64	R.ペロー	ゴルセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0
65	P.ボナール	「創作版画家展」ヴォアラール画廊	1896	リトグラフ、紙	64.5×47.0
66	P.ボナール	美術雑誌「版画とポスター」	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0
67	A.M.ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
68	A.M.ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9
69	A.M.ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7
70	A.M.ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5×94.0
71	J.モレル	カンプロドン	1930	リトグラフ、紙	89.2×61.0
72	J.モレル	スペイン探訪	1941	リトグラフ、紙	98.6×60.8
73	P.ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
74	G.ルルー	万国博覧会「光学館」—1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0
75	不詳	リコのクレオール楽団	1930	リトグラフ、紙	155.0×117.0

* 寸法は注記以外は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵



ミュシャ「タバコ巻紙『ジョブ』」

アレクサンダー・カルダー展

会期＝平成13年 5月22日（火）－ 6月17日（日）24日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、カルダー展実行委員会、（社）国際芸術文化振興会

後 援＝外務省、文化庁、アメリカ大使館

協 力＝全日本空輸株式会社、日本貨物航空株式会社、安田火災海上保険株式会社、The Yasuda Fire & Marine Insurance Company of America、ヤマト運輸株式会社

観覧料＝一般800（700）円、高大生500（400）円、小中生300（200）円
心身に障害のある方などは無料
（ ）内は10名以上の団体および前売り料金

関連事業

特別展セミナー

「運動と色彩のユーモレスク－カルダーの世界」

講師＝鎌田 享（当館学芸員）

日時＝6月2日（土）、6月16日（土）午後2時～3時

会場＝当館講堂

ミュージアム・ミステリー2001サマー

「くるくる・くねくね 動く彫刻の秘密」

日時＝5月26日（土）午前10時～午後4時

会場＝当館講堂・主展示室

図 録

規格＝30.2×16.0cm／総頁数200ページ

構成＝メッセージ／謝辞／アレクサンダー・S. C. ロウワー「序文」／リチャード・D. マーシャル「アレクサンダー・カルダー－その動きと色彩」／深谷克典「サーカスからモビールへ：カルダーの初期作品について」／カタログ／年譜／主要展覧会歴／主要参考文献／出品リスト／

関連記事・報道

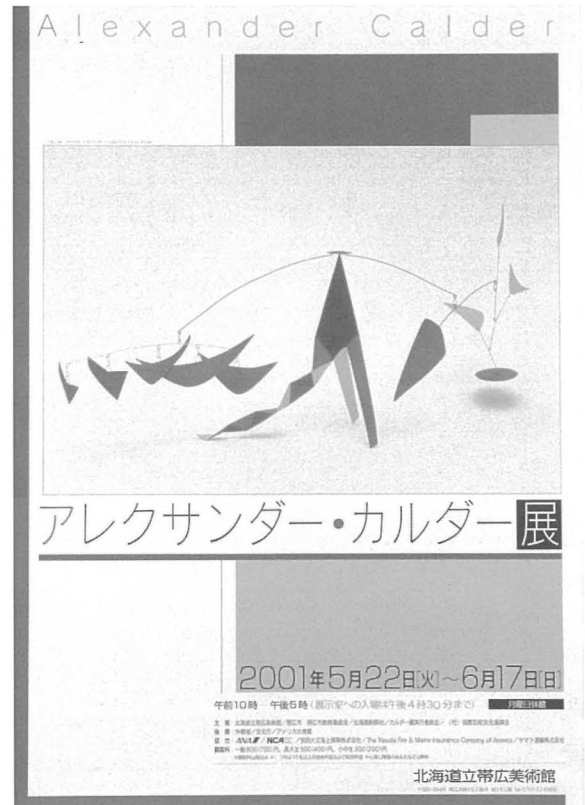
「注目の展覧会から－アレクサンダー・カルダー展」美術手帖／平成12年12月号

「自在に揺れる立体彫刻 アレクサンダー・カルダー展」北海道新聞／5月21日

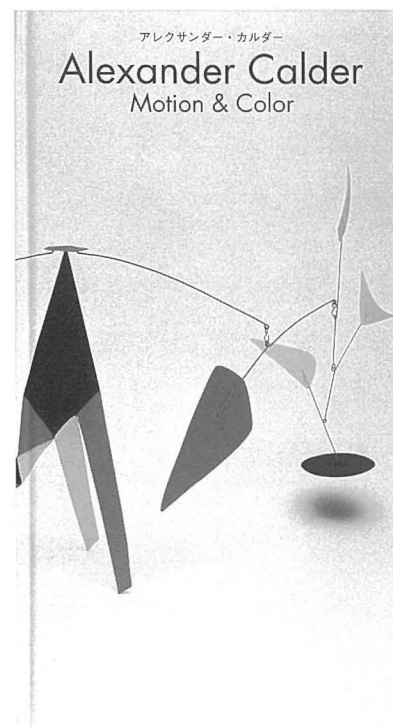
川上昌弘「空間の芸術 アレクサンダー・カルダー展①～⑥」北海道新聞／5月23日～6月2日

柴橋伴夫「アレクサンダー・カルダー展 動く彫刻生んだ好奇心」北海道新聞／6月12日

「新日曜美術館 世界初！動く彫刻－カルダーとモビール」NHK教育／12月2日



ポスター



図録

アレクサンダー・カルダー（1898－1976）は、20世紀のアメリカを代表する彫刻家であり、とりわけ動く彫刻「モビール」を生み出したことで知られている。また針金や鉄板といったそれまで使われることのなかった素材を用いて「スタビル」と呼ばれる立体作品を制作するなど、従来の彫刻概念を打ち破る斬新な制作活動を展開してきた。

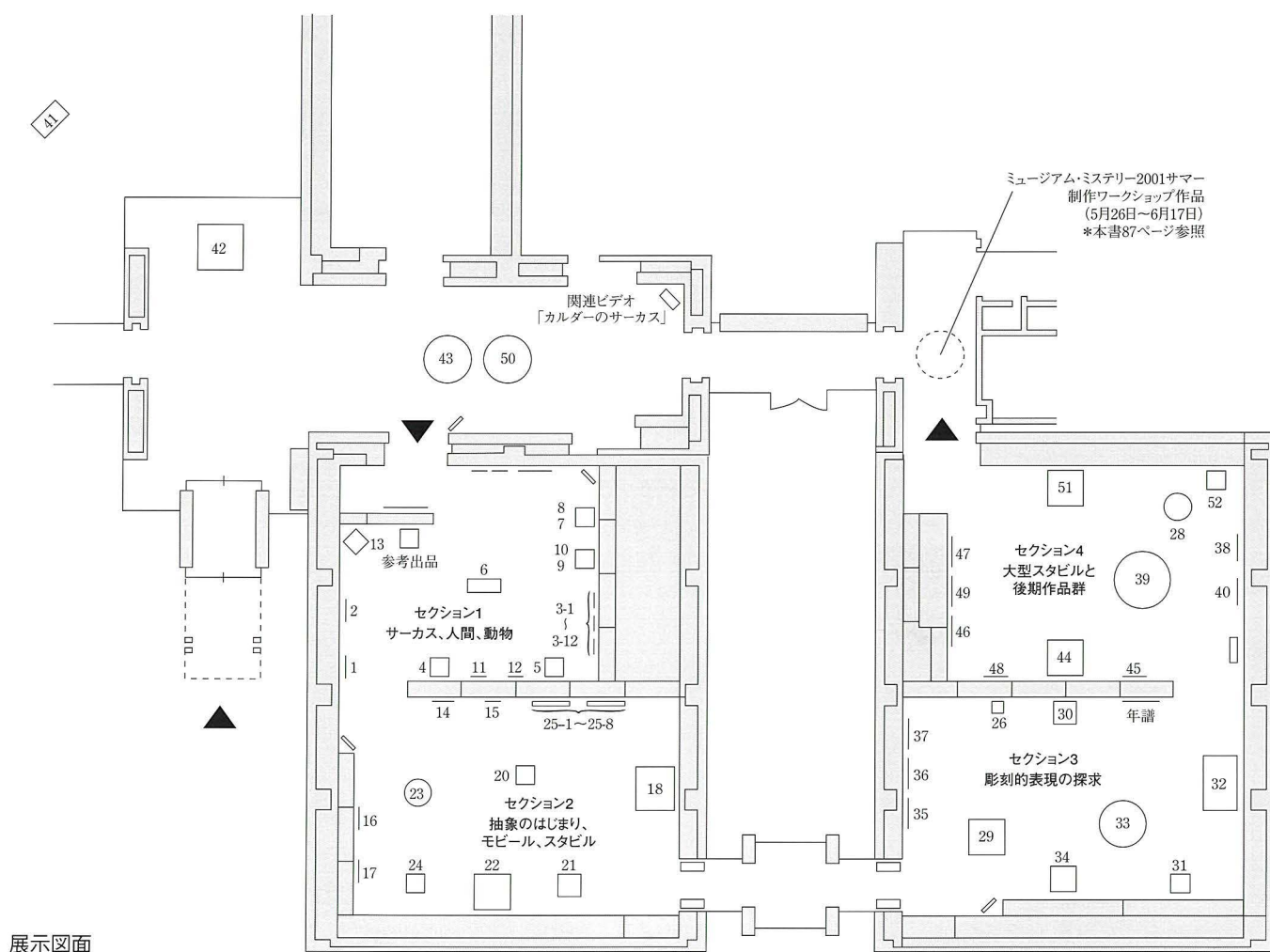
揺れ動きながら自在にその姿を変えるモビール、視点を変えることでさまざまな表情を見せるスタビル。ダイナミックかつユーモラスなカルダーの作品は、日本でも多くの人々に親しまれている。

本展では代表作であるモビールやスタビルをはじめ、宝飾品や平面作品など合わせて69点にのぼる多彩な作品が、初期から晩年まで4つのセクションで紹介された。

- 1 サーカス、人間、動物 1920年代－1930年代初期
- 2 抽象の始まり、モビール、スタビル 1930年代－1940年代初期
- 3 彫刻的表現の探求 1940年代
- 4 大型スタビルと後期作品群 1950年代－1970年代

作品の展示は、開放的な中に作品がレイアウトされた主展示室2部屋のほか、正面入口ホールと屋外中庭にスタビルを各1点、ロビーの天井にモビール2点を配し、美術館の内外を回遊しながら作品をたどる構成とした。ロビーの一角ではビデオ「カルダーのサーカス」も放映、モビール誕生の原点に触れる映像として好評を得た。

独創性に満ちユーモアあふれるカルダーの造形世界の全貌を紹介する本展は、北海道では初の本格的なカルダー展として注目を集め、熱心な来場者や彫刻ファンに歓迎された。観覧者総数は3,446人。





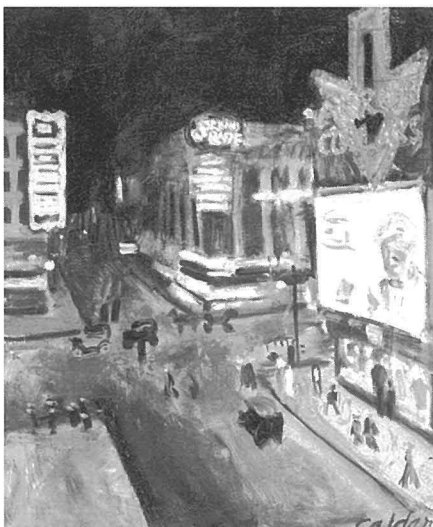
会場風景



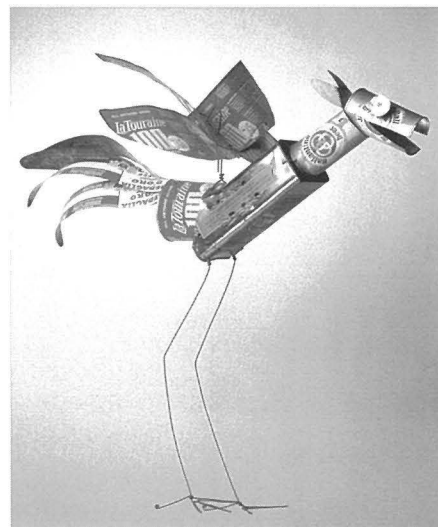
会場風景

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	空中ブランコ	1925	油彩、キャンバス	91.4×106.7
2	十四丁目	1925	油彩、キャンバス	76.5×63.5
3-1	動物のスケッチ (象)	1925	インク、紙	16×18
3-2	動物のスケッチ (象)	1925	インク、紙	13.5×14
3-3	動物のスケッチ (象)	1925	インク、紙	12×18.5
3-4	動物のスケッチ (象)	1925	インク、紙	14.5×9.5
3-5	動物のスケッチ (鳥)	1925	インク、紙	9.5×10.5
3-6	動物のスケッチ (鳥)	1925	インク、紙	23.2×13.6
3-7	動物のスケッチ (鳥)	1925	インク、紙	23×13.5
3-8	動物のスケッチ (鳥)	1925	インク、紙	12×14
3-9	動物のスケッチ (ライオン)	1925	インク、紙	10.5×19.5
3-10	動物のスケッチ (ライオン)	1925	インク、紙	12×11
3-11	動物のスケッチ (雌ライオン)	1925	インク、紙	15×12.5
3-12	動物のスケッチ (ライオン)	1925	インク、紙	13.5×23
4	象	1928頃	針金、木	29.2×14.6×29.2
5	曲芸師	1929	針金、木	71.8×40×10.8
6	ブリッジをする男	1929	針金に着色	35×88.9×29.2
7	驢馬	1930	ブロンズ	11.4×15.2×4.8
8	雌牛	1930	ブロンズ	14.6×20.3×8.6
9	二人の曲芸師	1930	ブロンズ、木に着色	29.8×16.8×7
10	重量挙げ	1930	ブロンズ	21.6×17.5×3.6
11	ジャグラー	1931	インク、紙	57.8×78.1
12	象を誘導する男たち	1931	インク、紙	57.8×78.1



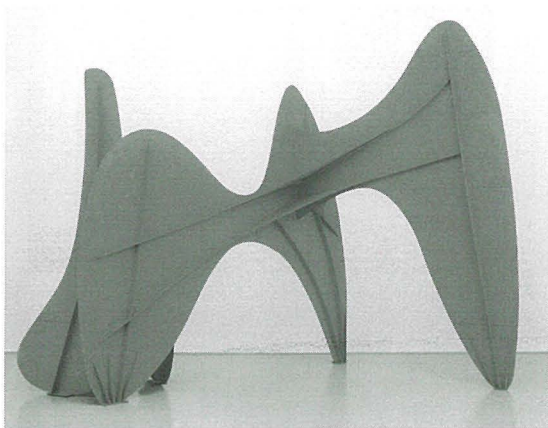
十四丁目



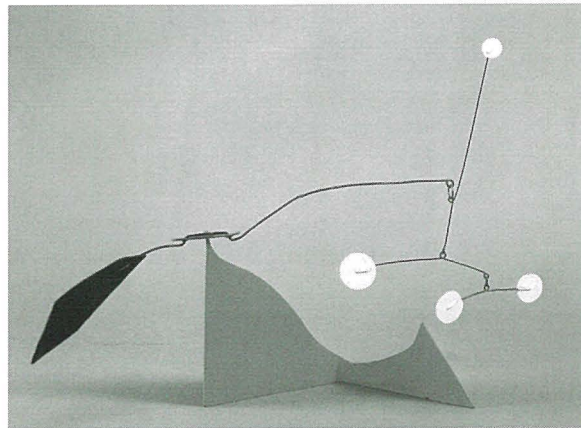
ラ・トゥーレーヌ

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
13	ラ・トゥーレーヌ	1965頃	ブリキ缶、針金	81.9×54.9×77.8
14	無題	1930	油彩、キャンバス	53.7×81.3
15	無題	1930	油彩、キャンバス	45.7×38.1
16	ロドとパンキー	1932	インク、紙	55.9×79.4
17	無題	1932	グアッシュ、インク、紙	57.8×78.4
18	無題	1934	金属板、針金、鉛に着色	287×172.7×134.6
19	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	金属板、針金、パネ、木に着色	265.4×182.9×99.1
20	無題 (マケット)	1939	金属板に着色	53.3×68.6×68.6
21	Tの木	1940	金属板に着色	148.5×74.6×63
22	日本人の印象	1941	金属板、金属棒、針金に着色	203.2×203.2×121.9
23	ブーメラン	1941	金属板、針金に着色	114.3×297.2
24	ジンバル上の黒点	1942	針金、木に着色	39.4×45.1×25.4
25-1	ネックレス	1938頃	真鍮、ガラス、鏡	径52
25-2	プレスレット	1940頃	銀	4×8×6.4
25-3	イヤリング	1940頃	銀	6.6×8.1
25-4	魚のプローチ	1940頃	銀、金属	8.5×13.5
25-5	木の葉のプローチ	1940頃	銀、金属	6.8×16.6
25-6	ネックレス	1940頃	真鍮	径18.5
25-7	櫛	1942頃	真鍮	24.4×18×6.6
25-8	ネックレス	1943頃	銀	45.7×15.2
26	テーブルの上の蛇	1944	ブロンズ	118×34.3×38.1
27	黒い葉、赤い枝	1945	金属板、針金に着色	129.8×150.7×131.6
28	パンティの縁のレース	1947	金属板、針金に着色	33×190.5×47
29	赤が支配する	1947	金属板、針金に着色	141×111.8×83.8
30	剣の草	1947	金属板、針金に着色	97.8×78.7×72.4
31	穴の開いた小さな円盤	1947頃	金属板、針金に着色	279×36.8×8.9
32	黒に赤と白と青	1948	金属板、針金に着色	181.6×281.9×54.6
33	三つの銅鑼	1948頃	金属板、針金に着色	99.1×190.5×7
34	無題	1948頃	金属板、針金、石に着色	11.5×66×26.7
35	無題	1949	グアッシュ、インク、紙	29.5×26.7
36	無題	1949	グアッシュ、インク、紙	28.9×39.7
37	無題	1949	グアッシュ、インク、紙	26×33
38	軟体動物	1955	油彩、キャンバス	76.2×101.6
39	こぼれ落ちる魚の背骨	1956	金属板、針金に着色	147.3×182.9×121.9
40	風ぐるまと流れ	1958	油彩、キャンバス	76.5×101.9
41	バゴダ	1963	金属板に着色	312.4×200.7×159.4
42	ラ・グラン・ヴィテス (中間マケット)	1969	金属板に着色	259.1×343×236.2
43	無題 (赤い円盤)	1969	金属板、針金に着色	200×154
44	くねくね	1970	金属板、針金に着色	71.1×166.4×30.5
45	無題	1970	グアッシュ、紙	74.9×109.5
46	無題	1971	グアッシュ、紙	109.5×74.9
47	無題	1971	グアッシュ、紙	110.5×74.9
48	無題	1972	グアッシュ、紙	74.9×110.2
49	無題	1973	グアッシュ、紙	109.9×74.9
50	小さな銀河	1973	金属板、針金に着色	228.6×213.3
51	シャワー	1975	金属板、金属棒、針金に着色	259.1×132.1×108
52	四つの白い点	1976	金属板、針金に着色	34.5×54×11.5
53	とても黒い	1976	金属板、針金に着色	119.5×126.5×68
参考出品	モカ	1952頃	ブリキ缶、針金	61×10.5

* 19は広島県立美術館、21、27、52、53は川村記念美術館、50は富山県立近代美術館、その他はカルダー財団の所蔵。そのうち19、27、53は帯広会場非出品



ラ・グラン・ヴィテス (中間マケット)



四つの白い点

中国美術の精華 台北・鴻禧美術館所蔵品展

会期＝平成13年 7月13日（金）－ 9月5日（水）47日間
主催＝北海道立帯広美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛＝花王株式会社

協力＝日本アジア航空

観覧料＝一般830（670）円、高大生510（410）円、小中生300（250）円
心身に障害のある方などは無料
（ ）内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「中国的紋様の世界」

講師＝味岡義人氏（渋谷区立松濤美術館主任学芸員）

日時＝7月14日（土）午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「中国美術の名品を集めて」

講師＝寺嶋弘道（当館学芸課長）

日時＝8月4日（土）、9月1日（土）午後2時～3時

会場＝当館講堂

土曜映写室

「NHKスペシャル《故宮》第10集・亡国の文人たち ～元～」

日時＝7月28日（土）午後2時～3時

「NHKスペシャル《故宮》第12集・最後の王朝 ～清～」

日時＝8月25日（土）午後2時～3時

会場＝いずれも当館講堂

図録

規格＝29.6×22.3cm／総頁数184ページ

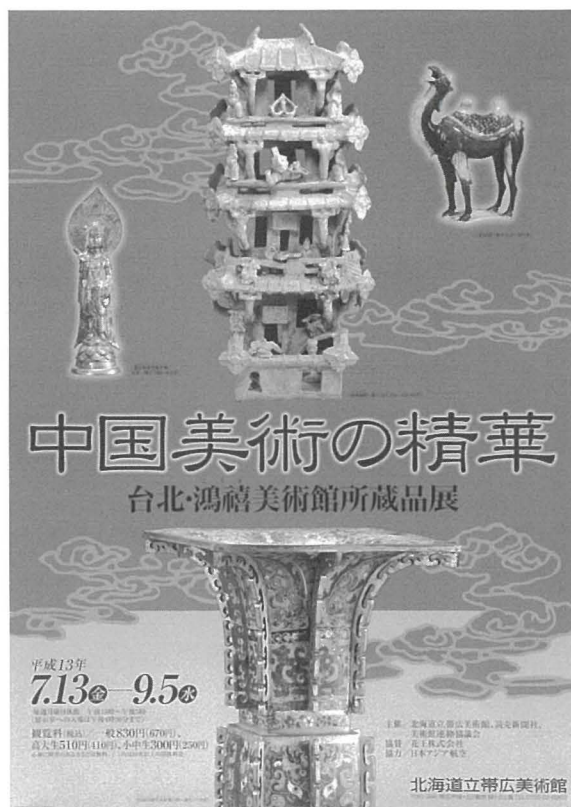
構成＝あいさつ／張秀政「序」／廖桂英「やすらぎの奥深き世界へー
台北・鴻禧美術館」／図版／出品目録及び作品解説／中国陶磁
史略年表／中国主要窯址地図／中国近代絵画略年表

関連記事

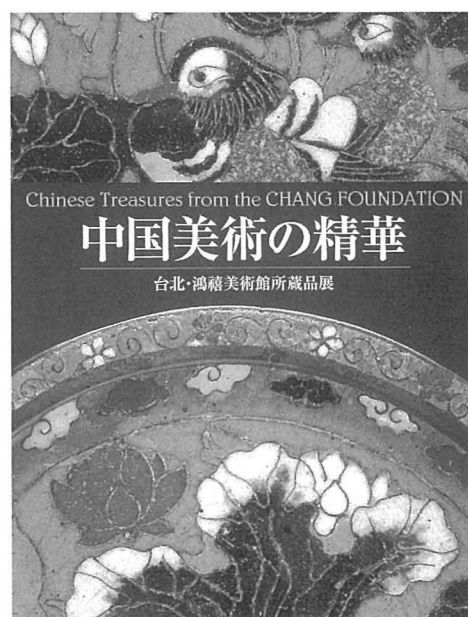
寺嶋弘道「異文化理解と国際交流」帯広信用金庫広報誌トークバザール／平成13年7月号

「中国陶磁器の名品180点 13日から帯広美術館で展示」読売新聞／7月10日

「中国美術の精華開幕 漢－宋代の陶磁器中心に」十勝毎日新聞／7月13日



ポスター



図録

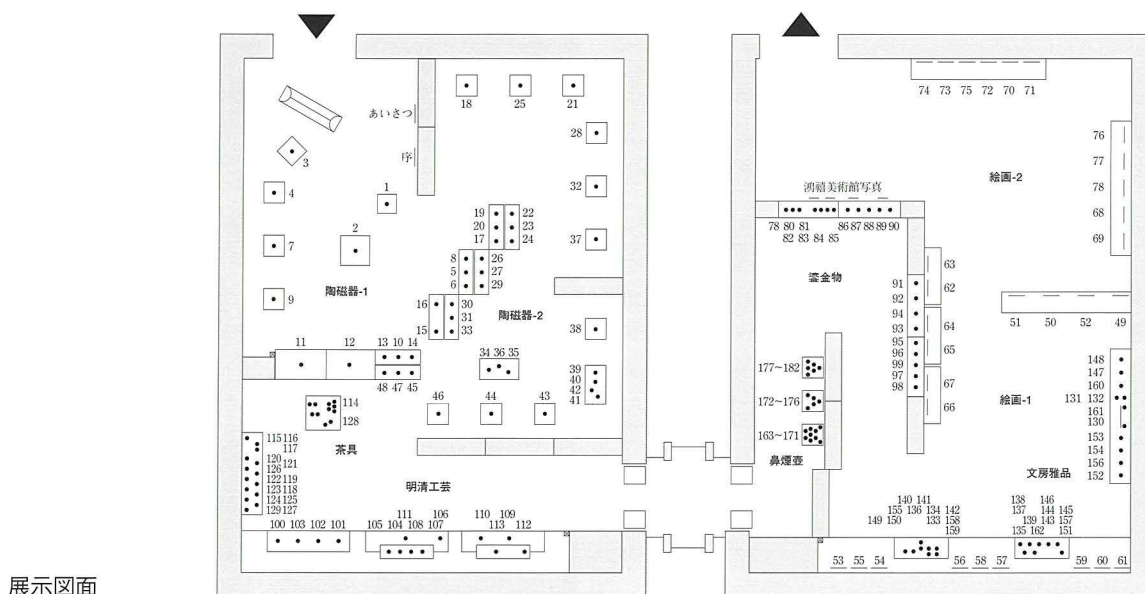
鴻禧美術館は、1991年台北市に開館した台湾で最も著名な私立美術館である。中国陶磁器をはじめとするコレクションは国際的にも高い評価を得、欧米諸国で展示公開されるなど海外との交流も盛んに行っている。

本展は、同館の所蔵作品の中から、漢代から宋代までの陶磁器を中心に、近代絵画、金銅仏、明清代の漆器や琺瑯器、茶具、文房具、鼻煙壺などの工芸品、合わせて180点余を展示し、長い歴史を持つ中国美術の精華を紹介したものである。精緻を極め、高雅にして秀麗な名品の数々からは、中華民族の生活観や中国の文人たちが理想とした世界観の一端をうかがい知ることができ、日本とも縁の深い彼の国の文化に触れる貴重な機会となった。

出展作品数がかんりの数にのぼるため、鑑賞しやすい展示構

成と変化のある動線計画に工夫がこらされた。会場入口からS字形に展示ケースを配して陶磁器48点を展示、次いで茶具のコーナー、そして独立空調固定ケースに漆器と琺瑯器とが並ぶ明清工芸のコーナーまでが第1室。続いて第2室は鼻煙壺と鍍金仏のコーナーを経て、出口まで絵画30点が壮観に並んだ。途中、ケース内の軸装絵画の手前に文房雅品が展示された。

中国美術を紹介する展覧会は、平成6年度の上海博物館所蔵品による「中国六千年の秘宝展」に次いで2度目であるが、今回も熱心に見入る観覧者が多数来館し入場者総数は5,075人を数えた。北海道と台湾との交流が活発になっている今日、中国文化と芸術への理解を深める格好の機会になったといえよう。



展示図面



会場風景



会場風景

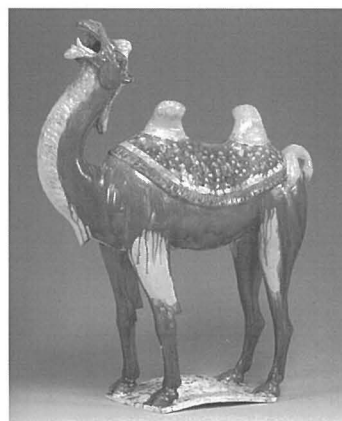
出品目録

■陶磁器

No.	題 名	時 代	寸 法
1	彩絵灰陶奕棋俑	漢	高：15.8cm
2	緑釉樓閣	漢	高：85cm
3	緑釉犬	漢	高：37.7cm
4	褐釉螭紋双耳壺	漢	高：43.5cm
5	越窯青瓷瑞獅燭台	西晋	高：11cm、長：18.3cm
6	越窯青瓷羊尊	晋	長：15.5cm
7	越窯穀倉	西晋	高：47.8cm
8	越窯青瓷刻花蓮紋碗	五代～北宋	口径：19.4cm
9	彩絵半髻仕女立俑	唐	高：58cm
10	三彩加藍半髻仕女立俑	唐	高：37.2cm
11	三彩馬	唐	高：71.5cm
12	三彩駱駝	唐	高：85.5cm
13	三彩加藍花口執壺	唐	高：23.5cm
14	白釉温手器	唐	高：19.4cm
15	三彩抱獸俑水注	遼	高：28.6cm
16	三彩双魚形水注	遼	高：21.7cm、寬34cm
17	緑釉双猿皮囊形蓋壺	遼	高：28cm
18	白瓷執壺	遼	通高：42.5cm
19	耀州窯貼刻花獸紋三足炉	北宋	腹径：20.3cm
20	耀州窯刻花卉紋渣斗	北宋	口径：18.4cm
21	定窯盤口長頸瓶	北宋	高：37cm
22	定窯刻花蓮紋大碗	北宋	口径：26.2cm
23	定窯刻花蓮紋蓋盞	北宋	通高：8.5cm、口径：10cm
24	定窯柿釉花口碗	北宋	口径：19.8cm
25	定窯剔花瑞獸吉慶枕	北宋	27×21.2×16.4cm
26	鈞窯窯變紫斑海棠式花盆承座	北宋	寬：22.9cm
27	鈞窯月白釉碗	北宋	口径：14.5cm、高：9cm
28	汝窯碗	北宋	口径：15.2cm
29	官窯双貫耳瓶	南宋	高：12.5cm
30	磁州窯刻花珍珠地牡丹紋梅瓶	北宋	高：26.3cm
31	磁州窯刻花小罐	北宋	高：17.4cm
32	磁州窯白地褐彩牡丹紋梅瓶	北宋～金	高：38.2cm
33	磁州窯緑釉黑牡丹紋瓶	北宋～金	高：25.5cm
34	磁州窯褐彩老耄壽紋荷葉形枕	北宋	高：18.7cm、寬：29.7cm
35	磁州窯刻花嬰戲紋枕	北宋	24.3×16.5×13cm
36	磁州窯虎形枕	金	長：35cm
37	磁州窯彩絵將軍坐像	金	高：50cm
38	黒釉堆線紋双繫罐	北宋～金	高：29cm
39	黒褐釉盞	宋	口径：12.8cm
40	建窯兔毫盞	宋	口径：12.3cm
41	吉州窯葉紋盞	宋	口径：14.8cm
42	吉州窯動物紋盞	宋	口径：11.6cm
43	龍泉窯蟠龍紋蓋罐	南宋	高：22.8cm
44	龍泉窯虎紋蓋罐	南宋	高：25cm
45	青白瓷瓜棱瓶	北宋	高：24.6cm
46	青白瓷刻花如意紋帶蓋梅瓶	南宋	高：27cm
47	青白瓷刻花蓮紋蓋盞	南宋	口径：9.6cm
48	青白瓷刻花蓮紋碗	南宋	口径：20.7cm



緑釉樓閣



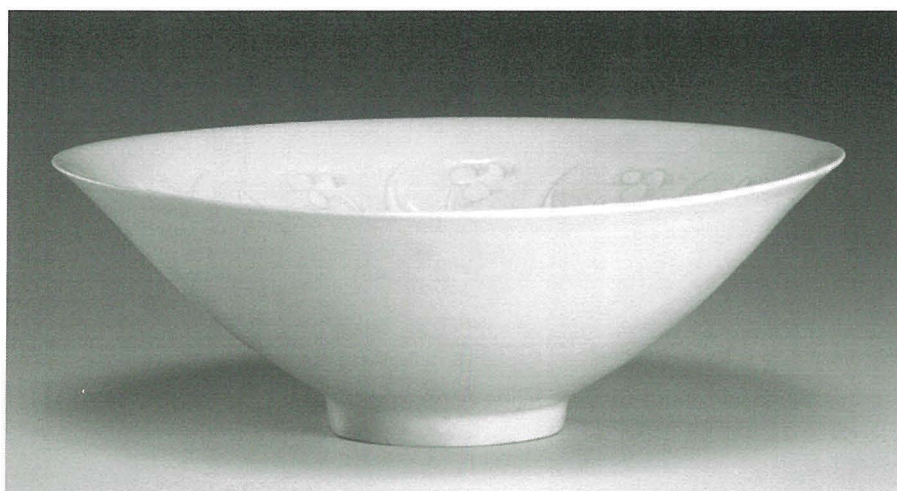
三彩駱駝

■ 絵 画

No.	作 者「題 名」	制作年	寸 法
49	呉昌碩「書齋寒香」	1886年	縦116×横33cm
50	呉昌碩「墨梅」	1910年	縦139×横69cm
51	呉昌碩「富貴図」	1915年	縦171×横53cm
52	呉昌碩「葉底明珠」	1926年	縦136×横34cm
53	齊白石「仕女」	—	縦149×横41cm
54	齊白石「蓮蓬蜻蜓」	1934年	縦99×横34cm
55	齊白石「紫藤蜂喧」	—	縦99×横34cm
56	黄賓虹「江清峰晴」	1944年	縦118×横40cm
57	黄賓虹「武彝紀遊」	1947年	縦104.5×横35cm
58	黄賓虹「靈巖叢秀」	1948年	縦90.5×横45cm
59	陳衡恪「深谷清泉」	1923年	縦148.5×横40cm
60	陳衡恪「高閣夕照」	—	縦81×横38cm
61	陳衡恪「素富貴」	1922年	縦127×横34.5cm
62	馮迥「題壁図」	1924年	縦135×横66.5cm
63	馮迥「東方朔偷桃」	1925年	縦130.5×横57cm
64	馮迥「松亭高隱」	1925年	縦133×横66cm
65	馮迥「秋江飄影」	1942年	縦109.5×横40cm
66	賀天健「仕女」	1935年	縦108×横38.5cm
67	賀天健「停琴図」	1936年	縦66.5×横32cm
68	徐悲鴻「群樂」	—	縦108×横49cm
69	徐悲鴻「梅花」	1948年	縦82.8×横62cm
70	溥心儒「樓閣觀潮」	—	縦130.5×横32cm
71	溥心儒「松風鳴泉」	—	縦130.5×横32cm
72	溥心儒「雪巖松寺」	—	縦95.8×横27.6cm
73	張大千「仿唐人壁畫仕女」	1936年	縦144.1×横65.4cm
74	張大千「仿唐人荷」	1938年	縦101×横47cm
75	張大千「青綠山水」	1948年	縦80.5×横42.5cm
76	傅抱石「雅集図」	1944年	縦88×横42cm
77	傅抱石「雪景山水」	—	縦110×横61cm
78	傅抱石「山腰樓觀」	1946年	縦78×横57cm

■ 鎏金仏

No.	題 名	時 代	寸 法
79	鎏金釈迦牟尼仏坐像	北魏	高：11.9cm
80	鎏金觀音菩薩立像	北魏	高：26.8cm
81	鎏金觀音菩薩立像	北魏～東魏	高：12.6cm
82	鎏金菩薩立像	東魏～北周	高：11.4cm



青白瓷刻花蓮紋碗

No.	題 名	時 代	寸 法
83	鑲金阿彌陀仏立像	梁朝・太清2年（548）	高：12.5cm
84	鑲金弥勒菩薩坐像	北齊・武平6年（575）	高：16.5cm
85	鑲金觀音菩薩立像	北齊～隋	高：13.1cm
86	鑲金觀音菩薩立像	隋	高：17.4cm
87	鑲金觀音菩薩立像	隋～唐	高：35.1cm
88	鑲金釈迦牟尼仏坐像	唐	高：16.5cm
89	鑲金菩薩坐像	遼	高：19.8cm
90	鑲金文殊師利菩薩坐像	13～14世紀	高：22.3cm
91	鑲金聖救度仏母坐像	明・永樂年間	高：18cm
92	鑲金金剛薩埵坐像	明・宣德年間	高：25.7cm
93	鑲金釈迦牟尼仏坐像	明・宣德年間	高：28.5cm
94	鑲金毘盧遮那仏坐像	明・成化22年（1486）	高：39.3cm
95	鑲金無量寿仏坐像	清・乾隆辛巳（1761）	高：21.2cm
96	鑲金章嘉國師坐像	清・乾隆年間	高：11.3cm
97	鑲金閻帝坐像	清・18～19世紀	高：38.8cm
98	鑲金周倉立像	清・18～19世紀	高：26.6cm
99	鑲金閻平立像	清・18～19世紀	高：26.9cm

■明清工藝—漆器・琺瑯器

No.	題 名	時 代	寸 法
100	剔紅幽居清趣葵花口円盤	明	直径：30.8cm
101	螺鈿二十四孝図八角双層果盒	明	高：25cm
102	剔紅雲龍獻壽紋方盤	明・萬曆年間（1573・1619）	寬：25.5cm
103	剔紅雲螭獻瑞紋円盤	明	口径：17.8cm
104	掐絲琺瑯蓮塘鴛鴦紋盤	明	口径：17.2cm
105	掐絲琺瑯蓮紋三足炉	15世紀早期	寬：17cm
106	掐絲琺瑯八宝蓮龍紋折沿洗	明・萬曆年間	口径：50.2cm
107	掐絲琺瑯桃榴紋双耳壺	16世紀	高：25.7cm
108	掐絲琺瑯花卉紋尊	17世紀	高：36.3cm
109	掐絲琺瑯文房陳設器 一組	清・乾隆年間	通高：11～6.2cm
110	掐絲琺瑯獸面紋薰炉	清・乾隆年間	高：47.5cm
111	掐絲琺瑯桃榴形皿	清・乾隆年間	寬：30.7cm
112	掐絲琺瑯番蓮紋瑞獸薰炉	清・乾隆年間	高：34cm
113	掐絲琺瑯花鳥紋如意双耳葫蘆瓶	清・乾隆年間	高：26.5cm



螺鈿二十四孝図八角双層果盒



掐絲琺瑯獸面紋薰炉

2001年シネマ・オデッセイ 映画ポスターの20世紀

会期＝平成13年9月14日（金）－10月24日（水）35日間
主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、映画ポスターの20世紀展実行委員会

後援＝ブリティッシュ・カウンシル、社団法人日本グラフィックデザイナー協会、十勝町村会、十勝教育局、帯広市、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、NPO十勝文化会議、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連絡協議会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UHB帯広支社、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

企画協力＝The Reel Poster Gallery、MEM INC.

協力＝日本航空、帯広映画協会、おびひろシネフェスタ2001実行委員会

観覧料＝一般800（700）円、高大生500（400）円、小中生300（200）円
心身に障害のある方などは無料
（ ）内は10名以上の団体および前売り料金

関連事業

美術講演会

「映画から学んだビジュアル・デザインー映画は偉大な学校だった」

講師＝粟津潔氏（印刷博物館館長）

日時＝9月29日（土）午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「2001年映画ポスターの旅」

講師＝石尾乃里子（当館学芸員）

日時＝10月6日（土）、10月20日（土）午後2時～3時

会場＝当館講堂

ロビーコンサート

「映画音楽のつどい」

演奏＝高橋哲夫氏（フルート、オカリナ）、中村吉昭氏（ギター）

日時＝9月15日（土）午後2時～3時30分

会場＝当館ロビー

図録

規格＝24.0×25.0cm／総頁数160ページ

構成＝あいさつ／トニー・ノーマンド「2001年ポスターの旅」／柏木博「20世紀の記憶－映画とポスター」／和田誠「極私的映画ポスター史」／カタログ／デザイナー解説／映画データ／文献



ポスター



図録

関連記事

「ポスターでたどる『シネマの20世紀』」芸術新潮2001年5月号
 「ユニークな映画ポスター展」JALウィンズ 2001年4月27日
 「すばらしき哉！名画 あの感動を呼び覚ます」十勝毎日新聞／9月12日
 石尾乃里子「映画ポスターは語る 上・中・下」十勝毎日新聞／9月19日～21日
 「専門家の見る映画ポスター 写真家の視点から」十勝毎日新聞／9月22日

「専門家の見る映画ポスター イラストレーターの視点」十勝毎日新聞／9月29日
 「専門家の見る映画ポスター グラフィックデザイナー」十勝毎日新聞／10月6日
 大石嘉映「風と共に去りぬ」十勝毎日新聞／10月9日

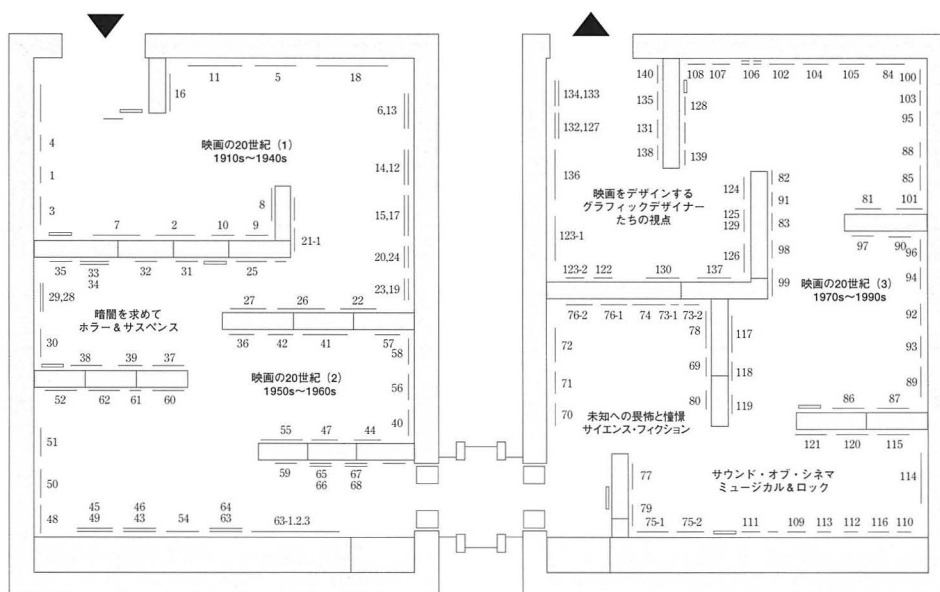
1895年、リュミエール兄弟が発明したシネマトグラフは、パリの町に一大旋風を巻き起こし、20世紀芸術と大衆娯楽を代表する「映画」が誕生した。それから100年余り、人々とともに歩んできた映画は、時代を象徴する文化としての地位を得るとともに、視覚芸術や音楽などの芸術領域にも影響を与えてきた。

この展覧会では、100年におよぶ映画の歴史とともに展開してきた映画ポスターに焦点をあて、映画ポスターを専門に收藏するロンドンのリール・ポスター・ギャラリーを中心に個人所蔵家、サントリーミュージアム「天保山」、ユニバーサル・スタジオのコレクションのなかから、欧米映画史を彩ってきた名作映画142作品のオリジナルポスター150点を展示した。出品作品は、1910～40年代、1950～60年代、1970～90年代という年代ごとに

映画史に沿ってポスターを紹介する「映画の20世紀」の3つのコーナーを柱に、映画のジャンル別に焦点をあてた「ホラー&サスペンスー暗闇を求めて」「サイエンス・フィクションー未知への畏怖と憧憬」「ミュージカル&ロックーサウンド・オブ・シネマ」、著名デザイナーやアーティストの手がけたポスターを紹介する「グラフィック・デザイナーたちの視点ー映画をデザインする」の4コーナーを加えたあわせて7つのコーナーにより構成。また時事や映画用語、映画ポスターの様式などに関する解説パネルも交え、歴史的価値のみならず、すぐれた芸術性を兼ね備えた映画ポスターの魅力を紹介した。

会期中に訪れた約4,600人の観覧者は、過ぎし日の記憶を呼び起こす映画ポスターにより、20世紀の文化の1頁を振り返った。

展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

■映画の20世紀 [1] - 1910s~40s

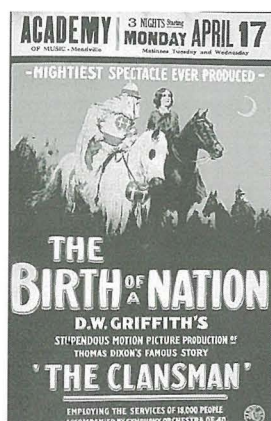
No.	タイトル	ポスターデザイナー	ポスター制作年	ポスター制作国	技法/スタイル	寸法 (mm)	所蔵先
1	国民の創生	不明	1915	アメリカ	リトグラフ	560×360	J.パーティス氏
2	カリガリ博士	T.マテシコ、M.ヴェルテス	1920	ドイツ	リトグラフ	870×1256	サントリーミュージアム[天保山]
3	戦艦ポチョムキン	A.M.ラヴィンスキー	1925	ソヴィエ	リトグラフ	716×1078	サントリーミュージアム[天保山]
4	黄金狂時代	不明	1925	アメリカ	リトグラフ/スタイルB	560×360	M.ブリッジウォーター氏
5	キートン將軍	H.ハドレイ	1927	アメリカ	リトグラフ	2060×104	A.コーエン氏
6	暗黒街	V.トロッタ、M.カリス	1927	アメリカ	リトグラフ/スタイルA	1046×697	リール・ポスター・ギャラリー
7	ナポレオン	G.スコット	1927	フランス	リトグラフ	2390×1600	A.コーエン氏
8	アンダルシアの犬	不明	1968	フランス	オフセット	1204×804	リール・ポスター・ギャラリー
9	伯林-大都会交響	ヴェナヴェール	1927	フランス	リトグラフ	594×1202	リール・ポスター・ギャラリー
10	M	不明	1931	ドイツ	リトグラフ	1422×952	サントリーミュージアム[天保山]
11	自由を我等に	J-A.メルシエ	1931	フランス	リトグラフ	1600×239	A.コーエン氏
12	四十二番街	H.ロビンソン、 J.ティスマン	1933	アメリカ	リトグラフ	1040×690	A.コーエン氏
13	或る夜の出来事	J.マイアーズ	1934	アメリカ	リトグラフ/スタイルA	1040×690	M.ブリッジウォーター氏
14	パラダイス・キャニオン (未)	L.リフトン	1935	アメリカ	リトグラフ	1044×694	B.マーチャント氏
15	西班牙狂想曲	不明	1935	アメリカ	オフセット/スタイル	1040×690	A.コーエン氏
16	大いなる幻影	B.ランシー	1945	フランス	リトグラフ/再公開	790×610	A.コーエン氏
17	風と共に去りぬ	A.セグソ	1939	アメリカ	オフセット/スタイルDF	1040×690	A.コーエン氏
18	カサブランカ	B.ゴールド	1942	アメリカ	オフセット	2060×206	A.コーエン氏
19	市民ケーン	不明	1941	アメリカ	オフセット/スタイルB	560×710	A.コーエン氏
20	素晴らしき哉、人生	不明	1946	アメリカ	オフセット	1040×690	A.コーエン氏
21-1	天井桟敷の人々	J.パウカ	1955	ポーランド	オフセット	872×590	リール・ポスター・ギャラリー
21-2	天井桟敷の人々	J.パウカ	1955	ポーランド	オフセット	872×590	リール・ポスター・ギャラリー
22	自転車泥棒	E.ブリーニ	1948	イタリア	オフセット	1988×1396	リール・ポスター・ギャラリー
23	第三の男	C.ヴェガ	1950	メキシコ	オフセット	930×686	リール・ポスター・ギャラリー
24	ならず者	不明	1942	アメリカ	オフセット/スタイルB	1040×690	A.コーエン氏
25	荒野の決闘	S.ガルジュロ	1946	アメリカ	オフセット	2060×104	S.マーチャント氏
26	黄金	R.ペロン	1948	フランス	リトグラフ	544×1150	リール・ポスター・ギャラリー
27	キー・ラーゴ	P.ビジョ	1948	フランス	リトグラフ	1545×1146	リール・ポスター・ギャラリー

■暗闇を求めて-ホラー&サスペンス

No.	タイトル	ポスターデザイナー	ポスター制作年	ポスター制作国	技法/スタイル	寸法 (mm)	所蔵先
28	フランケンシュタイン	不明	1947	アメリカ	オフセット/再公開	1061×686	ユニバーサル・スタジオ
29	吸血鬼ドラキュラ	不明	1958	イギリス	オフセット	766×1020	ユニバーサル・スタジオ
30	狼男 (未)	P.タルキーニ	1949	イタリア	オフセット	1967×1390	リール・ポスター・ギャラリー
31	オペラ座の怪人	F.カルファーニ	1949頃	イタリア	オフセット	1000×708	リール・ポスター・ギャラリー
32	拳銃魔	不明	1950	アメリカ	オフセット	1043×695	リール・ポスター・ギャラリー
33	めまい	S.バス	1958	アメリカ	オフセット	1048×681	リール・ポスター・ギャラリー
34	サイコ	不明	1960	イギリス	オフセット/スタイルB	760×1020	A.コーエン氏
35	JAWS ジョーズ	不明	1975	アメリカ	オフセット	1040×698	リール・ポスター・ギャラリー

■映画の20世紀 [2] - 1950s~60s

No.	タイトル	ポスターデザイナー	ポスター制作年	ポスター制作国	技法/スタイル	寸法 (mm)	所蔵先
36	サンセット大通り	不明	1950	アメリカ	オフセット/スタイルB	1039×682	リール・ポスター・ギャラリー
37	イヴの総て	E.ニチェ	1950	アメリカ	オフセット	1038×680	サントリーミュージアム[天保山]



「国民の創生」



「アンダルシアの犬」

No.	タイトル	ポスターデザイナー	ポスター制作年	ポスター制作国	技法/スタイル	寸法 (mm)	所蔵先
38	ローマの休日	F.フィオレンジ	1953	イタリア	オフセット	1414×1000	リール・ポスター・ギャラリー
39	七年目の浮気	不明	1955	アメリカ	オフセット	2000×1044	リール・ポスター・ギャラリー
40	ブワナの悪魔	不明	1952	アメリカ	オフセット	2010×1058	リール・ポスター・ギャラリー
41	波止場	A.バレスター	1954	イタリア	オフセット	1986×1402	リール・ポスター・ギャラリー
42	十戒	不明	1956	アメリカ	オフセット/スタイルA	1082×709	リール・ポスター・ギャラリー
43	理由なき反抗	R.キヴェルスキ	1956頃	ポーランド	オフセット	848×596	リール・ポスター・ギャラリー
44	恐怖の報酬	R.レヴェック	1951	フランス	リトグラフ/スタイルB	1540×1136	M.ブリッジウォーター氏
45	悪魔のような女	R.ジッド	1954	フランス	オフセット	799×596	リール・ポスター・ギャラリー
46	灰とダイヤモンド	W.ファンゴル	1958	ポーランド	オフセット	857×585	M.ブリッジウォーター氏
47	甘い生活	G.オリヴェッティ	1959	イタリア	オフセット/スタイルA	1974×1402	J.パーティス氏
48	勝手にしやがれ	C.ウレル	1959	フランス	オフセット	1599×1176	リール・ポスター・ギャラリー
49	太陽がいっぱい	ボコルナ	1960頃	チェコスロバキア	オフセット	818×579	リール・ポスター・ギャラリー
50	地下鉄のザジ	不明	1960	フランス	オフセット	1614×1201	リール・ポスター・ギャラリー
51	突然炎のごとく	C.ブルタン	1961	フランス	オフセット	1592×1183	サントリーミュージアム[天保山]
52	スリ	J.フラスティエ	1959	フランス	オフセット	1612×1201	リール・ポスター・ギャラリー
53	去年マリエンバードで	H.ヒルマン	1960代	西ドイツ	オフセット/再公開	839×598	リール・ポスター・ギャラリー
54	アメリカの影	S.ショウ (P)	1960	イギリス	シルクスクリーン	2038×1018	リール・ポスター・ギャラリー
55	シンリイの黒い霧	不明	1961	イタリア	オフセット	1400×1088	リール・ポスター・ギャラリー
56	アラビアのロレンス	不明	1962	アメリカ	オフセット/ロード・ショー・スタイル	2006×1058	M.ブリッジウォーター氏
57	ドクトル・ジバゴ	M.ビドロヴスキ	1965	アメリカ	オフセット/ロード・ショー・スタイル	1520×1032	リール・ポスター・ギャラリー
58	大脱走	不明	1963	アメリカ	オフセット	2006×1058	リール・ポスター・ギャラリー
59	おかしなおかしなおかしな世界	S.バス	1963	アメリカ	オフセット/スタイルB	1056×682	リール・ポスター・ギャラリー
60	007/ロシアより愛を込めて	R.フラティーニ	1963	イギリス	オフセット	767×1016	D.ギルヴァン氏
61	荒野の用心棒	S.シメオーニ	1964	イタリア	オフセット	713×332	リール・ポスター・ギャラリー
62	夕陽のガンマン	不明	1965	イタリア	オフセット/スタイルB	1965×1400	リール・ポスター・ギャラリー
63-1	欲望	不明	1966	イタリア	オフセット	1988×1406	リール・ポスター・ギャラリー
63-2	欲望	不明	1966	イタリア	オフセット	1988×1406	リール・ポスター・ギャラリー
63-3	欲望	不明	1966	イタリア	オフセット	1988×1406	リール・ポスター・ギャラリー
64	仮面ペルソナ	ネメチェック&オキセイ	1967頃	チェコスロバキア	オフセット	824×583	リール・ポスター・ギャラリー
65	俺たちに明日はない	不明	1967	アメリカ	オフセット	1037×699	リール・ポスター・ギャラリー
66	卒業	不明	1967	アメリカ	オフセット/スタイルB	1040×708	リール・ポスター・ギャラリー
67	イージー・ライダー	不明	1969	アメリカ	オフセット/カンヌ映画祭	1038×696	M.ブリッジウォーター氏
68	ワイルドバンチ	不明	1969	アメリカ	オフセット	1038×700	リール・ポスター・ギャラリー

■未知への畏怖と憧憬ーサイエンス・フィクション

No.	タイトル	ポスターデザイナー	ポスター制作年	ポスター制作国	技法/スタイル	寸法 (mm)	所蔵先
69	メトロポリス	H.シュツ＝ノイグム	1926	ドイツ	リトグラフ	2090×970	A.コーエン氏
70	キング・コング	B.マコーミック、B.シスク	1933	アメリカ	リトグラフ/スタイルA	1040×690	A.コーエン氏
71	宇宙戦争	不明	1953	イギリス	リトグラフ	762×1012	D.ギルヴァン氏
72	禁断の惑星	不明	1956	アメリカ	オフセット	1050×682	D.ギルヴァン氏
73-1	2001年宇宙の旅	M.カプラン	1968	アメリカ	オフセット/スタイルE	1054×686	リール・ポスター・ギャラリー
73-2	2001年宇宙の旅	R.マッコール	1968	アメリカ	レンチキュラー	145×105	リール・ポスター・ギャラリー
74	時計じかけのオレンジ	P.キャッスル	1971	イギリス	オフセット	762×1018	M.ブリッジウォーター氏
75-1	スター・ウォーズ	H.チャイキン	1976	アメリカ	オフセット	734×520	リール・ポスター・ギャラリー
75-2	スター・ウォーズ	D.ストローザン、 C.ホワイト3世	1977	アメリカ	オフセット/スタイルD	1040×699	リール・ポスター・ギャラリー
76-1	エイリアン	不明	1978	アメリカ	オフセット/アドバンス	1038×698	M.ブリッジウォーター氏
76-2	エイリアン	S.フランクフルオ (CD)、 P.ギブス (D)	1979	アメリカ	オフセット	1043×689	M.ブリッジウォーター氏
77	ブレードランナー	J.アルヴィン	1982	アメリカ	オフセット	1040×690	M.ブリッジウォーター氏
78	E.T.	S.スビルバーグ (写真)	1982	アメリカ	オフセット/廃案	1024×686	M.ブリッジウォーター氏
79	バック・トゥ・ザ・フューチャー	D.ストローザン	1985	アメリカ	オフセット	1039×700	M.ブリッジウォーター氏
80	ジュラシック・パーク	C.キッド (イラスト)、 T.マーティン	1993	アメリカ	オフセット/アドバンス	1006×690	リール・ポスター・ギャラリー



C.ウレル「勝手にしやがれ」



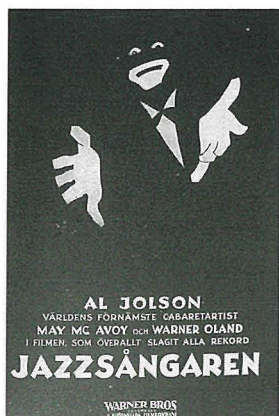
R.アムセル「ウッド・ストック」

■サウンド・オブ・シネマミュージカル&ロック

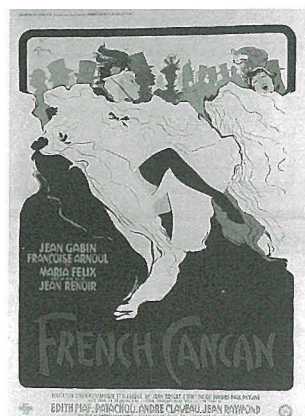
No.	タイトル	ポスターデザイナー	ポスター制作年	ポスター制作国	技法/スタイル	寸法 (mm)	所蔵先
109	ジャズ・シンガー	不明	1927	スウェーデン	リトグラフ	993×679	M.ブリッジウォーター氏
110	踊らん哉	W.ローズ	1937	アメリカ	オフセット	1040×690	A.コーエン氏
111	オズの魔法使い	H.パローズ	1939	アメリカ	リトグラフ	350×200	B.マーチャント氏
112	雨に唄えば	S.カンペジ	1953	イタリア	オフセット	1400×990	A.マクドナルド氏
113	上流社会	不明	1956	アメリカ	オフセット/スタイルA	557×722	リール・ポスター・ギャラリー
114	フレンチ・カンカン	R.グリュオ	1955	フランス	リトグラフ	3165×2251	サントリーミュージアム[天保山]
115	ウエスト・サイド物語	S.パス	1961	アメリカ	オフセット	1044×681	M.ブリッジウォーター氏
116	サウンド・オブ・ミュージック	不明	1965	イギリス	オフセット	762×1017	リール・ポスター・ギャラリー
117	ビートルズがやって来る/ヤァ!ヤァ!ヤァ!	R.フリーマン (写真)	1964	イギリス	オフセット	766×1014	A.コーエン氏
118	ローリング・ストーンズ・イン・ギミー・シュルター	不明	1970	アメリカ	オフセット	1064×684	リール・ポスター・ギャラリー
119	ウッド・ストック	R.アムセル	1970	西ドイツ	オフセット	604×420	リール・ポスター・ギャラリー
120	サタデー・ナイト・フィーバー	不明	1977	アメリカ	オフセット/アドバンス	1040×700	リール・ポスター・ギャラリー
121	シド・アンド・ナンシー	不明	1986	イギリス	オフセット	1019×683	リール・ポスター・ギャラリー

■映画の20世紀 [3] - 1970s~90s

No.	タイトル	ポスターデザイナー	ポスター制作年	ポスター制作国	技法/スタイル	寸法 (mm)	所蔵先
81	ダーティハリー2	B.ゴールド	1973	アメリカ	オフセット	926×355	リール・ポスター・ギャラリー
82	M★A★S★Hマッシュ	M.デュイツ	1970	アメリカ	オフセット/ワールド・プレミアム	1059×684	A.コーエン氏
83	黒いジャガー	不明	1971	アメリカ	オフセット	1058×686	リール・ポスター・ギャラリー
84	ベニスに死す	ラストヴカ	1971頃	チェコスロバキア	オフセット	812×569	リール・ポスター・ギャラリー
85	カンタベリー物語	S.シメオーニ	1971	イタリア	オフセット	944×664	リール・ポスター・ギャラリー
86	ラストタンゴ・イン・パリ	不明	1972	イギリス	オフセット	766×1016	リール・ポスター・ギャラリー
87	ゴッドファーザー	不明	1972	イギリス	オフセット	1015×690	リール・ポスター・ギャラリー
88	ロッキー・ホラー・ショー	J.パシェ	1975	イギリス	オフセット	762×1012	M.ブリッジウォーター氏
89	チャイナタウン	R.アムセル	1974	西ドイツ	オフセット	838×610	リール・ポスター・ギャラリー
90	カッコーの巣の上で	不明	1975	アメリカ	オフセット	1040×692	リール・ポスター・ギャラリー
91	ロッキー	M.サリスベリー	1976	アメリカ	オフセット	1036×696	リール・ポスター・ギャラリー
92	タクシードライバー	G.ペーラート	1976	アメリカ	オフセット	1042×702	リール・ポスター・ギャラリー
93	レイジング・ブル	K.ハギオ	1980	アメリカ	オフセット/ファースト・アドバンス	1039×697	リール・ポスター・ギャラリー
94	ディア・ハンター	F.アトキンス	1978	アメリカ	オフセット/発禁	1012×686	サントリーミュージアム[天保山]
95	地獄の黙示録	B.ピーク	1979	アメリカ	オフセット	1043×690	M.ブリッジウォーター氏
96	さすらい	不明	1976	西ドイツ	オフセット/スタイルA	843×605	リール・ポスター・ギャラリー
97	イレイザーヘッド	不明	1977	アメリカ	オフセット	560×443	リール・ポスター・ギャラリー
98	マンハッタン	不明	1979	アメリカ	オフセット/スタイルB	991×638	サントリーミュージアム[天保山]
99	ストレンジ・ザン・パラダイス	不明	1984	アメリカ	オフセット/カンヌ映画祭	998×660	サントリーミュージアム[天保山]
100	フィツカラルド	J.マスキー	1982	西ドイツ	オフセット	837×603	リール・ポスター・ギャラリー
101	ニュー・シネマ・パラダイス	タイト	1988	イタリア	オフセット	709×333	リール・ポスター・ギャラリー
102	グレート・ブルー	A.マリノフスキ	1988	フランス	オフセット	1552×1162	サントリーミュージアム[天保山]
103	コックと泥棒、その妻と愛人	ザ・クリエイティヴ・パートナーシップ	1989	イギリス	オフセット	767×1016	M.ブリッジウォーター氏
104	裸のランチ	S.トウイガー	1991	アメリカ	オフセット	1008×684	リール・ポスター・ギャラリー
105	許されざる者	B.ゴールド	1992	アメリカ	オフセット/ファースト・アドバンス	1018×690	リール・ポスター・ギャラリー
106-1	バルブ・フィクション	F.ザヘーディ	1994	イギリス	オフセット/特別4点組アドバンス	508×342	リール・ポスター・ギャラリー
106-2	バルブ・フィクション	F.ザヘーディ	1994	イギリス	オフセット/特別4点組アドバンス	508×342	リール・ポスター・ギャラリー
106-3	バルブ・フィクション	F.ザヘーディ	1994	イギリス	オフセット/特別4点組アドバンス	508×342	リール・ポスター・ギャラリー
106-4	バルブ・フィクション	F.ザヘーディ	1994	イギリス	オフセット/特別4点組アドバンス	508×342	リール・ポスター・ギャラリー
107	スモーク	T.カークマン	1995	アメリカ	オフセット	1014×699	リール・ポスター・ギャラリー
108	ファーフ	K.スワン、E.キントラー、J.ワクセル	1996	アメリカ	オフセット	1013×694	リール・ポスター・ギャラリー



「ジャズ・シンガー」



R.グリュオ「フレンチ・カンカン」

■映画をデザインするーグラフィック・デザイナーたちの視点

No.	タイトル	ポスターデザイナー	ポスター制作年	ポスター制作国	技法/スタイル	寸法 (mm)	所蔵先
122	第十一年目	V.A.ステンベルク、 G.A.ステンベルク	1928	ソヴィエト	リトグラフ	1016×696	サントリーミュージアム[天保山]
123-1	十月	V.A.ステンベルク、 G.A.ステンベルク、 Y.ルクレヴスキー	1927	ソヴィエト	リトグラフ	2618×2063	サントリーミュージアム[天保山]
123-2	十月	V.A.ステンベルク、 G.A.ステンベルク	1929	ソヴィエト	リトグラフ/インターナショナル	1384×1009	サントリーミュージアム[天保山]
124	名もなき女第2部	J.チヒョルト	1927	ドイツ	オフセット	1199×856	サントリーミュージアム[天保山]
125	黄金の腕	S.バス	1955	アメリカ	リトグラフ/スタイルA	559×722	リール・ポスター・ギャラリー
126	復習鬼 (未)	P.ランド	1950	アメリカ	オフセット	1050×688	リール・ポスター・ギャラリー
127	死刑台のエレベーター	J.レニツァ	1958	ポーランド	シルクスクリーン	857×580	リール・ポスター・ギャラリー
128	オルフェの遺言 私に何故問い給うな	J.コクトー	1959	フランス	リトグラフ	624×397	リール・ポスター・ギャラリー
129	鳥	B.ゼレク	1965	ポーランド	オフセット	838×593	リール・ポスター・ギャラリー
130	博士の異常な愛情/ また私は如何にして心配するのを 止めて水爆を愛するようになったか	T.アンジェラー	1964	アメリカ	シルクスクリーン	1984×1054	リール・ポスター・ギャラリー
131	チェルシー・ガールズ	A.オールドリッジ	1967	イギリス	オフセット	750×491	リール・ポスター・ギャラリー
132	真夜中のカーボーイ	W.シヴィエジ	1973	ポーランド	オフセット	822×594	リール・ポスター・ギャラリー
133	砂丘	M.グレーザー	1970	アメリカ	オフセット/スペシャル	710×557	リール・ポスター・ギャラリー
134	キャバレー	W.グルカ	1973	ポーランド	オフセット	836×582	リール・ポスター・ギャラリー
135	デヴィッド・ホックニー 彼と彼とても大きな水しぶき	D.ホックニー	1974	イギリス	オフセット	770×1017	リール・ポスター・ギャラリー
136	ブルジョワジーの秘かな愉しみ	R.フェラッチ	1972	フランス	オフセット	3171×2366	サントリーミュージアム[天保山]
137	ストーカー	J-M.フォロン	1981	フランス	オフセット	1600×1208	リール・ポスター・ギャラリー
138	ワルダン・ケレル	A.ウォーホル	1982	西ドイツ	オフセット/廃案	838×607	リール・ポスター・ギャラリー
139	ラルジャン	R.サヴィニャック	1982	フランス	リトグラフ	924×645	サントリーミュージアム[天保山]
140	ハイヒール	J.ガッティ	1991	スペイン	オフセット	1010×718	リール・ポスター・ギャラリー
参考出品	オルフェの遺言	J.コクトー	1959	フランス	リトグラフ	1600×1200	北海道立帯広美術館

*寸法は縦×横

*ポスターデザイナーに付した () 内のアルファベットは次の意味を示す

AD/アート・ディレクター

CD/クリエイティブ・ディレクター

*スタイルの欄に記載したことばは次の通り

スタイルA～Z/1本の映画に対して制作された各ポスターに、アルファベットの分類番号を付したものと

再公開/映画の再公開時に制作されたものと

アドバンス/映画初公開前に制作されたものと

ファースト・アドバンス/アドバンスのうち最初に制作されたものと

廃案・発禁/制作されてから他のデザインに差し替えられ、掲出されなかった、あるいは掲出後まもなく回収されたものと

スペシャル/通常の掲出場所の形に合わないもの。少数しか印刷されず、デザインが通常のポスターと異なるものが多い

ロードショー・スタイル/1960年代のアメリカで映画の特別公開のために制作されたポスター



T.アンジェラー「博士の異常な愛情」



J.レニツァ「死刑台のエレベーター」

開館10周年記念

バルビゾンと田園の画家たち

会期＝平成13年11月1日（木）－12月12日（水）37日間

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

観覧料＝一般930（780）円、高大生570（460）円、小中生360（300）円
心身に障害のある方などは無料
（ ）内は10名以上の団体料金

関連事業

特別展セミナー

「風景に見る19世紀フランスのリアリズム」

講師＝鎌田 享（当館学芸員）

日時＝11月17日（土）、12月8日（土）午後2時～3時

会場＝当館講堂

図 録

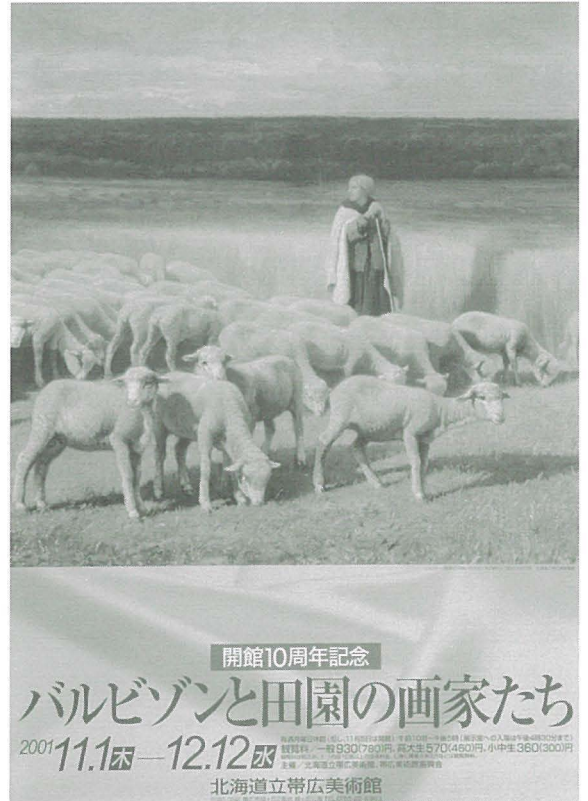
規格＝29.6×21.0cm／総頁数96ページ

構成＝ごあいさつ／鎌田享「自然へのまなざしーバルビゾンと19世紀フランスの《風景》」／図版／関連地図／主要作家生没年表／作家解説／出品リスト／謝辞

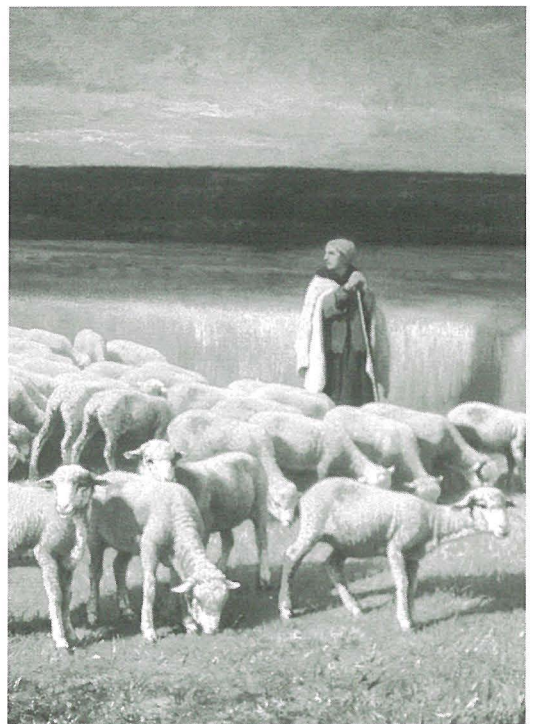
関連記事

「31日に開館10周年式典 来月から記念特別展 2団体が絵画を寄贈へ」十勝毎日新聞／10月23日

小藤田勲「バルビゾンと田園の画家たち 時空を越え伝わる息吹」北海道新聞／11月8日



ポスター



図録

帯広美術館では農村風景・田園風俗を描いた西洋美術作品の収集を進めている。19世紀フランスのバルビゾン派の油彩画や版画を中心とするそれらの作品は、平成3年の当館のオープンに際して、地元の誘致団体「北海道立帯広美術館建設協力会」から寄贈された26点の作品を基に、現在50点あまりを数えている。

帯広美術館の開館10周年を記念する特別展として開催された本展は、当館所蔵のバルビゾン派作品を国内各地に所蔵されている関連作品とともに展示し、19世紀フランスにおける風景表現の一端を紹介したものである。コロー、ミレー、ルソー、トロワイヨン、デュプレらバルビゾン派の中心画家、あるいはクールベをはじめとするバルビゾン派と密接な関係をもった画家たちの油彩作品に加え、同時代の版画・写真作品などによって、この時代の田園風景画の広がりや革新性を振り返った。

バルビゾンはパリ南東約60キロに位置する小村である。豊かな自然環境に囲まれたこの村には多数の画家たちが集まり、周辺の緑あふれる森の光景や眼前に広がる平原や田園、あるいはそこで暮らす農民たちの素朴な姿を描きとどめている。屋外での写生を試み、自然の相貌や印象を真摯な姿勢で描き出した彼らの作品は、フランス風景画の歴史に新たな1ページを加え、印象派の先駆とも位置づけられる。また、この時代に発明され普及した写真技術は当時の人びとや画家の視覚体験に大きな影響をあたえたが、バルビゾンの景觀に惹かれた写真家たちもま

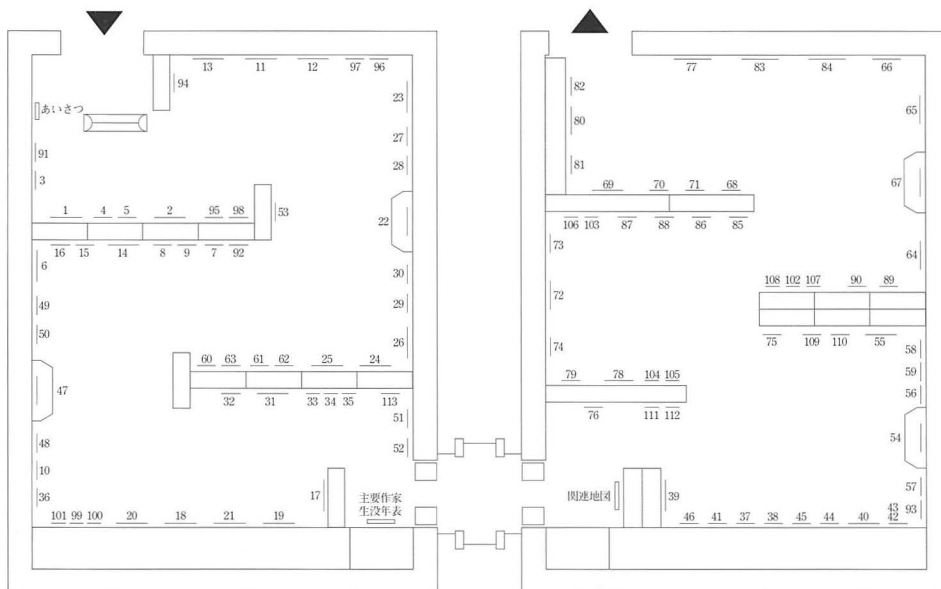
た、自然の様相をあるがままに記録していった。本展では油彩50点、水彩素描5点、版画38点、写真20点、合わせて113点の作品により、バルビゾンに集った芸術家たちの自然へのまなざしに光を当てた。

展示構成も分野別の陳列を避け、油彩と版画作品、版画と写真作品が比較対照可能なように配置し、主題や構図、視点など個々の芸術家の自然観やその表現手法が浮き立つ作品展示を心がけた。

なお本展では、開館10周年を記念して関係2団体から寄贈された2点の油彩画が一般公開され、美術館と市民とが連携しての作品収集、展示活動としても大きな注目を集めた。その1点は建設協力会が美術館開館後に組織改編した「帯広美術館振興会」から寄贈を受けたクールベの《釣り人のいる風景》。もう1点は当館の開館当初から喫茶、売店、資料整理などのボランティア活動を行っている「しらかばの会」から寄贈を受けたデュプレ初期の代表作《ペリー地方の農家》である。本展開幕の前日、10月31日に举行された開館10周年記念式典では、多数の来賓、ボランティアほか関係者を迎えたなかでこの2団体に感謝状が授与された。

日本有数の農業地帯を後背地にもち、西洋美術とプリントアートをテーマに活動を展開している帯広美術館にふさわしい展覧会として本展に対する地域住民の関心も高く、晩秋から初冬の時期ながら観覧者総数は5,925人に及んだ。

展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No. 作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
1 ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	ヴィル=ダヴレー 白樺のある池	1855-60年頃	油彩、キャンバス	49.0×73.0	愛媛県美術館
2 ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	舟渡し ドゥエ近郊	1870-72年	油彩、キャンバス	50.5×80.0	島根県立美術館
3 ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	ひざまずくマグダラのマリア	1858年	クリシェ=ヴェール、紙	16.5×11.4	北海道立帯広美術館
4 ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	イタリアの思い出	1863年	エッチング、紙	29.5×22.0	北海道立帯広美術館
5 ジャン=バティスト=カミーユ・コロ	植林された平野	1866年	エッチング、紙	10.0×13.0	北海道立帯広美術館
6 カミーユ・フレール	風景 (狩りをする人物)	不詳	油彩、キャンバス	54.3×73.5	富士カントリー株式会社
7 ポール・ユエ	谷	不詳	油彩、キャンバス	30.5×49.5	栃木県立美術館
8 ポール・ユエ	オージュ谷のノルマンディー人の家の庭	1866年	エッチング、紙	9.5×14.0	北海道立帯広美術館
9 ポール・ユエ	フォンテーヌブロー付近	1866年	エッチング、紙	19.3×28.0	北海道立帯広美術館
10 ジャック=レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩、キャンバス	49.0×65.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
11 ナルシス=ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	フォンテーヌブローの檜の木「怒れる者」	1862年	油彩、キャンバス	71.4×93.5	山梨県立美術館
12 ナルシス=ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	フォンテーヌブローの森の小径	1871年	油彩、キャンバス	57.7×76.7	山寺後藤美術館
13 ナルシス=ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	ソロニユにて	不詳	油彩、キャンバス	48.7×65.6	富士カントリー株式会社
14 カール・ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
15 カール・ボドメール	鹿	19世紀後半	エッチング、手彩色、紙	8.7×13.5	北海道立帯広美術館
16 カール・ボドメール	鳥の水場	19世紀後半	リトグラフ、紙	48.8×34.4	北海道立帯広美術館
17 コンスタン・トロワイヨン	りんごの取り入れ	1840年頃	油彩、キャンバス	52.0×71.0	新潟県立近代美術館
18 コンスタン・トロワイヨン	水浴する牛 (帰途)	1855-60年頃	油彩、キャンバス	76.5×98.0	栃木県立美術館
19 コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
20 コンスタン・トロワイヨン	木の下で	不詳	油彩、キャンバス	72.4×91.4	個人蔵
21 コンスタン・トロワイヨン	水を飲む牛	不詳	油彩、キャンバス	47.6×81.5	個人蔵
22 ジュール・デュブレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7×67.3	北海道立帯広美術館
23 ジュール・デュブレ	森の中 夏の朝	1840年頃	油彩、キャンバス	95.5×76.0	山梨県立美術館
24 ジュール・デュブレ	沼地	不詳	油彩、キャンバス	41.1×60.5	富士カントリー株式会社
25 ジュール・デュブレ	たそがれ	不詳	油彩、キャンバス	75.0×60.0	個人蔵
26 ジュール・デュブレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8	北海道立帯広美術館
27 ジュール・デュブレ	ソロニユの風車	1835年	リトグラフ、紙	19.6×14.0	北海道立帯広美術館
28 ジュール・デュブレ	ノルマンディー地方の風景	1835年	リトグラフ、紙	13.7×20.7	北海道立帯広美術館
29 ジュール・デュブレ	イギリス風景	1836年	リトグラフ、紙	12.9×20.7	北海道立帯広美術館
30 ジュール・デュブレ	アランソン風景	1839年	リトグラフ、紙	13.3×19.0	北海道立帯広美術館
31 ビエール=エティエンヌ=テオドル・ルソー	ノルマンディーの風景	1832-33年頃	油彩、キャンバス	73.3×92.3	山寺後藤美術館
32 ビエール=エティエンヌ=テオドル・ルソー	ヴェルノン近く of セーヌ川	不詳	油彩、板	23.0×48.5	個人蔵
33 ビエール=エティエンヌ=テオドル・ルソー	ピオーのサクランボの木	1848年頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.1×27.7	北海道立帯広美術館
34 ビエール=エティエンヌ=テオドル・ルソー	ピオーの平原	1848年頃	クリシェ=ヴェール、紙	21.8×27.7	北海道立帯広美術館
35 ビエール=エティエンヌ=テオドル・ルソー	檜の木と岩	1861年	エッチング、紙	12.7×17.2	北海道立帯広美術館
36 ルイ・カバ	市からの帰り道	不詳	油彩、キャンバス	40.5×61.0	富士カントリー株式会社
37 シャルル=エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70年頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
38 シャルル=エミール・ジャック	森はずれの羊飼いの少女	1870-80年頃	油彩、キャンバス	81.2×66.3	山梨県立美術館



コロ「ヴィル=ダヴレー 白樺のある池」



ディアズ「フォンテーヌブローの森の小径」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
39	シャルル=エミール・ジャック	牧舎	不詳	油彩、キャンバス	48.0×61.5	横浜美術館 (坂田武雄氏寄贈)
40	シャルル=エミール・ジャック	納屋の中の羊の群れ	不詳	油彩、キャンバス	73.8×93.0	個人蔵
41	シャルル=エミール・ジャック	蹄鉄場	1865年	エッチング、紙	12.8×19.3	北海道立帯広美術館
42	シャルル=エミール・ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0	北海道立帯広美術館
43	シャルル=エミール・ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7	北海道立帯広美術館
44	シャルル=エミール・ジャック	オランダ牛	19世紀後半	エッチング、紙	11.0×17.9	北海道立帯広美術館
45	シャルル=エミール・ジャック	雄鶏と雌鶏	19世紀後半	エッチング、紙	12.1×17.0	北海道立帯広美術館
46	シャルル=エミール・ジャック	夏	19世紀後半	エッチング、紙	12.8×9.7	北海道立帯広美術館
47	ジャン=フランソワ・ミレー	兎のいるアプルモン峡谷の日の出	1860-62年頃	油彩、キャンバス	50.1×61.3	個人蔵
48	ジャン=フランソワ・ミレー	耕す人	1855年頃	エッチング、紙	24.0×34.0	北海道立帯広美術館
49	ジャン=フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56年	エッチング、紙	19.2×25.0	北海道立帯広美術館
50	ジャン=フランソワ・ミレー	裁縫する女	1855-56年	エッチング、紙	10.5×7.4	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
51	フランソワ=ルイ・フランセ	風景—丘陵の牛	1859年	パステル、紙	54.7×82.6	北海道立帯広美術館
52	フランソワ=ルイ・フランセ	沼辺の犬	19世紀中頃	リトグラフ、紙	15.6×24.7	北海道立帯広美術館
53	レオン=ヴィクトール・デュプレ	羊の群れ	不詳	油彩、板	44.0×64.8	ツァイト・フォト
54	シャルル=フランソワ・ドービニー	川のそばで休息する羊飼いの	1877年	油彩、板	37.8×66.7	個人蔵
55	シャルル=フランソワ・ドービニー	コートレーの山あい	不詳	油彩、キャンバス	97.8×130.8	山寺後藤美術館
56	シャルル=フランソワ・ドービニー	レバノンの西洋杉	1842年	エッチング、紙	17.5×11.3	北海道立帯広美術館
57	シャルル=フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い	1860年	エッチング、紙	18.4×34.3	北海道立帯広美術館
58	シャルル=フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877年	エッチング、紙	14.0×23.9	北海道立帯広美術館
59	シャルル=フランソワ・ドービニー	ヴィラーヴィル海岸	19世紀後半	エッチング、紙	9.2×19.8	北海道立帯広美術館
60	アドルフ・アビアン	リックスの周辺	1864年	エッチング、紙	7.0×15.1	北海道立帯広美術館
61	アドルフ・アビアン	ロメ谷	1868年	エッチング、紙	10.1×19.1	北海道立帯広美術館
62	アドルフ・アビアン	マントン近郊	1879年	エッチング、紙	12.2×20.1	北海道立帯広美術館
63	アドルフ・アビアン	リヨン周辺	1879年	エッチング、紙	14.1×23.3	北海道立帯広美術館
64	ギュスターヴ・クールベ	フォンテーヌブローの森	1841年頃	油彩、キャンバス	52.0×72.0	個人蔵
65	ギュスターヴ・クールベ	フランシュ=コンテの谷 オルナン付近	1865年頃	油彩、キャンバス	60.0×91.0	茨城県近代美術館
66	ギュスターヴ・クールベ	山間の滝	1866-70年頃	油彩、キャンバス	48.0×59.5	個人蔵
67	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870年	油彩、キャンバス	60.0×73.0	北海道立帯広美術館
68	アンリ=ジョゼフ・アルピニー	風景	不詳	油彩、キャンバス	82.5×65.5	ツァイト・フォト
69	アンリ=ジョゼフ・アルピニー	河のある風景	不詳	油彩、キャンバス	73.0×100.0	富士カントリー株式会社
70	アンリ=ジョゼフ・アルピニー	川辺	1912年	水彩、紙	22.5×33.8	北海道立帯広美術館
71	アンリ=ジョゼフ・アルピニー	川辺の道	20世紀初頭	水彩、紙	23.9×33.7	北海道立帯広美術館
72	ウジェーヌ=アントワーン・ラヴィエイユ	風景	1880年	油彩、キャンバス	94.0×150.0	富士カントリー株式会社
73	ウジェーヌ=アントワーン・ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0	北海道立帯広美術館
74	ウジェーヌ=アントワーン・ラヴィエイユ	魚釣り	不詳	油彩、板	33.8×45.2	府中市美術館
75	セザール・ド・コック	12月のノルマンディー風景	1889年	油彩、キャンバス	47.2×68.3	府中市美術館
76	アレキサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0	北海道立帯広美術館



ドービニー「川のそばで休息する羊飼いの」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
77	シャルル=フェルディナン・セラマノ	フォンテーヌブローの森	不詳	油彩、キャンバス	120.0×160.5	富士カントリー株式会社
78	ジャン=フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863年	油彩、キャンバス	65.4×100.4	北海道立帯広美術館
79	ジャン=フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863年	エッチング、紙	19.8×30.7	北海道立帯広美術館
80	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼いの	1872年	油彩、キャンバス	69.1×99.8	北海道立帯広美術館
81	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873年	油彩、キャンバス	32.0×47.5	北海道立帯広美術館
82	レオンス・シャブリ	アレスの道 (ジロンド)	1870年代	エッチング、紙	14.3×20.8	北海道立帯広美術館
83	ギュスターヴ・ドレ	山岳風景	不詳	油彩、キャンバス	196.0×131.0	富士カントリー株式会社
84	ギュスターヴ・ドレ	風景	不詳	油彩、キャンバス	194.5×131.0	富士カントリー株式会社
85	オーギュスト・アロンジェ	池の水門	1879年	リトグラフ、木炭、紙	55.7×41.6	北海道立帯広美術館
86	オーギュスト・アロンジェ	森の中	19世紀後半	水彩、紙	53.5×75.7	北海道立帯広美術館
87	レオン・リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
88	レオン・リッシェ	女性のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	61.2×46.5	府中市美術館
89	ビエール=エマニュエル・ダモア	コクリコの畑	1879年	油彩、板	31.8×59.3	府中市美術館
90	ビエール=エマニュエル・ダモア	海景	1882年	油彩、キャンバス	44.5×82.9	富士カントリー株式会社
91	不詳	コロアの肖像	19世紀後半	エッチング、紙	11.9×10.9	北海道立帯広美術館
92	不詳	ユエの肖像	19世紀後半	エッチング、紙	15.1×11.2	北海道立帯広美術館
93	不詳	ドービニーの肖像	19世紀後半	エッチング、紙	21.4×15.3	北海道立帯広美術館
94	アルフレッド・ブリッケ	狼溪谷 フォンテーヌブローの森	1863または1865年	鶏卵紙	17.7×24.0	ツァイト・フォト
95	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874年	鶏卵紙	19.3×25.0	ツァイト・フォト
96	シャルル・ファマン	フォンテーヌブローの森	1874年頃	鶏卵紙	20.2×27.5	ツァイト・フォト
97	シャルル・ファマン	(沼地)	1874年頃	鶏卵紙	20.3×25.9	ツァイト・フォト
98	シャルル・ファマン	(樹木)	1874年頃	鶏卵紙	25.9×19.5	ツァイト・フォト
99	シャルル・ファマン	(雌牛)	1874年頃	鶏卵紙	10.4×17.2	ツァイト・フォト
100	シャルル・ファマン	(荷馬車)	1874年頃	鶏卵紙	12.0×17.4	ツァイト・フォト
101	シャルル・ファマン	(羊の群れ)	1874年頃	鶏卵紙	11.4×16.4	ツァイト・フォト
102	アシーユ・キネ	フォンテーヌブローの森	1868年頃	鶏卵紙	24.8×18.0	ツァイト・フォト
103	アシーユ・キネ	フォンテーヌブローの森	1868年頃	鶏卵紙	24.9×19.3	ツァイト・フォト
104	アシーユ・キネ	自然の習作	1868年頃	鶏卵紙	18.3×24.8	ツァイト・フォト
105	アシーユ・キネ	自然の習作	1868年頃	鶏卵紙	19.0×24.8	ツァイト・フォト
106	アシーユ・キネ	自然の習作	1868年頃	鶏卵紙	24.2×19.7	ツァイト・フォト
107	アシーユ・キネ	自然の習作	1868年頃	鶏卵紙	19.3×24.7	ツァイト・フォト
108	アシーユ・キネ	自然の習作	1868年頃	鶏卵紙	19.5×23.5	ツァイト・フォト
109	トーバン	自然の習作	不詳	鶏卵紙	18.0×23.9	ツァイト・フォト
110	トーバン	自然の習作	不詳	鶏卵紙	18.2×25.1	ツァイト・フォト
111	ジエグレル	自然の習作	1870年代	鶏卵紙	21.3×26.7	ツァイト・フォト
112	ジエグレル	自然の習作	1870年代	鶏卵紙	25.7×21.0	ツァイト・フォト
113	不詳	自然の習作	不詳	鶏卵紙	19.3×22.6	ツァイト・フォト

* 寸法は縦×横



ラヴィエイユ「魚釣り」



ジエグレル「自然の習作」

開館10周年記念

美術への扉—コレクション十年十色

会期＝平成13年12月21日（金）

—平成14年 3月27日（水）76日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般300（250）円、大学生150（100）円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは
無料

（ ）内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「修復からみた美術作品」

講師＝岩井希久子氏（修復家）

日時＝3月9日（土）午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「美術鑑賞における言葉のはたらき」

講師＝石尾乃里子（当館学芸員）

日時＝12月22日（土）、1月26日（土）午後2時～3時

会場＝当館講堂

土曜映写室

「美術のみかた：『構図の探求』『絵画を読む』」

日時＝1月19日（土）、2月9日（土）午後2時～3時

「美術のみかた：『光と影』『透視画法』」

日時＝2月2日（土）、3月23日（土）午後2時～3時

会場＝いずれも当館講堂

ミュージアム・カレッジ

「名画をひらく—十人十色の美術散歩」

日時＝2月16日（土）、23日（土）、3月2日（土）、9日（土）、16日（土）

午後2時～3時30分

会場＝当館講堂

ミュージアム・ミステリー 2002ウィンター

「アートにクリック！美術の森の神かくし」

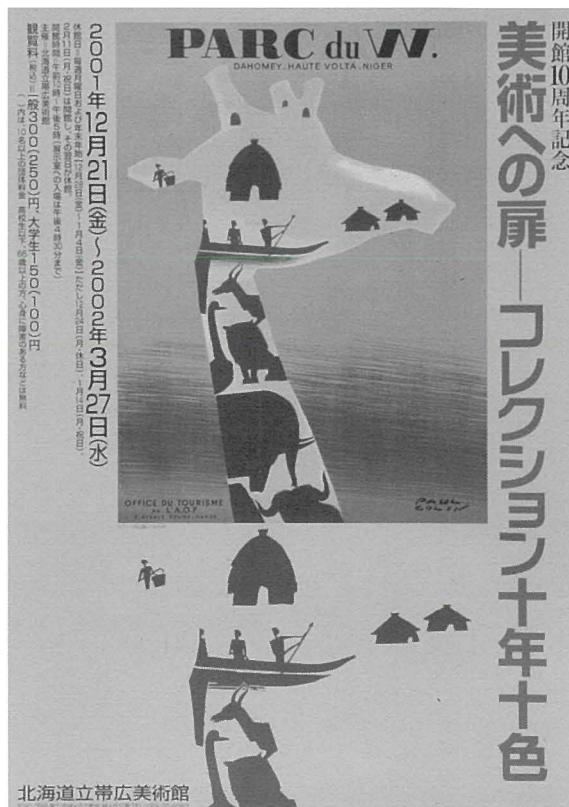
日時＝1月12日（土）午前10時～午後4時

会場＝当館講堂・ホール・展示室等

図 録

規格＝29.5×21.0cm／総頁数16ページ

構成＝あいさつ／石尾乃里子「美術への扉、美術への視点」／カタログ／出品リスト



ポスター



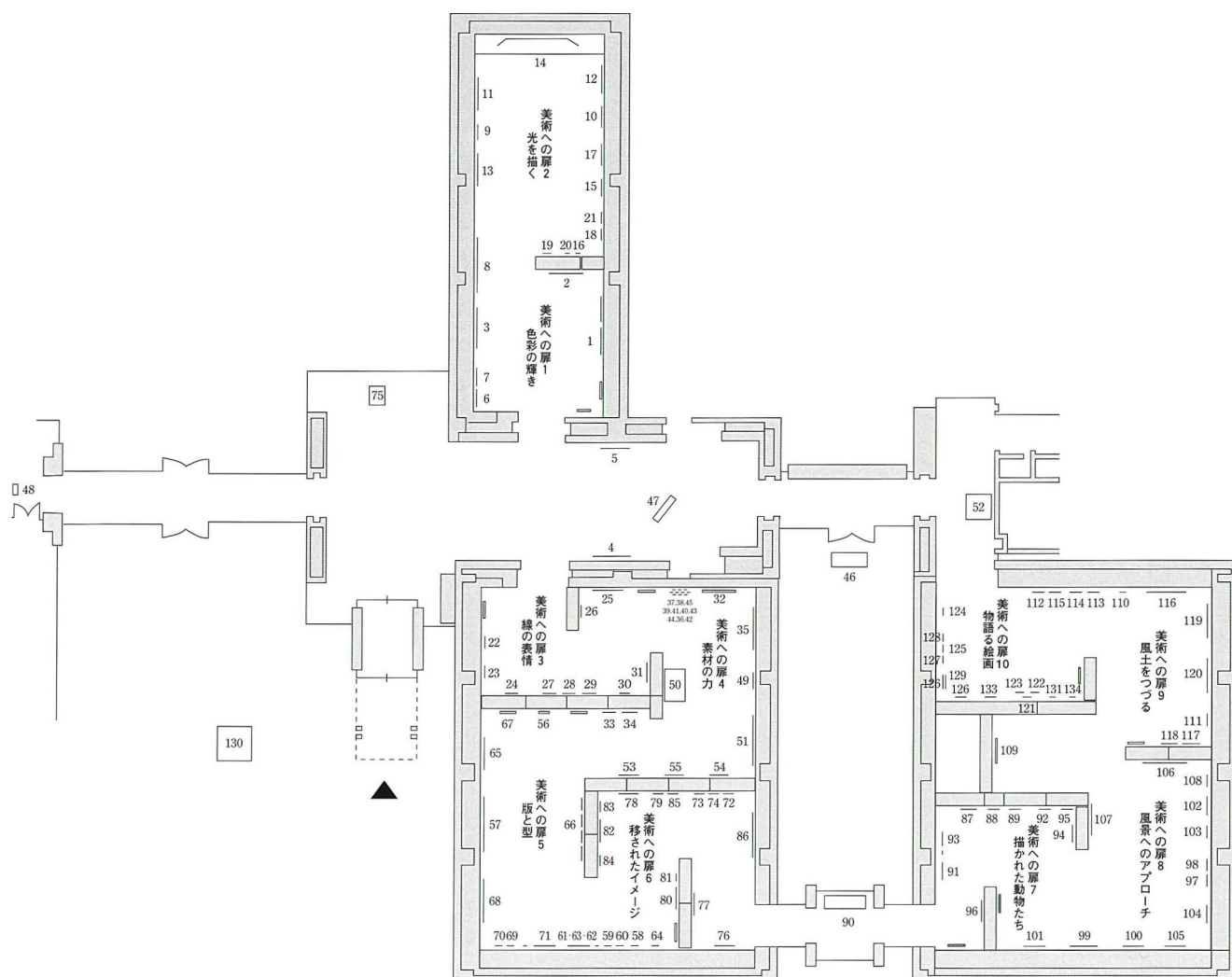
図録

美術館にとってコレクションは収集保存、調査研究、教育普及という活動の軸となるきわめて重要なものである。当館では平成3年9月の開館以来、幅広い領域に焦点をあてた展覧会を企画・開催すると同時に、系統的な作品収集を進めてきた。「道東の美術」「プリントアート」「西洋の美術」を3つの柱とし、特色あるコレクション形成に取り組んできたものである。

開館10周年記念第2弾であるこの展覧会には、10年間のコレクションの成果により、作品には十人十色の個性があるということ、またそれらの作品の見方も十人十色であるということを伝えるメッセージをこめタイトルが付された。当館所蔵の代表的な作品134点を、それぞれの作品の魅力に焦点をあてながら、鑑賞の動機づけとなるキーワードを織り交ぜて紹介した。出品作品は、「色彩の輝き」「光を描く」「線の表情」「素材の力」「版と

型」「移されたイメージ」「描かれた動物たち」「風景へのアプローチ」「風土をつづる」「物語る絵画」という、美術の世界につながる扉に見立てた10のコーナーにより構成した。これらは分野や技法、時代、地域、収集区分などといった既存の分類にはよらず、自由な鑑賞の一助となるよう各作品へのアプローチの仕方の一例を示す目的のもと、いくつかの作品から浮かび上がるキーワードで括ったゆるやかなつながりとして設定された。

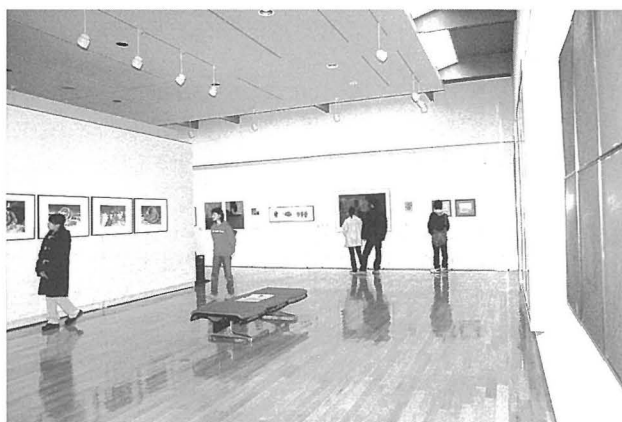
展示にあたっては、観覧者が作品の魅力に近づけるような手がかりを示唆するため、関連する品々の写真パネルなどをともに展示した。また、通常よりもスペースを拡大し、主展示室、コレクション・ギャラリー、ロビーなど全館を使って作品展示を行なった。会期中に訪れた2,660人のなかには、普及的なアイディアを交えた内容に熱心な反応が見られた。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

■美術への扉1 色彩の輝き

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	養 嘔	オープニング或いは再び田園	1992 (平成4)	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0 (2点組)
2	神田日勝	画室 D	1967 (昭和42)	油彩、板	163.3×183.0
3	出店久夫	私風景 '94-少女図	1994 (平成6)	ゼラチンシルバークラウド、写真用染料、調色剤、手彩色	253.5×244.0×厚さ5.1
4	橋原武正	無題	1980 (昭和55)	油彩、キャンバス	183.5×259.0 (ホール展示)
5	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta	1981 (昭和56)	スクアナグラフィ (NECO)、キャンバス	180.0×180.2 (ホール展示)
6	百瀬 寿	Square-Metallic Green and Violet	1984 (昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
7	百瀬 寿	Square-Metallic Yellow and Silver	1984 (昭和59)	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
8	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	各103.2×72.6 (8点組)

■美術への扉2 光を描く

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
9	栗谷川健一	昇る太陽	1969 (昭和44)	オフセット、紙	105.0×73.0
10	橋原武正	日の出	1975 (昭和50)	油彩、キャンバス	165.0×132.5
11	福井正治	没陽一野一	1986 (昭和61)	油彩、キャンバス	162.5×162.2
12	望月正男	落日	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
13	森 健二	光年の導「道」	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
14	六郎田天鈴	春曉崇座献「エベレスト鈴湖生誕寿舞曲」	1988 (昭和63)	紙本彩色、屏風	180.0×510.0
15	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1896	リトグラフ、紙	243.5×85.0
16	ジャン=フランソワ・ミレー	裁縫する女	1855~1856	エッチング、紙	10.5×7.4
17	O.E.	フィリップス社「アルジェンタ」	1930	リトグラフ、紙	82.6×104.0
18	アーヴェ・ラスムッセン	D.S.B.デンマーク国有鉄道	1937	リトグラフ、紙	100.0×63.0
19	レンブラント・ファン・レイン	羊飼いに現れた天使	1634	エッチング、紙	25.2×21.5
20	レンブラント・ファン・レイン	戸口の女	1641	エッチング、紙	9.2×6.0
21	アルベール・ソロン	ファルマン航空	1930	リトグラフ、紙	97.0×58.0

■美術への扉3 線の表情

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
22	渋谷栄一	楽園の子供達	1971 (昭和46)	エッチング、シュガーアクアチント、ドライポイント (ルーレット、ハーフトーンコーム、紙)	36.5×50.0
23	渋谷栄一	白夜	1975 (昭和50)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	50.0×36.4
24	渋谷栄一	H8-A	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.0×81.0
25	長谷川哲	HOME 1997-2	1997 (平成9)	写真、印画紙	86.3×148.5
26	矢柳 剛	原始時代	1958 (昭和33)	油彩、水彩、クレヨン、紙	64.9×50.0
27	カッサンドル	北方急行ーフランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
28	カッサンドル	北極星号ーフランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
29	カッサンドル	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
30	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
31	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.0×79.0

■美術への扉4 素材の力

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
32	池田 緑	ALICE'S SPECIMEN	1996 (平成8)	シルクスクリーン、アクリルパイプ、枯葉、枯枝、紙	102.4×190.6×厚さ9.8
33	一原有徳	A.mi.SON (a)	1986 (昭和61)	インク、アクリルミラー	54.0×86.0
34	一原有徳	A.mi.SON2	1986 (昭和61)	インク、アクリルミラー	63.4×100.5
35	大浦一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13 〜普賢岳 (川は水を必要としていた)	1994 (平成6)	ミクストメディア (土、石、灰、木、合成樹脂、印画紙)	169.0×225.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
36	太田三郎	Seed Project マメグンバイナズナ Lepidium virginicu L. 1992年8月6日 香川県小豆島寒霞溪	1992 (平成4)	種子、和紙	20.4×11.7
37	太田三郎	Seed Project ナナカマド Sorbus commixta Hedl. 1992年12月30日 北海道小樽市幸	1992 (平成4)	種子、和紙	20.4×11.5
38	太田三郎	Seed Project クジャクソウ Tagetes 1993年6月4日 東京都中央区築地	1993 (平成5)	種子、和紙	20.7×11.7
39	太田三郎	Seed Project イヌムギ Bromus catharticus Vahl 1993年6月12日 東京都練馬区北町	1993 (平成5)	種子、和紙	20.5×11.7
40	太田三郎	Seed Project ヤマノイモ Dioscorea japonica Thunb. 1993年11月3日 東京都練馬区北町	1993 (平成5)	種子、和紙	20.5×11.8
41	太田三郎	Seed Project センダングサ Bidens biternata Merr.et Sherff 1993年12月11日 東京都練馬区高松	1993 (平成5)	種子、和紙	20.5×11.7
42	太田三郎	Seed Project シロバナタンポポ 1994年4月24日 岡山県津山市北園町	1993 (平成5)	種子、和紙	20.9×11.7
43	太田三郎	Seed Project チカラシバ Pennisetum alopecuroides Spreng. 1994年10月14日 岡山県津山市山北	1993 (平成5)	種子、和紙	20.7×11.6
44	太田三郎	Seed Project ツワブキ Farfugium japonicum Kitam. 1995年1月3日 岡山県津山市北園町	1995 (平成7)	種子、和紙	20.8×11.7
45	太田三郎	Seed Project ヘリクリサム Helichrysum bracteatum 1995年7月26日 山形県山形市霞城公園	1995 (平成7)	種子、和紙	20.8×11.8
46	岡沼淳一	潮行	1986 (昭和61) /铸造:1991 (平成3)	ブロンズ	150.0×300.0×135.0 (中庭展示)
47	岡沼淳一	MONSOON	1988 (昭和63)	木	185.0×44.3×190.0 (ホール展示)
48	岡沼淳一	far away	1992 (平成4)	木	48.5×18.5×44.0 (ロビー展示)
49	小谷博貞	蝶	1963 (昭和38)	シルクスクリーン、ポリエチレン	181.2×72.4
50	島 州一	指紋と木目	1976 (昭和51)	シルクスクリーン、角材	11.0×11.0×26.0ほか (24点組)
51	橋原武正	黒の惑星90-17	1990 (平成2)	塗料、空き缶、廃品、釘、針金、トタン板	154.5×302.0
52	鳴海寛理	呼吸構築体-接続領域 #2	2001 (平成13)	木、鉄、真鍮	110.0×110.0×211.0
53	矢柳 剛	みえる鏡を拒否する鏡	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、鏡、紙	78.0×103.5
54	横尾忠則	葬列II	1969 (昭和44) /再制作:1985 (昭和60)	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×厚さ9.5
55	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3

■美術への扉5 版と型

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
56	池田 緑	My Own Specimen (1943年4月3日に生まれて)	1999 (平成11)	プラスチックテープ、アクリルパイプ	205.5×59.9
57	磯辺行久	江戸障壁	1965 (昭和40)	ミクストメディア (シルクスクリーン、レリーフプリント、蝋、アクリル板、木、銅)	200.2×299.0
58	一原有徳	スパナー	1980 (昭和55)	熱版、紙	38.2×32.2
59	一原有徳	SU90	1990 (平成2)	熱版、蛍光塗料、ステンレス	80.0×60.0
60	一原有徳	SU (SON)	1990 (平成2)	熱版、蛍光塗料、インク、ステンレス	80.0×60.0
61	一原有徳	木の葉 (柏)	不詳	木の葉版、紙	18.6×12.0
62	一原有徳	木の葉 (檜)	不詳	木の葉版、紙	18.5×32.0
63	一原有徳	木の葉 (辛夷)	不詳	木の葉版、紙	14.5×27.6
64	一原有徳	タガネ9	不詳	タガネ、インク、鉛	77.6×47.8
65	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991 (平成3)	フロッタージュ、鉛筆、紙	50.9×39.4
66	國安孝昌	Wind Field Projectより	1994 (平成6)	コピー、鉛筆、紙	各35.2×52.2 (4点)
67	島 州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS No.38	1982 (昭和57)~1985 (昭和60)	チョーク、シルクスクリーン、フィンガープリント、ステンボード、アクリルボックス	90.0×98.0×厚さ11.3
68	中谷 有逸	碑 (羅生門)	1996 (平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紙	186.4×186.5
69	テオドル・ルソー	ピオのサクランボの木	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.1×27.7
70	テオドル・ルソー	ピオの平原	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	21.8×27.7
71	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5

■美術への扉6 移されたイメージ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
72	渋谷栄一	月明りのマリオネットB	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	53.8×48.5
73	渋谷栄一	月明りのマリオネットC	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	70.8×36.2
74	渋谷栄一	月明りのピエロE	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	48.8×42.3
75	中江紀洋	HAHA (折り)	1994 (平成6)	スプルー、金属	91.5×107.0×156.0 (ロビー展示)
76	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)	1990 (平成2)	カラー写真プリント、印画紙	132.9×97.8
77	森村泰昌	野菜涅槃 (若冲)	1990 (平成2)	カラー写真プリント、印画紙	185.3×100.1
78	矢柳 剛	最後の晩餐	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	51.1×72.8
79	カッサンドル	ノルマンディー号-トラザンティック総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
80	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼いの	1872	油彩、キャンバス	69.1×99.8
81	レオンス・シャブリ	アレスの道 (ジロンド)	1870年代	エッチング、紙	14.3×20.8
82	ジャン=フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
83	ジャン=フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	エッチング、紙	19.8×30.7
84	ジャン=フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855~1856	エッチング、紙	19.2×25.0
85	ジャック・ナタン (ジャック・ガラモン)	ル・アーヴル港復興公債募集	1945以降	オフセット、紙 (写真製版)	78.0×58.5
86	マイク・スターン、ダグ・スターン	若い娘たち	1990~1993	印画紙、透明フィルム、木	57.5×46.0×5.5ほか(9点組)

■美術への扉7 描かれた動物たち

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
87	市成太煌	鴉の詩 1	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
88	市成太煌	鴉の詩 2	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
89	市成太煌	鴉の詩 3	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
90	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木	115.0×30.0×50.0
91	カール・ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0
92	ポール・コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
93	シャルル=エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865〜70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
94	ロジェ・ペロー	コルセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0
95	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
96	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7

■美術への扉8 風景へのアプローチ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
97	栗谷川健一	タンネの斜面	1956 (昭和31)	オフセット、紙	102.0×74.0
98	栗谷川健一	家路	1962 (昭和37)	オフセット、紙	103.0×73.0
99	竹山義雄	早春山野	1978 (昭和53)	油彩、キャンバス	130.6×162.0
100	長尾栄三	山脈の見える風景	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	145.4×112.4
101	能勢眞美	草木の怪	1973 (昭和48)	油彩、キャンバス	89.0×130.3
102	ロベール・ボンフィス	アルプス＝フランス国鉄道	1939	リトグラフ、紙	97.0×122.0
103	アルベール・ブルネ	フランス、シャルジュール・レユニオンで (エッフェル塔)	1950	オフセット、紙	97.5×61.8
104	アレキサンドル・ドゥフオー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0
105	ジュール・デュブレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8
106	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る1982年9月アリゾナ	1982	フォト・コラージュ	114.0×252.7
107	デイヴィッド・ホックニー	京都 1993年4月24日	1993	カラー・レーザー・プリント、紙	43.2×160.2
108	W.マーレル	ジュネーヴ、スイス	不詳	リトグラフ、紙	98.5×63.5
109	ロバート・ラウシェンバーク	スリンダー・ショット・リット No.8	1985	ミクストメディア (シルクスクリーン、透明フィルム、蛍光灯、木)	214.3×141.8×厚さ32.2

■美術への扉9 風土をつづる

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
110	阿部貞夫	くまげらと摩周	1958 (昭和33)	木版、紙	37.9×27.0
111	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
112	栗谷川健一	湖水の葦	1955 (昭和30)	オフセット、紙	102.3×71.9
113	栗谷川健一	緑に歌う	1960 (昭和35)	オフセット、紙	103.3×73.2
114	栗谷川健一	赤いエイレーキ	1961 (昭和36)	オフセット、紙	102.7×73.0
115	栗谷川健一	スキーの源流	1965 (昭和40)	オフセット、紙	103.0×72.6
116	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
117	手島圭三郎	しまふくろう・冬	1985 (昭和60)	木版、紙	53.0×75.0
118	手島圭三郎	しまふくろうとやどり木	1988 (昭和63)	木版、紙	53.0×75.0
119	寺島春雄	深淵の声	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	130.7×162.5
120	福井正治	北方村落A	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	162.5×162.5

■美術への扉10 物語る絵画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
121	北岡文雄	蘇る街	1948 (昭和23)	木版、紙	18.4×30.6
122	北岡文雄	銀座の露店	1948 (昭和23)	木版、紙	35.6×45.2
123	北岡文雄	有楽町ガード下	1948 (昭和23)	木版、紙	35.5×45.0
124	増田 誠	風車とドン・キホーテ	1982 (昭和57)	油彩、キャンバス	45.5×37.9
125	増田 誠	ギリシャ神話 ゼウス	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	34.9×26.6
126	増田 誠	ギリシャ神話 牧神の夜	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.1×33.5
127	増田 誠	ギリシャ神話 アマゾンと戦うヘラクレス	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.2×24.5
128	増田 誠	ギリシャ神話 トロイの馬	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.5×24.9
129	増田 誠	ギリシャ神話 ヘラクレスとクレタの牝牛	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.0
130	エミール=アントワヌ・ブルデル	勝利	1923	ブロンズ	高さ372 (前庭展示)
131	ジャン=バティスト=カミユ・コロ	ひざまづくマダラのマリア	1858	クリシェ=ヴェール、紙	16.5×11.4
132	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」-1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0
133	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
134	レンブラント・ファン・レイン	エマオのキリスト	1654	エッチング、紙	20.9×15.7

*寸法は平面作品が縦×横 (×厚さ)、立体作品が幅×奥行×高さ

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵



磯辺行久「江戸障壁」



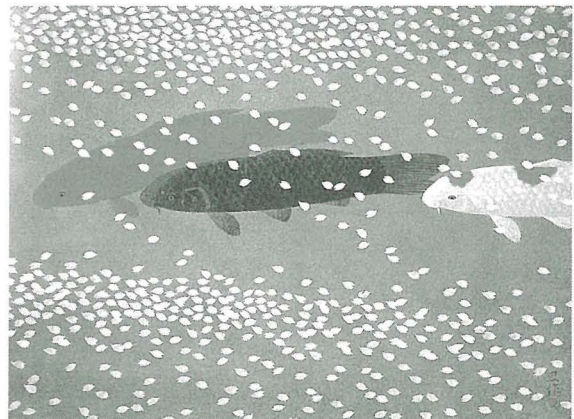
シャブリ「羊の群れを連れ帰る羊飼い」

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm) / 形状	所蔵先
1	横山大観	夜桜	昭和27年	53.9×72.2／軸装	二階堂美術館
2	川合玉堂	春雨	昭和8年	53.3×72.3／軸装	
3	上村松園	小町の図	不詳	43.7×51.5	
4	松林桂月	春宵花影	不詳	54.2×60.3	
5	奥村土牛	吉野懷古	昭和60年	72.0×101.0	
6	中村岳陵	山桜	昭和12年	128.0×42.0／軸装	青梅市立美術館
7	小山大月	入相桜	昭和初期	52.2×61.3／軸装	青梅市立美術館
8	小倉遊亀	八重桜	昭和33年	65.0×43.0	
9	伊東深水	桜美人	昭和36年	70.0×62.0	伊東近代美術館
10	山本丘人	枝垂桜	不詳	40.6×43.0／軸装	駿府博物館
11	加藤栄三	八重桜	昭和28年	80.0×110.0	
12	加藤栄三	桜	不詳	42.5×59.8	加藤栄三・東一記念美術館
13	高山辰雄	みず辺	平成6年	116.7×80.3	
14	吉田善彦	桜	昭和40年	222.8×198.6	滋賀県立近代美術館
15	吉田善彦	桜	昭和61年	181.3×363.0／4曲1隻	高島屋史料館
16	鈴木竹柏	映る	平成6年	65.2×90.9	
17	加倉井和夫	泰	昭和61年	116.7×90.9	
18	稗田一穂	朧夜	平成4年	65.0×90.5	
19	稗田一穂	花曇り	平成6年	89.4×130.3	成川美術館
20	大山忠作	春池	平成9年	60.6×80.3	
21	大山忠作	花篝	平成9年	60.6×80.3	
22	関口雄揮	花霞	平成12年	80.3×130.3	成川美術館
23	近藤弘明	望春	平成5年	151.0×136.0／2曲1隻	成川美術館
24	松尾敏男	夜桜	昭和55年	73.0×100.0	
25	松尾敏男	風立つ	平成3年	130.0×97.0	
26	加山又造	花曇り	平成8年	80.3×116.0	
27	西村昭二郎	さくら	昭和61年	90.0×64.4	京都府
28	三輪良平	花日和	平成6年	140.0×102.0	
29	後藤純男	塔映・花	昭和62年	168.0×169.0	後藤純男美術館
30	後藤純男	春映長谷	平成9年	112.1×162.1	後藤純男美術館
31	後藤純男	惜春	平成11年	116.7×90.9	後藤純男美術館
32	平山郁夫	福岡城の桜	平成9年	90.9×65.2	
33	塚原哲夫	幻春	平成13年	180.0×70.0	
34	中路融人	海津の桜	昭和61年	112.1×162.1	



奥村土牛「吉野懷古」



大山忠作「春池」

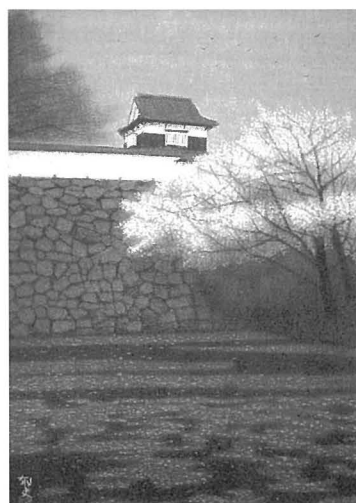
No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm) / 形状	所蔵先
35	中路融人	桜	平成12年	150.0×130.0	
36	那波多目功一	旭日	平成7年	168.0×184.0／2曲1隻	
37	那波多目功一	枝垂れ桜	平成7年	65.2×80.3	
38	牧 進	花	昭和58年	60.6×72.7	
39	牧 進	花逍遥	昭和58年	60.6×72.7	
40	牧 進	祇園夜桜	平成12年	72.7×53.0	
41	伊藤嘉晃	淡墨桜	平成9年	130.5×162.1	
42	伊藤嘉晃	臥龍桜	平成9年	112.5×162.1	
43	伊藤 彬	春	昭和59年	117.0×117.0	
44	田淵俊夫	薩摩春景	昭和55年	72.5×91.0	
45	田淵俊夫	春風	平成13年	91.0×116.5	康耀堂美術館
46	平松礼二	路・月と花の宴	平成5年	80.0×117.0	成川美術館
47	平松礼二	フランスで見る夜桜	平成10年	65.2×90.9	
48	堀 泰明	花曇	平成6年	90.9×116.7	成川美術館
49	堀 泰明	花冷	平成8年	112.1×162.1	
50	渡辺信喜	春宵	昭和58年	162.1×140.0	
51	渡辺信喜	常照皇寺（御車返）	昭和61年	63.6×89.9	京都府
52	渡辺信喜	桜図	昭和63年	206.0×177.0／2曲1隻	
53	林 潤一	中将姫誓願桜	平成3年	84.6×142.0	
54	林 潤一	山桜花	平成11年	168.1×92.5	
55	木下育應	春宵西行桜（勝持寺）	昭和61年	70.8×88.8	京都府
56	山本真也	春のわかれ	平成11年	175.0×340.0／4曲1隻	
57	豊田美枝子	中将姫誓願桜	平成13年	112.1×145.4	
58	伊藤はるみ	霽	平成9年	112.1×145.5	
59	鹿見喜陌	花想う	平成11年	194.0×132.4	
60	仲山計介	春陽	平成13年	130.3×162.0	
61	小笠原元	しだれ桜	平成12年	80.3×116.0	
62	北田克己	銀の暗々	昭和63年	97.0×110.0／2曲1隻	
63	森田りえ子	朧月	平成11年	91.9×116.0	

* 寸法は縦×横

* 形状について記載のない作品はすべて額装



三輪良平「花日和」



平山郁夫「福岡城の桜」

美の始源、美の呪力。 岡本太郎と縄文

会期＝平成14年 5月24日(金)－7月3日(水) 35日間
主催＝北海道立帯広美術館、NHK帯広放送局、NHK北海道ビジョン

企画協力＝川崎市岡本太郎美術館、NHKプロモーション、株式会社ツルモトルーム

観覧料＝一般800(600)円、高大生500(400)円、小中生300(250)円
心身に障害のある方などは無料
()内は10名以上の団体料金

関連事業

美術講演会

「岡本太郎と人類学」

講師＝山口昌男氏(札幌大学学長)

日時＝6月8日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「縄文の美の発見者－岡本太郎の造形世界」

講師＝寺嶋弘道(当館学芸課長)

日時＝5月25日(土)、6月29日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂

ミュージアム・ミステリー2002サマー

「うず巻くアートのナゾ！芸術は爆発だ」

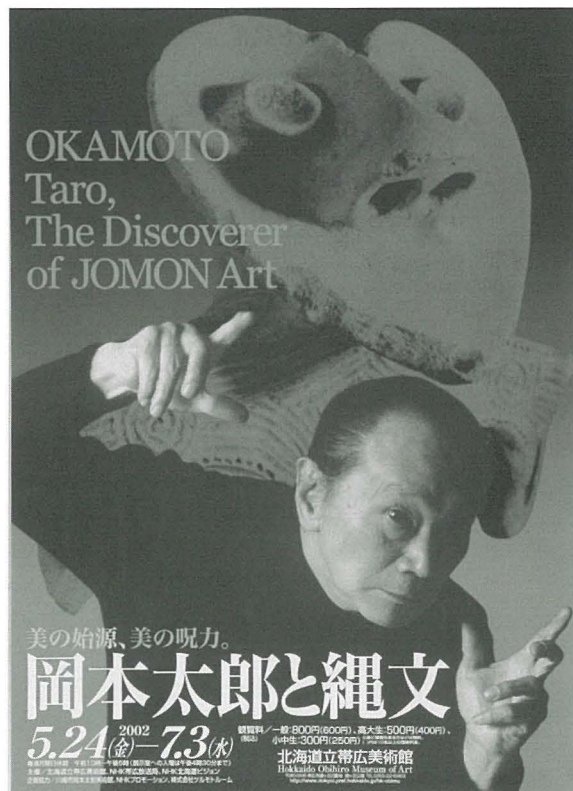
日時＝6月15日(土)、6月22日(土) 午前10時～午後4時

会場＝当館講堂・展示室

図録

規格＝29.7×22.5cm／総頁数108ページ(ほか差込み紙4ページ)

構成＝ごあいさつ／村田慶之輔「“いやったらしい程逞しい美感”－太郎の縄文」／小林達雄「岡本太郎と縄文の素顔」／宗左近「縄文が真似する岡本太郎」／巴里の青春。モースとパティユ／縄文の美発見／美の呪力ースパイラル／ピカソとガウディ／神の形／顔は宇宙／岡本敏子「挑みの縄文」／鶴岡真弓「ヨーロッパの原始と異端と『縄文の発見』」／鎌田東二「岡本太郎と縄文」／仲野泰生「呪術としての岡本太郎の造形」／岡本太郎年譜／参考文献／出品目録／(差込み紙)縄文出土品の出展変更について



ポスター



図録

「芸術は爆発だ」と叫ぶポーズや大阪万博の「太陽の塔」などで強烈な存在感を示した岡本太郎。彼は画家、彫刻家、写真家、デザイナー、文化人類学者、評論家として多彩な活動を展開し、戦後日本の芸術・文化に多大な功績を残した人物であった。

とりわけ「縄文の美」の発見者として活発な発言を發したことでも知られ、戦後日本の美術界、文化界に少なからぬ影響を与えたことで知られている。18歳でパリに渡り、民族学、人類学を学んで帰国した岡本太郎は、1951年、偶然訪れた東京国立博物館で縄文土器を見て衝撃を受け、翌年その感動を「縄文土器論」として発表、オリジナルな日本最古の造形美に人びとを目覚めさせたのである。

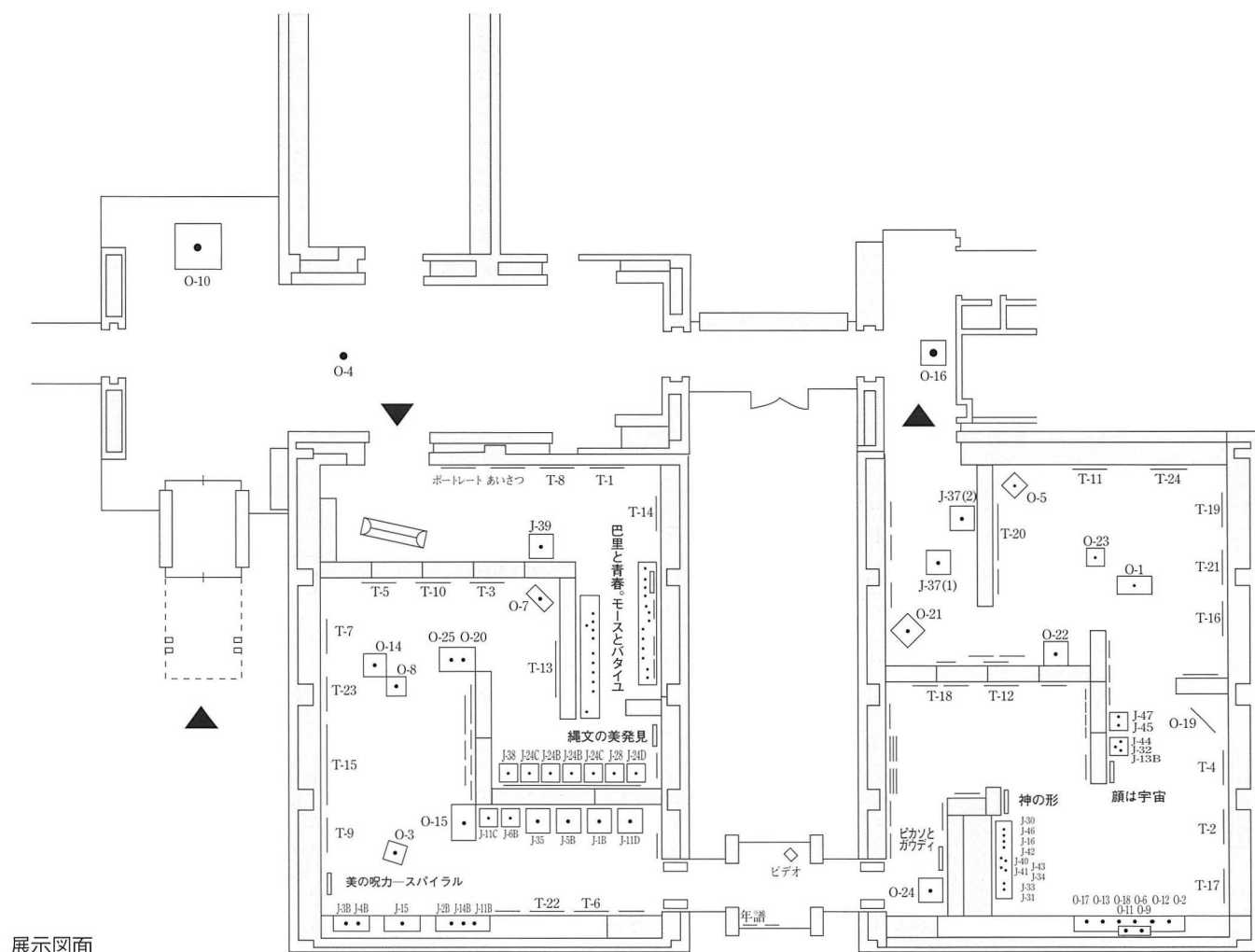
本展は、古代縄文人が驚異の造形力で土に託した美の呪力と、それに呼応する岡本太郎の創造活動を紹介したものである。川崎市岡本太郎美術館の全面的な協力を得て、同館所蔵の岡本太郎作品から油彩24点、立体作品25点を出版、合わせて、全国の

主要博物館所蔵の土器、土偶など36点の縄文出土品が展示された。

展示設計にあたっては、岡本太郎作品と縄文出土品を比較して鑑賞できるよう小コーナーを交互に連続させる構成とした。

- 1 巴里の青春。モースとバタイユ
- 2 縄文の美発見
- 3 美の呪カースパイラル
- 4 ピカソとガウディ
- 5 神の形
- 6 顔は宇宙

人間生命の根源をえぐる美の世界へと私たちを誘う古代と現代の造形の数々。本展で展示された縄文出土品や岡本太郎の作品を通して日本文化の原点と岡本芸術の神髄に触れる好機となり、時代を超えた美を体感する格好の機会となった。観覧者総数は4,083人。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

■岡本太郎作品

No.	出品番号	分類	作品名	創作年	材質・技法	サイズ (cm)	所蔵
1	T-1	油彩	喫煙者	1951	油彩・キャンバス	73.0×53.5	川崎市岡本太郎美術館
2	T-2	油彩	哄笑	1972	油彩・キャンバス	145.0×113.0	川崎市岡本太郎美術館
3	T-3	油彩	風神	1961	油彩・キャンバス	227.0×162.0	川崎市岡本太郎美術館
4	T-4	油彩	石と樹Ⅱ	1983	油彩・キャンバス	130.0×162.0	川崎市岡本太郎美術館
5	T-5	油彩	アドレッサン	1961	油彩・キャンバス	194.3×142.5	川崎市岡本太郎美術館
6	T-6	油彩	黒い生き物	1961	油彩・キャンバス	228.0×182.0	川崎市岡本太郎美術館
7	T-7	油彩	赤	1961	油彩・キャンバス	142.5×130.7	川崎市岡本太郎美術館
8	T-8	油彩	空間	1934/1954	油彩・キャンバス	114.3×91.0	川崎市岡本太郎美術館
9	T-9	油彩	若い闘争	1962	油彩・キャンバス	182.0×227.0	川崎市岡本太郎美術館
10	T-10	油彩	装える戦士	1962	油彩・キャンバス	227.0×182.0	川崎市岡本太郎美術館
11	T-11	油彩	千手	1965	油彩・キャンバス	227.5×182.5	川崎市岡本太郎美術館
12	T-12	油彩	記念撮影	1975	油彩・キャンバス	194.0×145.8	川崎市岡本太郎美術館
13	T-13	油彩	顔Ⅲ	1968	油彩・キャンバス	130.8×194.2	川崎市岡本太郎美術館
14	T-14	油彩	エクセホモ	1963	油彩・キャンバス	227.0×162.0	川崎市岡本太郎美術館
15	T-15	油彩	愛撫	1964	油彩・キャンバス	227.0×381.0	川崎市岡本太郎美術館
16	T-16	油彩	マスク	1959	油彩・キャンバス	227.8×182.5	川崎市岡本太郎美術館



千手

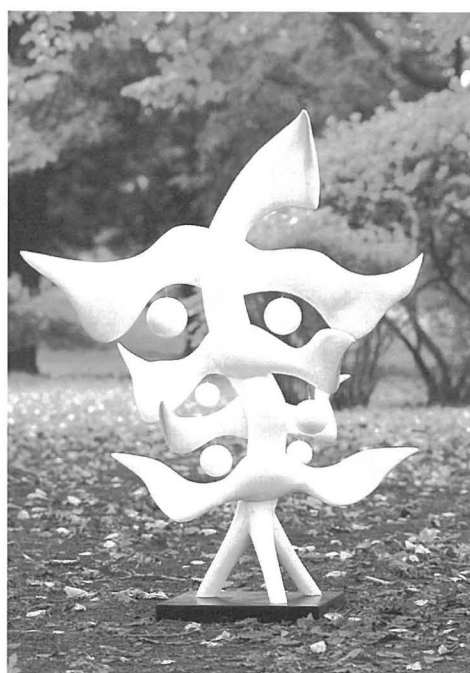


プロフィール

No.	出品番号	分類	作品名	創作年	材質・技法	サイズ (cm)	所蔵
17	T-17	油彩	顔Ⅵ	1970	油彩・キャンバス	130.0×162.0	川崎市岡本太郎美術館
18	T-18	油彩	天空に我あり	1967	油彩・キャンバス	162.5×227.5	川崎市岡本太郎美術館
19	T-19	油彩	裂けた顔	1960	油彩・キャンバス	161.5×129.0	川崎市岡本太郎美術館
20	T-20	油彩	二つの顔	1957	油彩・キャンバス	125.0×232.0	川崎市岡本太郎美術館
21	T-21	油彩	面	1975	油彩・キャンバス	130.0×151.5	川崎市岡本太郎美術館
22	T-22	油彩	プロフィール	1975	油彩・キャンバス	162.0×130.0	川崎市岡本太郎美術館
23	T-23	油彩	流れる夢	1975	油彩・キャンバス	135.0×130.7	川崎市岡本太郎美術館
24	T-24	油彩	挑み	1980	油彩・キャンバス	182.0×218.0	川崎市岡本太郎美術館
25	O-1	立体	顔	1952	陶	100.0×100.0×60.0	川崎市岡本太郎美術館
26	O-2	立体	笑い	1952	陶	16.0×13.5×9.5	川崎市岡本太郎美術館
27	O-3	立体	渾沌	1962	ブロンズ	167.0×67.0×67.0	川崎市岡本太郎美術館
28	O-4	立体	戦士	1970	F R P	200.0×190.0×180.0	川崎市岡本太郎美術館
29	O-5	立体	午後の日	1967	ブロンズ	33.5×31.5×30.0	川崎市岡本太郎美術館
30	O-6	立体	黒い顔	1968	陶	24.8×22.0×22.0	川崎市岡本太郎美術館
31	O-7	立体	樹霊Ⅱ	1971	F R P	55.0×95.0×50.0	川崎市岡本太郎美術館
32	O-8	立体	エラン	1976	F R P	152.0×40.0×22.0	川崎市岡本太郎美術館
33	O-9	立体	横たわる	1981	陶	22.0×50.0×20.0	川崎市岡本太郎美術館
34	O-10	立体	縄文人	1982	F R P	158.0×150.0×120.0	川崎市岡本太郎美術館
35	O-11	立体	踊り	1982	陶	42.5×40.0×26.5	川崎市岡本太郎美術館
36	O-12	立体	むすめ	1982	陶	42.5×40.0×26.5	川崎市岡本太郎美術館
37	O-13	立体	ひらく肖像	1982	陶	50.5×40.0×38.0	川崎市岡本太郎美術館
38	O-14	立体	祭り	1985	F R P	120.0×110.0×80.0	川崎市岡本太郎美術館
39	O-15	立体	湧きあがる	1989	ブロンズ	55.0×105.0×45.0	川崎市岡本太郎美術館
40	O-16	立体	誇り	1962	F R P	203.0×212.0×80.0	川崎市岡本太郎美術館
41	O-17	立体	うなづく	1982	陶	30.0×49.0×18.2	川崎市岡本太郎美術館
42	O-18	立体	噴火口	1981	陶	30.0×34.2×32.0	川崎市岡本太郎美術館
43	O-19	立体	動物	1983	F R P	128.0×166.0×55.0	川崎市岡本太郎美術館
44	O-20	立体	雷神	1978	陶	26.5×23.5×22.0	川崎市岡本太郎美術館
45	O-21	立体	太陽の塔	1970	F R P	145.0×128.0×50.0	川崎市岡本太郎美術館
46	O-22	立体	月の顔	1981	F R P	100.0×90.0×110.0	川崎市岡本太郎美術館
47	O-23	立体	太陽 (金色)	1985	F R P	130.0×80.0×85.0	川崎市岡本太郎美術館
48	O-24	立体	犬の植木鉢	1963	陶	60.0×80.0×20.0	川崎市岡本太郎美術館
49	O-25	立体	渾沌-2	1979	陶	25.0×24.0×24.5	川崎市岡本太郎美術館



顔



祭り

■縄文出土品

No.	出品番号	名称	出土地	時代	サイズ (cm)	所蔵
50	J-1B	深鉢	長野県茅野市棚畑遺跡	縄文中期	高さ34.0	尖石縄文考古館
51	J-2B	深鉢	長野県茅野市棚畑遺跡	縄文中期	高さ41.0	尖石縄文考古館
52	J-3B	深鉢	長野県茅野市棚畑遺跡	縄文中期	高さ35.0	尖石縄文考古館
53	J-4B	深鉢	長野県茅野市判の木山東遺跡	縄文中期	高さ32.5	尖石縄文考古館
54	J-5B	深鉢	長野県茅野市下ノ原遺跡	縄文中期	高さ25.5	尖石縄文考古館
55	J-6B	深鉢	長野県茅野市下ノ原遺跡	縄文中期	高さ31.0	尖石縄文考古館
56	J-11B	深鉢	長野県諏訪市荒神山遺跡	縄文中期	高さ40.5	諏訪市博物館
57	J-11C	深鉢	長野県諏訪市荒神山遺跡	縄文中期	高さ32.5	諏訪市博物館
58	J-11D	深鉢	長野県諏訪市荒神山遺跡	縄文中期	高さ31.5	諏訪市博物館
59	J-13B	土偶	山梨県中道町上の平遺跡	縄文中期	高さ8.0	山梨県立考古博物館
60	J-14B	深鉢	山梨県市川大門町宮の前遺跡	縄文中期	高さ46.3	山梨県立考古博物館
61	J-15	深鉢	山梨県大泉村甲ッ原遺跡	縄文中期	高さ83.0	山梨県立考古博物館
62	J-16	土偶頭部 (レプリカ)	山梨県一の沢遺跡	縄文中期	高さ14.1	山梨県立考古博物館
63	J-24B	火焰型土器	新潟県長岡市岩野原遺跡	縄文中期	高さ37.5	長岡市立科学博物館
64	J-24C	火焰型土器	新潟県長岡市岩野原遺跡	縄文中期	高さ17.5	長岡市立科学博物館
65	J-24D	火焰型土器	新潟県長岡市岩野原遺跡	縄文中期	高さ19.0	長岡市立科学博物館
66	J-28	火焰型土器 (国宝/レプリカ)	新潟県十日町市笹山遺跡	縄文中期	高さ46.5	十日町市博物館
67	J-29B	火焰型土器	新潟県十日町市大井久保遺跡	縄文中期	高さ23.5	十日町市博物館
68	J-29C	火焰型土器	新潟県十日町市野首遺跡	縄文中期	高さ33.0	十日町市博物館
69	J-30	土偶	青森県鶴田町船沢遺跡	縄文中期	高さ10.8	青森県立郷土館風韻堂コレクション
70	J-31	土偶	青森県三内丸山遺跡	縄文中期	高さ7.3	青森県立郷土館風韻堂コレクション
71	J-32	土偶	青森県八戸市是川遺跡	縄文晩期	高さ4.7	青森県立郷土館風韻堂コレクション
72	J-33	土偶	不明	縄文後期	高さ10.9	青森県立郷土館風韻堂コレクション
73	J-34	土版	青森県宮田遺跡	縄文晩期	高さ5.9	青森県立郷土館風韻堂コレクション
74	J-35	顔面把手深鉢	青森県八戸市石手洗遺跡	縄文中期	高さ47.0	八戸市博物館
75	J-40	蹲踞土偶 (レプリカ)	青森県大畑町二枚橋 (2) 遺跡	縄文晩期	高さ9.2	大畑町教育委員会
76	J-41	遮光器土偶 (レプリカ)	青森県大畑町二枚橋 (2) 遺跡	縄文晩期	高さ25.2	大畑町教育委員会
77	J-42	板状土偶	青森県大畑町二枚橋 (2) 遺跡	縄文晩期	高さ14.7	大畑町教育委員会
78	J-43	土偶	青森県大畑町二枚橋 (2) 遺跡	縄文晩期	高さ8.7	大畑町教育委員会
79	J-44	中空土偶	青森県大畑町二枚橋 (2) 遺跡	縄文晩期	高さ5.7	大畑町教育委員会
80	J-45	中空土偶	青森県大畑町二枚橋 (2) 遺跡	縄文晩期	高さ5.1	大畑町教育委員会
81	J-46	中空土偶	青森県大畑町二枚橋 (2) 遺跡	縄文晩期	高さ9.7	大畑町教育委員会
82	J-47	土面	青森県大畑町二枚橋 (2) 遺跡	縄文晩期	高さ9.25	大畑町教育委員会
83	J-37	ハート型の顔を持つ土偶 (大型レプリカ)		縄文後期	高さ95.0 (2点)	猪風来 (制作)
84	J-38	把手状裝飾付深鉢 (レプリカ)	富山県氷見市朝日貝塚遺跡	縄文中期	高さ48.0	小島俊彰 (制作)
85	J-39	火焰型土器 (大型レプリカ)		縄文中期	高さ100.0	小島俊彰 (制作)



沸きあがる

とかち国際現代アート展「デメーテル」連携企画

ニルス=ウド展【自然へ】

会期＝平成14年7月12日（金）

－9月16日（月/振替休日）58日間

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

後援＝ドイツ連邦共和国大使館、東京ドイツ文化センター

協力＝とかち国際現代アート展実行委員会、日本航空

観覧料＝一般500（400）円、高大生300（250）円、小中生200（150）円
心身に障害のある方などは無料。（ ）内は10名以上の団体およびとかち国際現代アート展「デメーテル」入場券提示者の料金

関連事業

アートウォッチング2002

「美の現場：ニルス=ウド／^{いのち}生命の森の扉をひらく」

公開制作

制作＝ニルス=ウド氏

日時＝9月4日（水）～6日（金）

会場＝当館中庭

作家レクチャー

「ニルス=ウド：自作を語る」

講師＝ニルス=ウド氏（通訳付）

日時＝9月7日（土）午後2時～4時

会場＝当館講堂

美術講演会

「環境とアート／新しい風景をつくりだす」

講師＝芹沢高志氏（デメーテル総合ディレクター）

日時＝8月17日（土）午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「ニルス=ウドの造形世界Ⅰ」

講師＝平 利弘（当館主任学芸員）

日時＝7月27日（土）午後2時～3時

「ニルス=ウドの造形世界Ⅱ」

講師＝浅川 泰（当館副館長）

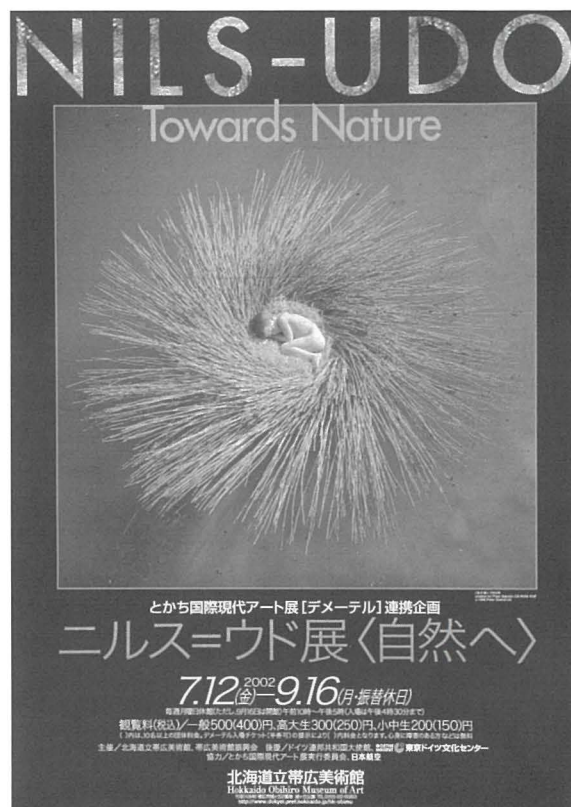
日時＝8月24日（土）午後2時～3時

会場＝いずれも当館講堂

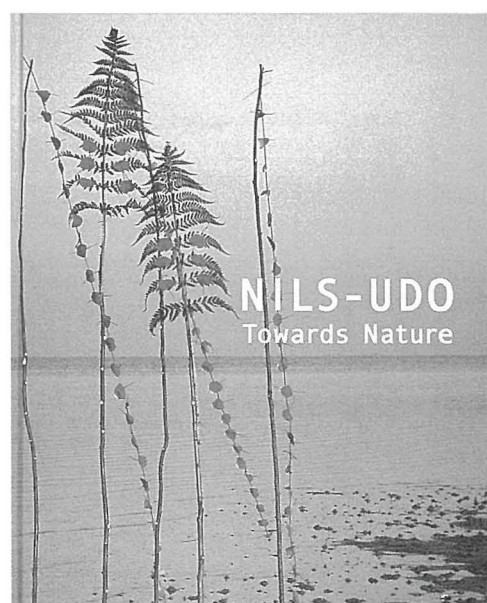
図録

規格＝22.0×17.6cm／総頁数224ページ

構成＝あいさつ／ニルス=ウド「自然に向かって」／ヴォルフガンク・ベッカー「自然の現前」／作品図版／佐々木一成「バイエルンの森、縄文の森」／松下由里「青い花－作家との対話」／略年譜／作品リスト



ポスター



図録

記録集

規格＝21.5×17.2cm／総頁数28ページ

構成＝ニルス＝ウド「《すみか》」／作品図版／伊藤佳之「《すみか》制作の記録」／ニルス＝ウド「《歩く、飛ぶ》」／作品図版／平利弘「《歩く、飛ぶ》制作日誌」／ニルス＝ウド「《モリオカ・スパイダー》」／佐々木一成「《モリオカ・スパイダー》の制作をめぐる」

現代ドイツを代表する美術家ニルス＝ウドは、1937年ドイツ南部のバイエルン州に生まれた。1960年から10年ほどパリで画家として活動した後、ヨーロッパを中心に世界各地で作品を制作するようになった。森林や沼地、海岸といった自然の中で、その場所にある自然の素材を用いたインスタレーション（仮設作品）を行い、またそれを撮影し神秘感にみちた写真による作品を発表している。

この作家の眼差しは、「…秋分や春分の日の太陽の軌道、森の溪谷にただよう草の匂い、木にあたる突風、木の葉の上で踊る光…」といった、息づく自然の様々な様相に向けられており、そこから生み出される作品は、自然の本質的な美しさの扉を開くものとして、大きな注目を集めている。21世紀を迎えて自然との関わりが問い直されている今日、ニルス＝ウドの作品は自然について深く掘り下げる契機となることが期待される。

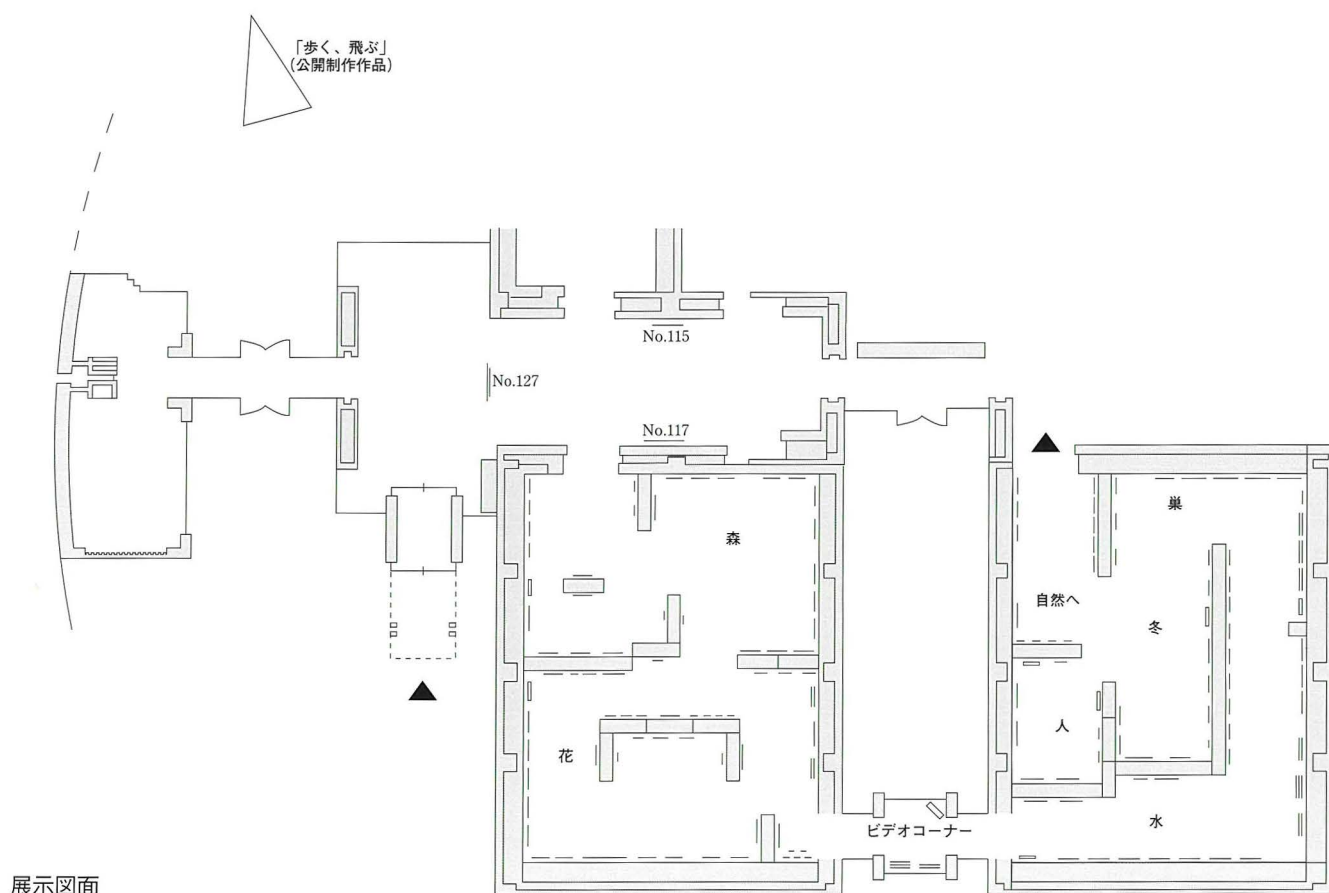
本展は、ドイツ、アーヘンのルートヴィヒ・フォーラムを皮

関連記事

平利弘「ニルス＝ウド展を語る（上）（中）（下）」十勝毎日新聞／8月7～10日

平利弘「ニルス＝ウド展『自然へ』に寄せて」北海道新聞／8月13日

切りに1999年からヨーロッパ各地を巡回した展覧会をもとに、再構成された。日本では初の大規模な個展となったこの展覧会では、初期から今日にいたるニルス＝ウドの写真作品133点を「森」や「花」など、題材に従っておよそ7つのコーナーに区分して展示した。自然の本質を象徴的に浮かび上がらせるインスタレーションに加え、それを記録し絵画的な造形美に高められた作品は、展示室の白い壁面やコーナー表示として設置された透明感のあるアクリル板とよく呼応し、多くの人々の共感と呼ぶ展示となった。また、会期中、作家自身による野外でのインスタレーションを市民参加方式で実施したのに加え、こども見学会や作家レクチャー、交流会などを併せて行った。市民レベルにおける美術文化の広がりや浸透という成果を残し、地域にとって意義深い事業となった。なお、この展覧会は7月13日より9月23日まで帯広市内で開催された、『とかち国際現代アート展「デメーテル」』の連携企画として開かれた。



展示図面



会場風景（ホール）



会場風景

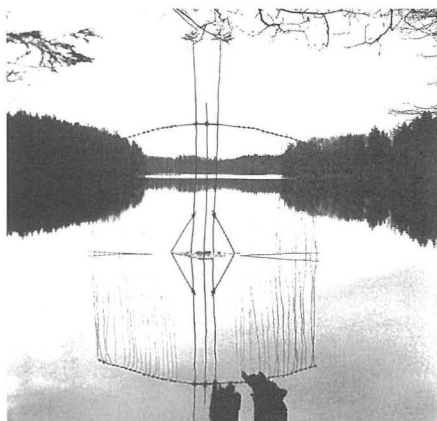
出品目録

■自然へ Towards Nature

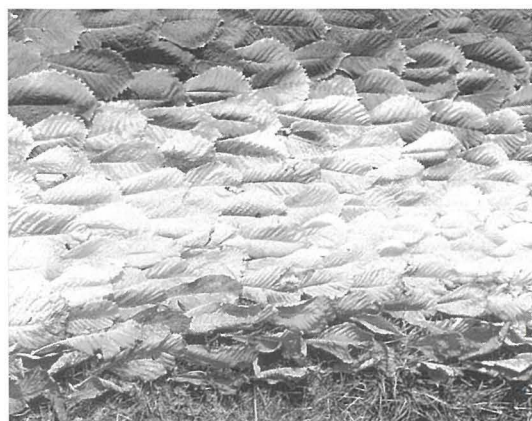
No.	作品名／素材	制作地	制作年	技法	寸法（cm）
1	葦	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1973	GSP	49.5×50
2	冬/トネリコの棒、トウヒの枝	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1973	GSP	49×49.5
3	葦、石	ギリシャ、エーゲ海	1974	GSP	49.8×45.7
4	葦の塔	ギリシャ、エーゲ海	1974	GSP	60×45.4
5	ヴォルフスベルク、トウヒの植栽	オーバーバイエルン地方、ヴォルフスベルク	1976	GSP	50×60
6	3月の塔/トネリコの棒、葦、クレマチス	オーバーバイエルン地方、プリーントール溪谷	1981	GSP	40.3×59.1
7	シダの筏/水に浮かぶ筏の上のシダの植栽、沼	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1974	GSP	50×50
8	5月の筏/トネリコ、ハシバミの枝、クレマチス、タンポポ	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1980	GSP	117×123.2
9	風の筏/トネリコ、トウヒ、クレマチス、石	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1979	GSP	119.5×124.7
10	春分・秋分のための太陽の彫刻/トネリコ、トウヒ、ナラ、柳の小枝	シュヴァルツヴァルトの峰	1979	GSP	126×125
11	パラダイスの庭で/トウヒの幹、石、エニシダ	ドイツ、バート・ミュンスター・アム・スタイン＝エーベルンブルク市近郊	1979	GSP	100.5×100.5
12	塔/トネリコの棒、トウヒの枝	バイエルンの森	1974	GSP	59.6×49.6
13	トネリコ、ハシバミの枝、柳の小枝、雪玉	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1981	GSP	49.5×49
14	雪の水/トネリコの枝、柳の小枝、雪玉	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1980	GSP	49×54.9
15	雨の塔/赤ナラの棒、トウヒの幹、ハシバミの枝、クレマチス	フライブルク、シュロスベルク	1983	GSP	173×126

■森 Forests

No.	作品名／素材	制作地	制作年	技法	寸法（cm）
16	フンガーヴィーゼ（痩せ地）/白樺の植栽、夏－冬（2点組）	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1975	IC/GSP	40.7×48.8/38.2×48.8
17	グスタフ・マラーに/ポプラの植栽、夏－冬（2点組）	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1976	IC/IC	29.2×29.3/29.2×29.3
18	水の巣/葦、夏－冬（2点組）	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1976	IC/IC	51×65.1/51×65.1
19	柳の環/植栽	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1979	IC	100×125
20	トウヒ、楓の葉	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1978	IC	100×100
21	3月の祭壇	オーバーバイエルン地方、プリーントール溪谷	1981	IC	50×51.4
22	山の旗/楓の葉、ナナカマドの棒	オーストリア、ザルツブルク州、ラウリス	1981	IC	100×86.5
23	山の風/カラマツの棒、楓の葉	オーストリア、ザルツブルク州、ラウリス	1981	IC	100×119
24	大きな水の祭壇/トウヒの幹、柳の小枝、樹木と芝の植栽、たいまつ	バイエルン地方、ポマースフェルデン城公園	1982	IC	77.2×88.4
25	枝に織り込んだシダの茎	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1987	IC	100×120



風の筏



マロニエの葉

No.	作品名／素材	制作地	制作年	技法	寸法 (cm)
26	野生のナシの木、苔、リンボクの実	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ	1985	IC	100×100
27	リンゴの木、リンゴ	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ	1985	IC	100×100
28	リンゴ	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ	1985	IC	99×99
29	桜の樹、柳の小枝、マロニエの葉	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ	1985	IC	100×100
30	マロニエの葉	フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ	1985	IC	100×126
31	シダの葉	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1986	IC	100×98
32	ナラの葉	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1986	IC	100×100
33	シダの蜘蛛/シダの葉	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1986	IC	100×100
34	池に浮かぶシダの葉	インド洋、レユニオン島	1990	IC	100×100
35	門/トネリコ、ハシバミ、柳、ブナの枝	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1980	IC	100.3×100.4
36	道/トウヒの幹、芝の植栽	オランダ、ハールレム	1984	IC	100×100
37	皮をはいだ柳の枝、ガマズミの汁で染めて	バイエルン地方、ディーテンブロン	1992	IC	100×116
38	倒れたブナ/房状のニワトコの実	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1986	IC	100×100
39	菩提樹、ナナカマドの実	ドイツ、アーヘン	1999	IC	100×86.5
40	二股のナラの木、ニワトコの実	バイエルン地方、ディーテンブロン	1992	IC	100×130
41	苔で作った楓の葉の形/幹から拭い取った苔	パリ、サン＝ドニ、クールヌーヴ公園	1994	IC	100×100
42	ブナ、ナナカマドの実	デンマーク、ランゲラン島	1993	IC	100×100
43	根の彫刻	メキシコ・シティー、チャプルテペク公園	1995	IC	100×100
44	根の彫刻/楓	トロント、クリアランス・スクエア・パーク	1996	IC	80×120
45	池に浮かべた松葉、枝でかき混ぜる/ハシバミの枝の粹	オーバーバイエルン地方、ザーマーベルク	1997	IC	119.5×80
46	秋の絵/ハシバミの枝で枠組みした楓の葉	オーバーバイエルン地方、ザーマーベルク	1997	IC	100×100
47	池を覗く/水面に柳の小枝	パリ、サン＝ドニ、クールヌーヴ公園	1994	IC	100×100

■花 Flowers, Blossoms

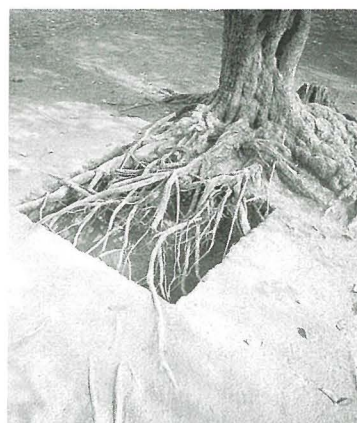
No.	作品名／素材	制作地	制作年	技法	寸法 (cm)
48	トネリコ、タンポポ	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1975	IC	49.8×42.3
49	葎、草の茎、ハマナスの花びら	北海、ジルト島	1986	IC	100×112.2
50	ハマナスの花びら、松葉	北海、ジルト島	1986	IC	100×100
51	ハマナスの花びら、松葉	北海、ジルト島	1986	IC	100×100
52	白樺の枝、シダの葉、松葉、ハマナスの花びら	北海、ジルト島	1986	IC	100×100
53	白樺の枝、シダの葉、ヘラオオバコ、松葉、ハマナスの花びら	北海、ジルト島	1986	IC	99×99
54	竹の棒、フクシアの花、草の茎	インド洋、レユニオン島	1990	IC	100×100
55	パホイホイ溶岩の割れ目、「炎の舌」と呼ばれる花の花びら	インド洋、レユニオン島	1990	IC	100×100
56	山の草地の残雪、タンポポ	オーストリア、ザルツブルク州、ヒンタータール	1990	IC	100×100
57	山の草地の残雪、雪割草	オーストリア、ザルツブルク州、ヒンタータール	1990	IC	100×100
58	ジギタリスの湿地/ジギタリスの花と房状のニワトコの実	バイエルン地方、ディーテンブロン	1992	IC	57×220
59	ピンク色の蛇/ジギタリスの花、柳	フランス、スカルプ＝エスコ地方自然公園、マルシェヌの森	1994	IC	100×100
60	アルピニア	アンティル諸島、マルティニク島	1991	IC	100×100
61	インドの寺院	インド、ニュー・デリー	1994	IC	60×40
62	インドの寺院	インド、ニュー・デリー	1994	IC	60×40
63	インドの寺院	インド、ニュー・デリー	1994	IC	60×40
64	インドの寺院	インド、ニュー・デリー	1994	IC	59×39
65	壁龕/マロニエの花	バイエルン地方、ディーテンブロン	1993	IC	100×100
66	岩/石で鍾をつけたマリーゴールドの花綱	インド、ニュー・デリー	1994	IC	100×130

■冬 Winter

No.	作品名／素材	制作地	制作年	技法	寸法 (cm)
67	雪の白樺	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1980	IC	100×100
68	雪の灯火	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1981	IC	100.2×118.4
69	氷、ベイマツの小枝	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1987	IC	100×100
70	氷面の亀裂、ベイマツの小枝	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1987	IC	100.1×99.9
71	氷面、シダの葉	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1987	IC	100×100
72	リンゴの木、浮氷	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1987	IC	100×100
73	緑の雪、野生のニンニクの葉の汁で染めて	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1992	IC	100×100
74	赤い雪、ガマズミの汁で染めて	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1992	IC	100×100
75	雪解けとあらわになったトネリコの幹の苔	バイエルン地方、ディーテンブロン	1993	IC	100×100



苔で作った葉の形



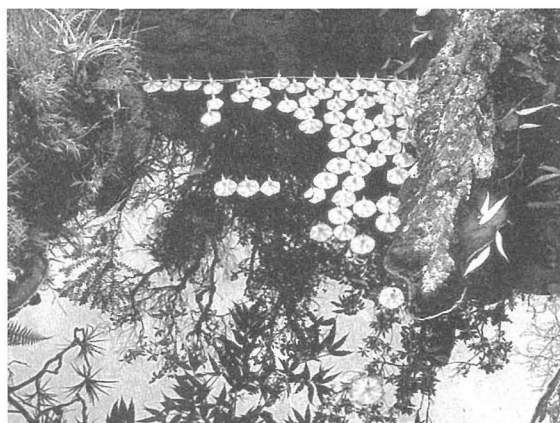
根の彫刻

■水 Water

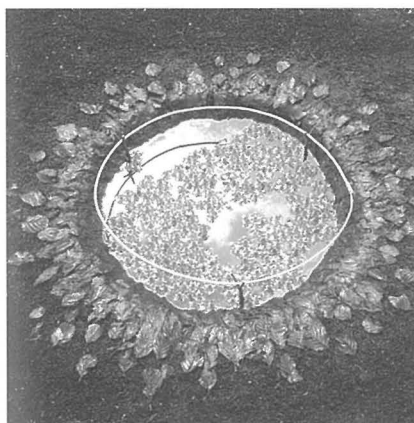
No.	作品名／素材	制作地	制作年	技法	寸法 (cm)
76	水の家/トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟	1982	GSP	125×132
77	水の家/トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟	1982	GSP	125×132
78	水の家/トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟	1982	GSP	125×132
79	水の家/トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟	1982	GSP	125×132
80	水の家/トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟	1982	GSP	125×132
81	水の家/トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟	1982	GSP	125×132
82	水の家/トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟	1982	GSP	125×132
83	水の家/トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽	北海沿岸、クックスハーフェンの干潟	1982	GSP	125×140
84	5月の筏/トネリコ、ハシバミの枝、クレマチス、タンポポ	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1980	IC	54.5×69.8
85	5月の筏/トネリコ、ハシバミの枝、クレマチス、タンポポ	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1980	IC	54.5×78
86	5月の筏/トネリコ、ハシバミの枝、クレマチス、タンポポ	オーバーバイエルン地方、キームガウ	1980	IC	54.5×69.8
87	栗の葉、釣鐘草の花	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1986	IC	100×100
88	栗の葉、ホザキシモツケの花	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1986	IC	100×100
89	川床、ハマヒルガオの花	インド洋、レユニオン島	1990	IC	76.1×100.2
90	川床、ハマヒルガオの花	インド洋、レユニオン島	1990	IC	76.3×100.3
91	川床、ハマヒルガオの花	インド洋、レユニオン島	1990	IC	76.2×100.3
92	ロードデンドロンの葉、松葉	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1987	IC	100×100
93	ロードデンドロンの葉、苔	フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖	1987	IC	100×100
94	切り取ったアヤメの葉、楓の実	ニューヨーク、セントラル・パーク	1991	IC	100×100
95	ハリエンジュの葉のぶらんこ	イタリア、ヴァレ・ディ・セラ	1992	IC	100.2×100.1
96	溶岩の川床、ジギタリスの花	インド洋、レユニオン島	1990	IC	100×100
97	竹管の環	インド洋、レユニオン島	1990	IC	100×100
98	1000の水仙/浮島に植えた1000の水仙	バルト海、リューゲン島	1994	IC	100×100
99	1000の水仙/浮島に植えた1000の水仙	バルト海、リューゲン島	1994	IC	100×100
100	1000の水仙/浮島に植えた1000の水仙	バルト海、リューゲン島	1994	IC	100×100
101	1000の水仙/浮島に植えた1000の水仙	バルト海、リューゲン島	1994	IC	100×100
102	ナナカマドの実の小川/ハシバミの枝、ナナカマドの実	バイエルン地方、ドーナウリート地域	1993	IC	100×100
103	ナナカマドの実の小川/ハシバミの枝、ナナカマドの実	バイエルン地方、ドーナウリート地域	1993	IC	100×100
104	種をとったヒマワリにガマズミの実、ニシキギのさや、ニシキギの実を詰めて川に浮かべる	バイエルン地方、ドーナウリート地域	1993	IC	100×100
105	水面に散る黄色い花	フランス、ウェサン島	1990	IC	100×100
106	水面に散る黄色い花	フランス、ウェサン島	1990	IC	50×50
107	水面に散る黄色い花	フランス、ウェサン島	1990	IC	50×50
108	水面に散る黄色い花	フランス、ウェサン島	1990	IC	50×50
109	バランコ・デル・インフィエルノ（地獄の渓谷）	カナリア諸島、テネリフェ島	1999	IC	100×100
110	小さな湖/土、水、ハシバミの枝、森のヒヤシンス、枯れ葉	フランス、ヴァルリー	2000	IC	100×100
111	土、水、ナナカマドの実、柳の小枝、草、セイヨウイボタノキの実	ドイツ、アーヘン	1999	IC	100×100
112	土、水、ナナカマドの実、柳の小枝、草、セイヨウイボタノキの実、ハリエンジュの葉	ドイツ、アーヘン	1999	IC	100×100
113	鏡/土、水、ナナカマドの実、柳の小枝、草	ドイツ、アーヘン	1999	IC	124×100
114	ハシバミの枝、アジサイの花びら	フランス、マルスローの森	2000	IC	92.3×250.5

■巣 Nests

No.	作品名／素材	制作地	制作年	技法	寸法 (cm)
115	巣/土、石、白樺、草	ドイツ、リューネブルガー・ハイデ	1978	DSP	312.5×311.5
116	巣/土、石、白樺、草	ドイツ、リューネブルガー・ハイデ	1978	GSP	124.7×124.7
117	ラヴェンダーの巣/土、石、ナラ	プロヴァンス地方、ヴェゾン＝ラ＝ロメーヌ近郊、クレステ	1988	DSP	311×310.5
118	ラヴェンダーの巣/土、石、ナラ、ラヴェンダーの植栽	プロヴァンス地方、ヴェゾン＝ラ＝ロメーヌ近郊、クレステ	1988	IC	120×120
119	竹の巣/竹の棒、竹の植栽	神奈川県藤野町	1988	IC	120×120
120	竹の巣/竹の棒、竹の植栽	神奈川県藤野町	1988/94	IC	100×100
121	巣/土、トウヒの新芽	バイエルン地方、ディーテンブロン	1993	IC	100×100
122	鳥の巣/ガマズミの汁で染めた卵型の氷	バイエルン地方、ディーテンブロン	1993	IC	100×100
123	雪の巣/雪、柳の小枝、ガマズミの汁で染めた氷の塊	バイエルン地方、ディーテンブロン	1993	IC	100×100
124	子ども、刈り込んだ柳の木、干し草、シダの葉、泥	フランス、スカルプ＝エスコ地方自然公園、マルシェンヌの森	1994	IC	100×100
125	レッド・ロックの巣/竹の棒、土、オレンジ、レモン、ライム	カルフォルニア、レッド・ロック・キャニオン	1998	IC	100×149.9
126	水の巣/枝、柳の小枝、干し草	イギリス、ボックス、リアル・ワールド・スタジオ	1995	IC	100×100
127	水の巣/枝、柳の小枝、干し草	イギリス、ボックス、リアル・ワールド・スタジオ	1995	DSP	308.5×308.5



川床、ハマヒルガオの花



小さな湖

■人 Man

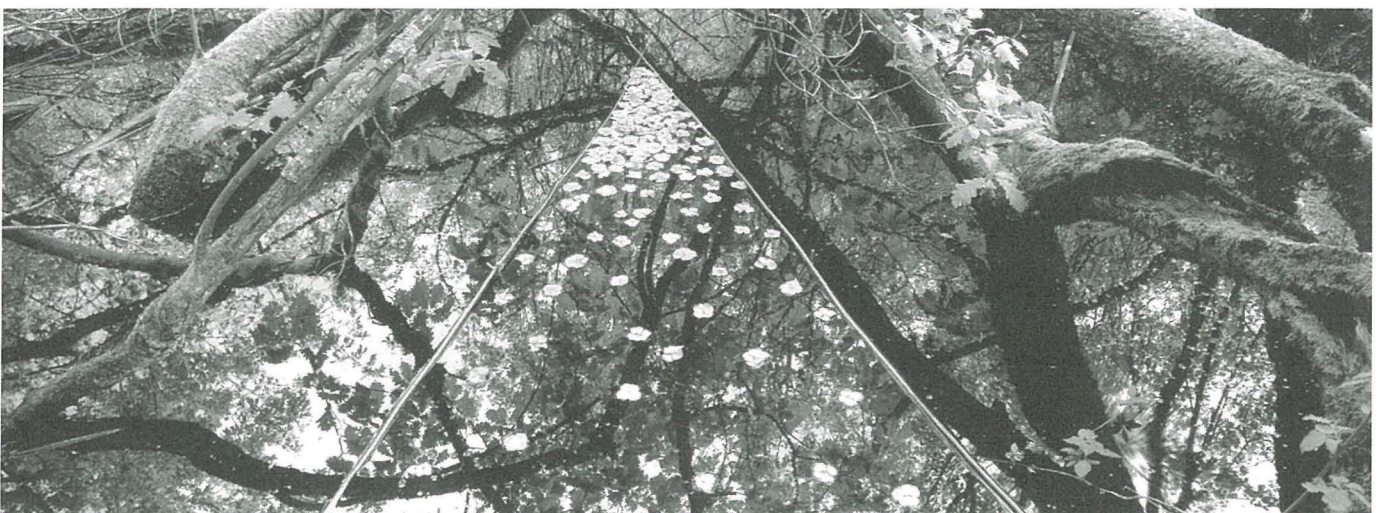
No.	作品名／素材	制作地	制作年	技法	寸法 (cm)
128	子ども、刈り込んだ柳の木、シダの葉、濡れたハリエンジュの葉	フランス、スカルプ＝エスコ地方自然公園、マルシェンヌの森	1994	IC	100×122
129	子ども、シダ、濡れたケシの花びら	フランス、スカルプ＝エスコ地方自然公園、レームの森	1994	IC	100×133.2
130	子ども、泥、アオウキクサ、ハリエンジュの葉、シダの葉	フランス、スカルプ＝エスコ地方自然公園、マルシェンヌの森	1994	IC	100×122.5
131	蛙/子ども、トウヒの幹で作った筏、古い木の葉、アオウキクサ、シダの葉	フランス、スカルプ＝エスコ地方自然公園、マルシェンヌの森	1994	IC	69×77
132	蛙/子ども、トウヒの幹で作った筏、古い木の葉、アオウキクサ、シダの葉	フランス、スカルプ＝エスコ地方自然公園、マルシェンヌの森	1994	IC	69.5×100.1
133	子ども、シダの葉、菩提樹の葉	フランス、スカルプ＝エスコ地方自然公園、マルシェンヌの森	1995	IC	100.3×150.3

■資料 Landscape Project

作品名／素材	制作地	制作年	技法	寸法 (cm)
青い花/ハインリヒ・フォン・オフターディンゲンのための風景―門に続く路と春分・秋分のためのバイエルの太陽の彫刻	シュヴァイスフルス財団、ヘルマンズドルフ景観プロジェクト、ミュンヘン近郊、グロン	1995/96	IC	66.5×100
青い花/ハインリヒ・フォン・オフターディンゲンのための風景―門に続く路と春分・秋分のためのバイエルの太陽の彫刻 (内側から入口部分を見る)	シュヴァイスフルス財団、ヘルマンズドルフ景観プロジェクト、ミュンヘン近郊、グロン	1995/96	IC	66.5×100

* 寸法は縦×横

* 技法表記は次のとおり。GSP：ゼラチン・シルバー・プリント、IC：イルフォクローム、DSP：画布へのデジタル・スキャナー・プリント



ハシバミの枝、アジサイの花びら

凍土：魂のマチエール 寺島春雄展

会期＝平成14年9月27日（金）－11月14日（木）43日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般600（450）円、高大生350（250）円、小中生250（200）円

心身に障害のある方などは無料

（ ）内は10名以上の団体料金

関連事業

特別展セミナー

「寺島春雄－人と作品」

講師＝石尾乃里子（当館学芸員）

日時＝10月5日（土）、10月19日（土）午後2時～3時

会場＝当館講堂

図 録

規格＝29.5×20.8cm／総頁数24ページ

構成＝あいさつ／図版／年譜（主要展覧会）／出品目録／参考文献一
覧

関連記事

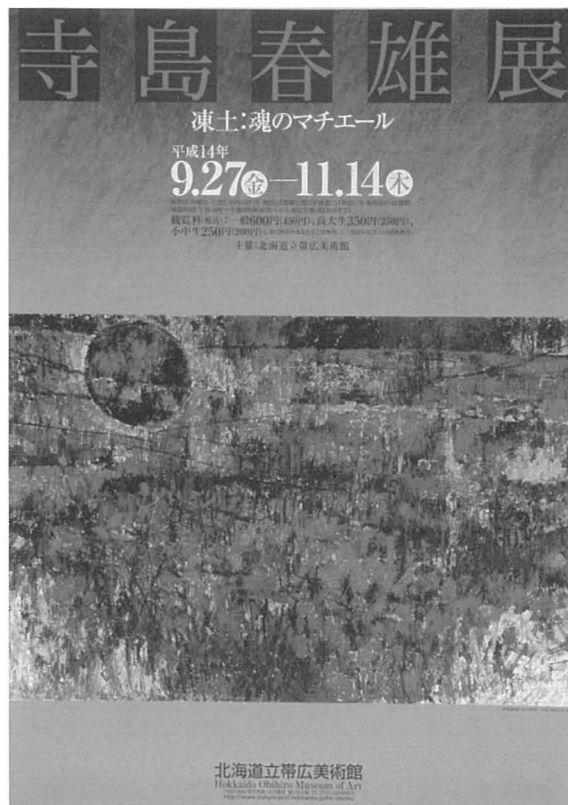
インタビュー「語り継ぐ魂のマチエール①熊代弘法氏」十勝毎日新聞／10月23日

インタビュー「語り継ぐ魂のマチエール②千田時雄氏」十勝毎日新聞／10月25日

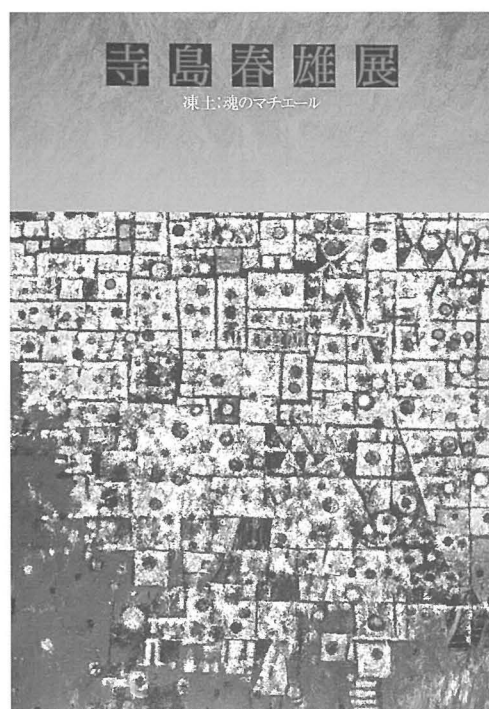
田中秀実「寺島春雄展：抽象作品に風土と意志」北海道新聞／10月25日

インタビュー「語り継ぐ魂のマチエール③園田郁夫氏」十勝毎日新聞／10月26日

インタビュー「語り継ぐ魂のマチエール④大戸秀夫氏」十勝毎日新聞／10月27日



ポスター



図録

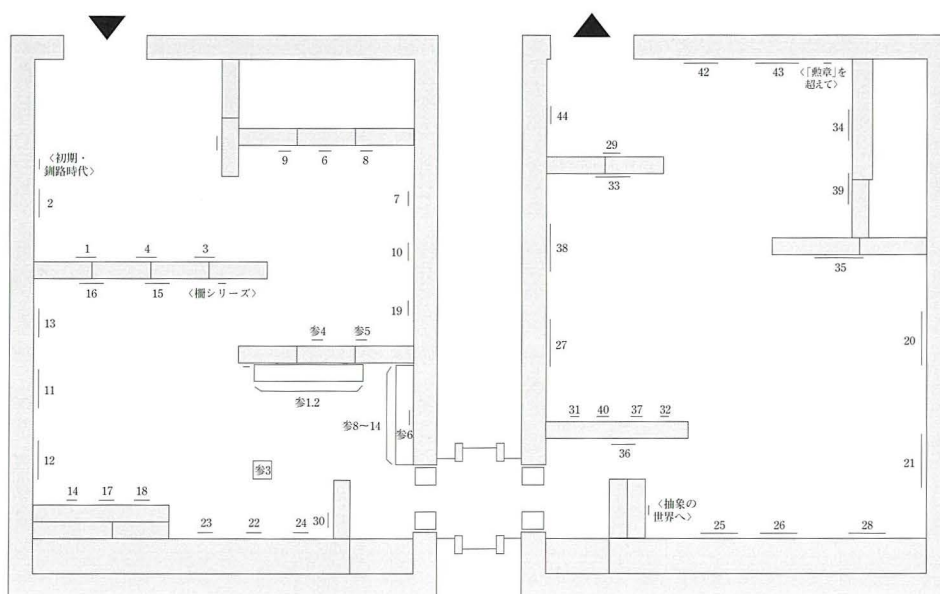
寺島春雄は、戦前から戦後にかけて活躍した道東ゆかりの洋画家である。

1911（明治44）年旭川に生まれ、幼少の頃に移り住んだ釧路で青年時代を過ごした寺島春雄は、やがて本格的に絵を描くようになり、1930年代から北海道美術協会（道展）、独立美術協会を中心に作品を発表した。1944（昭和19）年、結核療養のため移住した帯広においてもさらなる制作活動に取り組み、1956（昭和30）年には新北海道美術協会（新道展）創立に参画するなど、戦後北海道美術の発展に重要な役割を果たした。その作風は具象からしだいに内面的な表現へと移り、やがて抽象へと向かいながら、55歳でこの世を去るまでの間、一貫して独自の表

現を追究し続けた。病気と貧困と相克しながらも、ひたぶるに絵具を塗り込めた堅牢な画肌と重厚な色彩を特徴とするその作品は、道東の厳しい自然と自らの精神世界を反映した特異な絵画風土を構築している。

本展では、画家の初期から晩年に至る主な作品44点に加え、貴重な素描等14点をあわせて展示した。作品は、初期・釧路時代の作品から、帯広移転以降、柵をテーマとしたシリーズを経て、抽象表現を深めてゆくその過程をゆるやかにたどりながら紹介した。画家が半生を過ごした地、帯広においてあらためてその芸術を見つめ直すおよそ20年ぶりの契機となった。会期中の観覧者数はおよそ2,500人だった。

展示図面



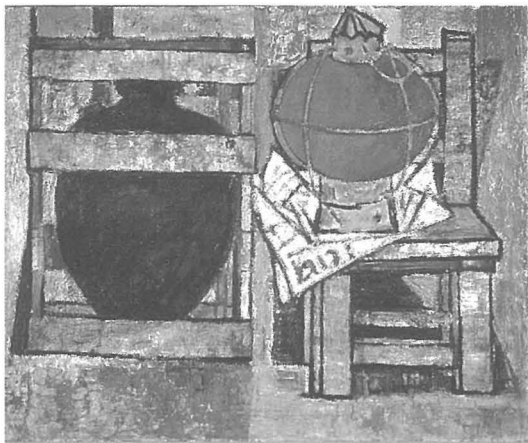
会場風景



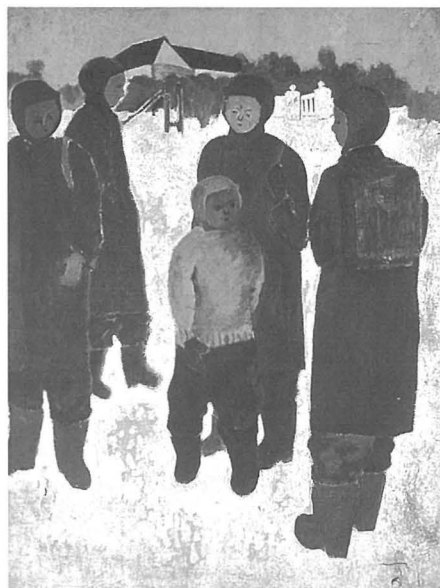
会場風景

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	登校	1936 (昭和11)	油彩、キャンバス	130.0×97.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
2	標識燈	1940 (昭和15)	油彩、キャンバス	130.0×97.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
3	漁灯と少年	1940 (昭和15)	油彩、キャンバス	130.0×97.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
4	竪穴	1942 (昭和17)	油彩、キャンバス	130.3×97.1	北海道立帯広美術館
5	黒の作品	1953 (昭和28)	油彩、キャンバス	45.5×53.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
6	静物	1954 (昭和29)	油彩、キャンバス	53.0×41.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
7	標識	1955 (昭和30)	油彩、キャンバス	60.0×72.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
8	漁燈	1955 (昭和30)	油彩、キャンバス	45.0×53.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
9	静物	1955 (昭和30)	油彩、キャンバス	45.5×38.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
10	工事現場	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	100.5×73.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
11	柵と人	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	162.1×130.7	北海道立帯広美術館
12	柵と人	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	130.5×162.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
13	柵	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	65.5×90.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
14	柵と太陽	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	33.5×45.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
15	柵	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	131.0×162.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
16	柵 (青)	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	130.0×162.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
17	柵	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	52.5×72.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
18	柵と太陽	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	50.0×65.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
19	石工	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	64.5×49.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
20	赤の原野	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	131.3×194.3	北海道立帯広美術館
21	黒の凶地	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	130.9×194.2	北海道立帯広美術館
22	作品 (山羊)	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	91.0×72.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
23	屠殺場	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	72.8×56.0	北海道立帯広美術館
24	船と小屋	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	38.0×46.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
25	赤の古址	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	130.0×161.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
26	囚人碑	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	131.0×161.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
27	深淵の声	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	130.7×162.5	北海道立帯広美術館
28	凶斑	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	130.8×162.4	北海道立帯広美術館
29	凍土	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	117.0×91.1	北海道立帯広美術館
30	夕陽	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	65.5×50.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
31	釧路	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	45.5×53.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
32	作品赤	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	46.0×38.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
33	囚人の詩	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	161.5×130.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
34	黒の狂奏	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	162.0×131.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)



標識



登校

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵先
35	北の碑	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	130.7×162.4	北海道立帯広美術館
36	鳥	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	162.0×131.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
37	作品赤	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	45.5×52.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
38	赤の狂宴	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	112.2×162.8	北海道立帯広美術館
39	青の流亡記	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	162.0×131.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
40	眼のある碑	1963 (昭和38)	油彩、キャンバス	45.5×52.5	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
41	勲章の砦	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	112.2×162.8	北海道立帯広美術館
42	吃り勲章陳情	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	162.0×131.8	北海道立帯広美術館
43	凍土帯	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	73.0×53.0	帯広百年記念館 (寺島春雄遺作品保存会寄託)
44	無題	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	100.0×72.5	北海道立帯広美術館

参考出品

1	(素描手帳「素感」シリーズ)	1947 (昭和22) ~ 1948 (昭和23)	鉛筆、木版、紙	各21.0×17.0	神田日勝記念館
2	(版木)	1940年代中頃~1950年代初期	木版、板	4.7×5.7(ほか)	神田日勝記念館
3	(版木・葉書)	1950年代	木版、板	各15.0×9.5	北海道立帯広美術館
4	(習作)	1955 (昭和30)	油彩、紙	63.0×45.0	畦田敬之氏
5	(習作)	不詳	油彩、紙	45.0×38.0	畦田敬之氏
6	(習作・人物)	不詳	油彩、キャンバス	58.0×43.0	畦田敬之氏
7	(習作・人物)	不詳	墨、ペン、水彩、紙	45.0×38.0	畦田敬之氏
8	(習作)	不詳	油彩、板	24.0×25.0	畦田敬之氏
9	(習作・人物)	不詳	墨、クレヨン、紙	30.0×44.5	畦田敬之氏
10	(習作・人物)	不詳	鉛筆、紙	54.0×38.0	畦田敬之氏
11	(習作・人物)	不詳	コンテ、紙	51.5×37.5	畦田敬之氏
12	(習作・静物)	不詳	油彩、紙	63.0×45.5	畦田敬之氏
13	(習作・静物)	不詳	油彩、紙	41.0×28.0	畦田敬之氏
14	(習作)	不詳	墨、水彩、紙	42.0×37.5	畦田敬之氏

* 寸法は縦×横

* 作品名中、() を付したものは本展のために便宜的につけたものである



柵と太陽



囚人碑

帯広美術館コレクション選集 今日のプリントアート

会期＝平成14年11月22日（金）

ー平成15年1月10日（金）36日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般300（250）円、大学生150（100）円

高校生以下、65歳以上の方および心身に障害のある方などは無料

（ ）内は10名以上の団体料金

美術館にとって、コレクションは活動の軸となるきわめて重要な要素である。北海道立帯広美術館では、平成3年9月の開館以来、多くの展覧会を企画開催するとともに、継続的な作品収集を行ってきた。道東ゆかりの作家による作品、近現代の版画やポスターを中心としたプリントアート、バルビゾン派の絵画をはじめとした西洋の美術という3つの柱のもと、収蔵点数は、現在およそ600点を数える。なかでも、版画や写真、印刷などの複製技術を用いた美術作品を広くとらえたプリントアートのコレクションは、全体の8割を占め、当館の運営の重要な核を形成している。

近代以降、版画は単なる複製手段ではなく独自の表現力を備えた分野として、多くの美術家によってさまざまに探求されてきた。特に戦後は、従来の枠を打ち破る大胆な創作が行われ、版画の概念自体も拡大している。プリントアートの造語が使われるようになったのも、これまでの版画の概念だけではとらえきれない、現代美術の多様化と版表現の拡大という今日的な美術動向を反映してのことである。写真製版により現実の多様なイメージを導入した作品をはじめ、さまざまな素材と手法を組み合わせた混合技法による作品や版画の既成概念を超える大画面や立体的な作品など、自由な発想による大胆な創作の世界は、現代社会をとらえるうえでの本質的なテーマとして、また、美術という枠組みを問い直すアイディアとして注目されよう。

本展では、当館コレクションのうち、先鋭的で豊かな造形的探求が試みられている現代のプリントアートの作品に焦点を絞り、当館が所蔵する日本やアメリカの27作家の作品53点で構成した。展示にあたっては、技法や国別など従来の分野区分にとられない配置に留意し、特に、作品ごとの展示空間を可能な限り区分する構成を優先させた。



会場風景

はじめての美術 絵本原画の世界展

会期＝平成15年1月31日(金)－3月26日(水)47日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NHK帯広放送局、NHK北海道ビジョン、NPO十勝文化会議、絵本原画の世界展帯広展実行委員会

後援＝十勝町村会、十勝教育局、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、十勝文化団体協議会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK文化センター帯広教室、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UHB帯広支社、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

協力＝福音館書店、旭川こどものとも社、社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)、北海道書店商業組合十勝支部

観覧料＝一般900(700)円、高大生550(400)円、小中生350(250)円
心身に障害のある方などは無料
()内は10名以上の団体および前売り料金

関連事業

美術講演会

「絵本原画と美術館」

講師＝有川幾夫氏(宮城県美術館学芸員)

日時＝2月1日(土)午後2時～4時

会場＝当館講堂

特別展セミナー

「絵画としての絵本の世界」

講師＝平利弘(当館主任学芸員)

日時＝2月8日(土)、3月8日(土)午後2時～3時

会場＝当館講堂

ミュージアム・ミステリー2003ウィンター

「おとぎの国のふしぎな旅」

日時＝2月22日(土)、3月1日(土)午前10時～4時

会場＝当館講堂・ホール・主展示室等

絵本の読み聞かせ

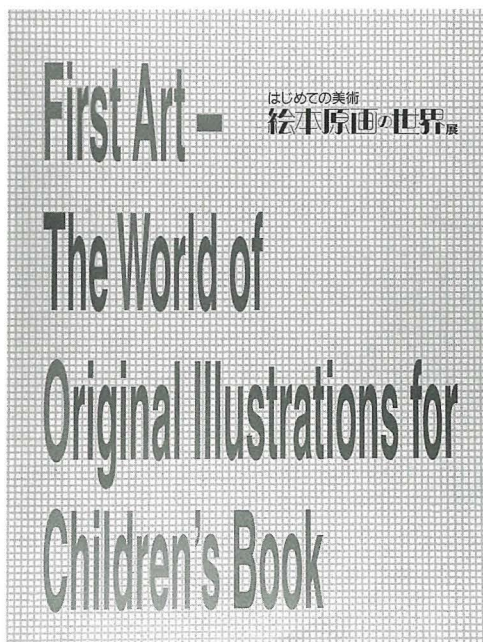
協力＝十勝童話会、森の里本を楽しむ会、よみきかせの会・ババー
ル、フレディの会、こどもと本を楽しむ会、帯広市図書館ボ
ランティア・友の会、この本だいすきの会・帯広支部、月曜
読書会

日時＝会期中、毎週日曜日 午前11時～11時30分

会場＝当館講堂



ポスター



図録

連携事業

絵本講演会

「子どもの心をとりにこにする絵本たち」

講師＝松居直氏（福音館書店相談役）

主催＝旭川こどものとも社

日時＝2月22日（土）午後2時30分～4時30分

会場＝帯広市民文化ホール

JBBYリレー講演会

「本とわたし絵本かきの根っこ」

講師＝小野かおる氏（美術家）

主催＝社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)

日時＝3月22日（土）午後2時～3時30分

会場＝当館講堂

図 録

規格＝29.6×22.8cm／総頁数210ページ

構成＝あいさつ／有川幾夫「伝達する絵画」／作品図版／作家

解説／土方明司「画家と絵本」／インタビュー抄録「太

田大八」「小野かおる」「佐藤忠良」「長新太」「なかのひ

ろたか」「山本忠敬」「山脇百合子」「松居直」／作品目録

関連記事

インタビュー「絵本原画の魅力（上）：岡本淳子さん」十勝毎日新聞／2月5日

インタビュー「絵本原画の魅力（中）：中西千尋さん」十勝毎日新聞／2月6日

インタビュー「絵本原画の魅力（下）：本田哲也さん」十勝毎日新聞／2月7日

インタビュー「福音館書店元社長・松居直さんに聞く」十勝毎日新聞／2月14日

平利弘「絵本原画鑑賞のポイント（上）（中）（下）」十勝毎日新聞／3月7～16日

多くの人には、幼い頃から宝物のようにしている絵本や心に深く刻まれた思い出の絵本がある。ダイナミックな描写を駆使した冒険の物語、色彩豊かに描かれたおとぎの国やそこで繰り広げられるファンタジーなど、文学と美術が結びついたその世界は、純粋な幼い感性にとって鮮烈な芸術体験になることも少なくない。その意味で絵本は、生まれて最初に出会う美術ということもできよう。

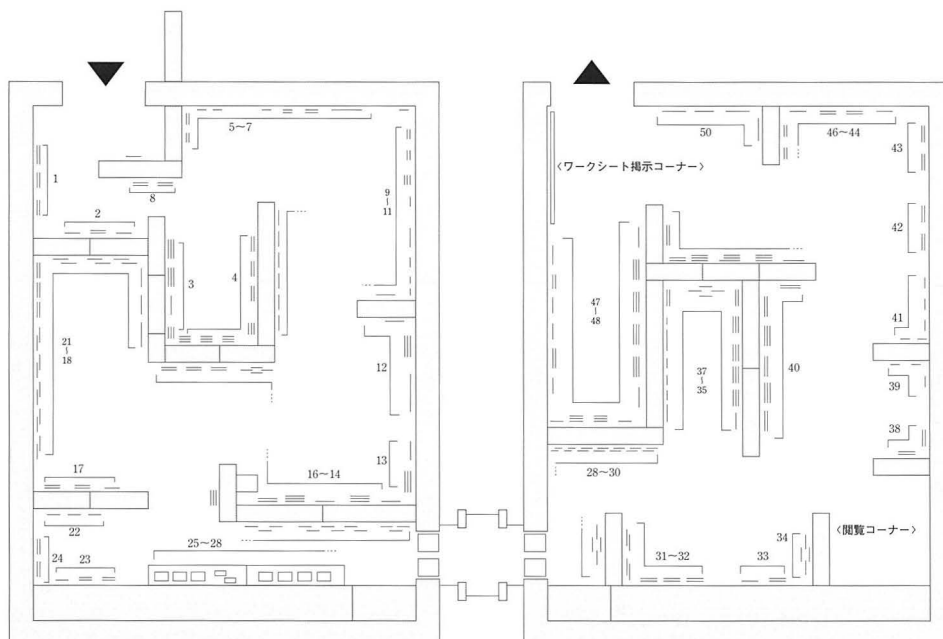
絵本の中で絵画は、単に物語をなぞるだけではない。素材を生かした表現や色彩の組立、写実やデフォルメによる演出などによって、登場人物や題材に生き生きとした表情が与えられる。見るものの想像力を刺激し、豊かなイメージの世界が繰り広げられる。

この展覧会では、そうした絵本に備わる美術としての魅力に

焦点をあて、主に宮城県美術館が所蔵するすぐれた絵本原画、30作家50作品の絵本から321点を紹介。絵本の豊かなイメージの源泉ともいえる原画の魅力によって、新たな美術と出会う機会となった。なお、原画の多くは、1956年福音館書店から創刊され、戦後の絵本史上高い評価を得ている『こどものとも』シリーズからなるものである。

実際の展示では、独自の世界を繰り広げる各作家ごとの個性に留意し、空間の区分が明確になるよう構成した。また、原画作品に併せて、『こどものとも』シリーズの復刻版をはじめ刊行された絵本の展示のほか、幼児用に作品中の一場面吹き出しを付けたワークシートを作成し、掲示するコーナーを設けるなど、分かりやすく親しまれるよう配慮した。

展示図面





会場風景



会場風景

出品目録

No.	作者名	作品名	初出	寸法 (cm)	材質形状
1 ⁻¹	秋野 不矩	ちいさなたいこ	「こどものとも」 221号(福音館書店) 1974年 8月	24.3×60.7	紙、岩彩・インク
1 ⁻²				20.4×54.7	紙、岩彩
1 ⁻³				20.4×54.6	紙、岩彩・インク
1 ⁻⁴				20.7×54.5	紙、岩彩
1 ⁻⁵				20.6×54.5	紙、岩彩・インク
1 ⁻⁶				21.0×55.2	紙、岩彩・墨・鉛筆
2 ⁻¹	朝倉 摂	てんぐのかくれみの	「こどものとも」 6号(福音館書店) 1956年 9月	28.4×40.8	和紙、岩彩・コラージュ
2 ⁻²				28.5×40.9	和紙、岩彩
2 ⁻³				27.8×40.3	和紙、岩彩・コラージュ
3 ⁻¹	池田 龍雄	三びきのやぎのがらがらどん	「こどものとも」 38号(福音館書店) 1959年 5月	27.0×37.7	紙、水彩・インク・鉛筆
3 ⁻²				27.2×41.9	紙、水彩・インク・鉛筆
3 ⁻³				41.8×27.3	紙、水彩・インク
3 ⁻⁴				27.2×41.8	紙、水彩・インク・鉛筆・色鉛筆
4 ⁻¹	大沢 昌助	クリスマスのまえのばん	「こどものとも」 45号(福音館書店) 1959年12月	27.3×39.7	紙、水彩・鉛筆
4 ⁻²				27.3×39.8	紙、水彩・色鉛筆
4 ⁻³				27.3×39.5	紙、水彩・鉛筆・色鉛筆
4 ⁻⁴				27.3×39.5	紙、水彩・鉛筆・色鉛筆
4 ⁻⁵				27.3×39.4	紙、水彩・鉛筆・色鉛筆
5 ⁻¹	太田 大八	びんぼうこびと	「こどものとも」 178号(福音館書店) 1971年 1月	36.3×51.3	イラストレーションボード、水彩・インク
5 ⁻²				36.3×51.3	イラストレーションボード、水彩・インク
5 ⁻³				36.1×51.4	イラストレーションボード、水彩・インク
5 ⁻⁴				36.4×51.4	イラストレーションボード、水彩・インク
5 ⁻⁵				36.3×51.4	イラストレーションボード、水彩・インク
5 ⁻⁶				36.3×51.3	イラストレーションボード、水彩・インク
5 ⁻⁷				36.2×51.3	イラストレーションボード、水彩・インク
6 ⁻¹	太田 大八	だいちゃんとうみ	「こどものとも」 281号(福音館書店) 1979年 8月	24.8×53.8	紙、水彩
6 ⁻²				24.7×53.8	紙、水彩
6 ⁻³				24.7×53.8	紙、水彩・パステル
6 ⁻⁴				24.7×53.7	紙、水彩
6 ⁻⁵				24.8×53.8	紙、水彩・パステル
6 ⁻⁶				24.7×53.8	紙、水彩
6 ⁻⁷				24.7×53.7	紙、水彩
6 ⁻⁸				24.4×53.7	紙、水彩
6 ⁻⁹				25.3×54.5	紙、水彩
6 ⁻¹⁰				25.3×54.3	紙、水彩
6 ⁻¹¹				25.4×53.7	紙、水彩
6 ⁻¹²				25.4×53.8	紙、水彩
6 ⁻¹³				25.4×54.0	紙、水彩
6 ⁻¹⁴				25.4×53.8	紙、水彩
6 ⁻¹⁵				25.4×53.8	紙、水彩
7 ⁻¹	太田 大八	がちょうのたまごのぼうけん	「こどものとも」 349号(福音館書店) 1985年 4月	22.8×55.2	紙、水彩・パステル・インク
7 ⁻²				23.0×55.1	紙、水彩・パステル・インク
7 ⁻³				22.6×55.4	紙、水彩・パステル・インク

No.	作者名	作品名	初出	寸法 (cm)	材質形状
7 ⁻⁴ 7 ⁻⁵ 7 ⁻⁶	太田 大八	がちょうのたまごのぼうけん		24.2×57.0 24.2×56.3 24.9×56.6	紙、水彩・パステル・インク 紙、水彩・パステル・インク 紙、水彩・パステル・インク
8 ⁻¹ 8 ⁻² 8 ⁻³ 8 ⁻⁴	荻 太郎	こうさぎのクリスマス	「こどものとも」 246号(福音館書店) 1976年12月	33.5×54.6 33.5×54.5 33.6×54.5 21.0×54.5	紙、水彩・パステル・鉛筆 紙、水彩・パステル・インク・鉛筆・色鉛筆 紙、水彩・パステル・鉛筆・色鉛筆 紙、水彩・パステル・鉛筆
9 ⁻¹ 9 ⁻² 9 ⁻³ 9 ⁻⁴ 9 ⁻⁵ 9 ⁻⁶ 9 ⁻⁷ 9 ⁻⁸ 9 ⁻⁹ 9 ⁻¹⁰	小野かおる	オンロックがやってくる	「こどものとも」 63号(福音館書店) 1961年 6月	31.2×43.1 31.1×42.9 30.0×43.0 31.2×43.0 31.2×42.9 31.1×42.8 31.1×43.0 30.9×42.8 31.0×43.0 31.0×43.0	紙、水彩 紙、水彩・パステル 紙、水彩・パステル 紙、水彩・パステル 紙、水彩 紙、水彩・パステル 紙、水彩・パステル 紙、水彩・パステル 紙、水彩・パステル 紙、水彩・パステル
10 ⁻¹ 10 ⁻² 10 ⁻³ 10 ⁻⁴ 10 ⁻⁵	小野かおる	とんだドロップ	「こどものとも」 84号(福音館書店) 1963年 3月	25.8×59.4 25.0×58.3 58.9×25.4 59.0×25.4 24.7×57.9	紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク
11 ⁻¹ 11 ⁻² 11 ⁻³ 11 ⁻⁴ 11 ⁻⁵ 11 ⁻⁶	小野かおる	ごろびか どーん	「こどものとも」 520号(福音館書店) 1999年 7月	36.0×46.5 36.0×46.5 36.1×47.2 35.9×47.1 36.1×47.3 36.0×47.1	キャンバス、油彩 キャンバス、油彩 キャンバス、油彩 キャンバス、油彩 キャンバス、油彩 キャンバス、油彩
12 ⁻¹ 12 ⁻² 12 ⁻³ 12 ⁻⁴	桂 ゆき	びちこちゃんのけっこん	「こどものとも」 180号(福音館書店) 1971年 3月	24.9×54.6 24.6×56.7 24.2×54.8 20.0×54.8	紙、アクリル 紙、アクリル 紙、アクリル 紙、アクリル
13 ⁻¹ 13 ⁻² 13 ⁻³	坂本 直行	かいたくちのみゆきちゃん	「こどものとも」 44号(福音館書店) 1959年11月	26.5×37.3 26.5×37.3 26.5×37.1	紙、水彩・パステル 紙、水彩・マーカー 紙、水彩・マーカー
14 ⁻¹ 14 ⁻² 14 ⁻³ 14 ⁻⁴	佐藤 忠良	やまなしもぎ	「こどものとも」 42号(福音館書店) 1959年 9月	27.0×37.9 26.9×38.0 26.9×38.0 26.9×38.0	紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆
15 ⁻¹ 15 ⁻² 15 ⁻³ 15 ⁻⁴ 15 ⁻⁵ 15 ⁻⁶ 15 ⁻⁷ 15 ⁻⁸	佐藤 忠良	おおきなかぶ	「こどものとも」 74号(福音館書店) 1962年 5月	28.0×65.0 27.9×64.1 28.1×63.0 28.1×62.8 27.9×62.8 28.0×62.6 27.9×62.6 28.0×62.3	紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ・クレヨン 紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ



秋野不矩「ちいさなたいこ」

No.	作者名	作品名	初出	寸法 (cm)	材質形状
15 ⁻⁹ 15 ⁻¹⁰ 15 ⁻¹¹ 15 ⁻¹² 15 ⁻¹³ 15 ⁻¹⁴	佐藤 忠良	おおきなかぶ		28.0×62.3 28.0×62.4 28.0×62.6 26.1×62.3 28.0×62.6 28.0×62.6	紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ 紙、水彩・インク・コンテ
16 ⁻¹ 16 ⁻² 16 ⁻³ 16 ⁻⁴ 16 ⁻⁵ 16 ⁻⁶	佐藤 忠良	ババヤガーのしろいとり	「こどものとも」212号(福音館書店)1973年11月	27.4×39.5 27.1×39.6 27.3×39.6 27.3×39.7 27.4×39.6 27.5×39.5	紙、水彩・鉛筆・色鉛筆・ バステル 紙、水彩・鉛筆・色鉛筆・ バステル 紙、水彩・鉛筆・色鉛筆・ バステル 紙、水彩・鉛筆・色鉛筆・ バステル 紙、水彩・鉛筆・色鉛筆・ バステル 紙、水彩・鉛筆・色鉛筆・ バステル
17 ⁻¹ 17 ⁻² 17 ⁻³ 17 ⁻⁴ 17 ⁻⁵	田島 征三	だいふくもち	「こどものとも」239号(福音館書店)1976年 2月	30.0×81.5 45.0×59.5 41.3×59.4 39.5×91.8 41.8×62.6	紙、水彩 紙、水彩 紙、水彩 紙、水彩 紙、水彩
18 ⁻¹ 18 ⁻² 18 ⁻³ 18 ⁻⁴ 18 ⁻⁵ 18 ⁻⁶ 18 ⁻⁷ 18 ⁻⁸ 18 ⁻⁹ 18 ⁻¹⁰	長 新太	三びきのライオンのこ	「こどものとも」60号(福音館書店)1961年 3月	38.4×43.5 37.2×38.8 37.1×38.9 37.1×38.8 37.3×38.9 37.0×38.9 37.2×38.9 37.1×38.9 37.2×38.9 37.1×38.7	紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆・色鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆
19 ⁻¹ 19 ⁻² 19 ⁻³ 19 ⁻⁴ 19 ⁻⁵ 19 ⁻⁶	長 新太	たいへんたいへん	「こどものとも」145号(福音館書店)1968年 4月	29.8×41.2 29.7×40.9 30.3×41.7 29.3×42.4 29.6×41.0 30.7×41.9	紙、カラーインク・インク 紙、カラーインク・インク 紙、カラーインク・インク 紙、カラーインク・インク 紙、カラーインク・インク 紙、カラーインク・インク
20 ⁻¹ 20 ⁻² 20 ⁻³ 20 ⁻⁴ 20 ⁻⁵ 20 ⁻⁶	長 新太	てぶくろくろすけ	「こどものとも」203号(福音館書店)1973年 2月	36.6×48.5 36.7×48.6 36.6×48.6 36.6×48.6 36.6×48.6 36.6×48.6	紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク
21 ⁻¹ 21 ⁻² 21 ⁻³	長 新太	なんじゃもんじゃはかせのおべんとう	「こどものとも」453号(福音館書店)1993年12月	38.5×72.9 37.0×72.4 37.0×72.3	紙、水彩 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク
22 ⁻¹ 22 ⁻² 22 ⁻³	寺島 龍一	あふりかのたいこ あふりかのたいこ	「こどものとも」77号(福音館書店)1962年 8月	36.9×79.4 36.6×79.1 35.9×79.0	紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク・鉛筆

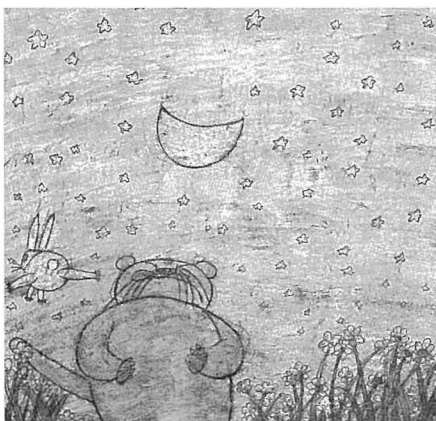


池田龍雄「三びきのやぎのがらがらどん」



大沢昌助「クリスマスのまえのばん」

No.	作者名	作品名	初出	寸法 (cm)	材質形状
23 ¹ 23 ²	富山 妙子	くりすますのほし	「こどものとも」 105号 (福音館書店) 1964年12月	19.6×54.7 20.0×54.7	紙、水彩・油彩・パステル 紙、水彩・鉛筆・コラージュ・ パステル
23 ³ 23 ⁴				19.5×54.6 19.6×54.8	紙、水彩・パステル 紙、水彩・パステル
24 ¹ 24 ² 24 ³ 24 ⁴	永井 保	ねずみのおいしゃさま	「こどものとも」 11号 (福音館書店) 1957年 2月	28.0×38.2 28.0×38.2 28.0×38.4 28.0×38.4	紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆 紙、水彩・鉛筆
25 ¹ 25 ² 25 ³	中谷千代子	ジोजオのかんむり	「こどものとも」 52号 (福音館書店) 1960年 7月	33.2×43.5 37.7×45.2 31.5×40.7	キャンバスボード、油彩 キャンバスボード、油彩 キャンバスボード、油彩
26 ¹ 26 ² 26 ³ 26 ⁴ 26 ⁵ 26 ⁶ 26 ⁷ 26 ⁸ 26 ⁹	中谷千代子	かばくん	「こどものとも」 78号 (福音館書店) 1962年 9月	50.0×63.0 53.0×65.3 52.7×65.2 24.4×59.0 25.8×63.3 52.8×65.0 52.3×73.4 53.0×65.3 49.8×64.9	キャンバス、油彩・インク キャンバス、油彩・インク キャンバス、油彩・インク キャンバス、油彩・インク キャンバス、油彩・インク キャンバス、油彩・インク 紙、水彩・インク キャンバス、油彩・インク キャンバス、油彩・インク
27 ¹ 27 ² 27 ³ 27 ⁴ 27 ⁵ 27 ⁶	中谷千代子	らいおんはしった	「こどものとも」 300号 (福音館書店) 1981年 3月	33.4×22.8 37.7×45.5 32.2×45.5 31.5×45.8 33.4×45.5 35.0×25.6	キャンバスボード、油彩・インク キャンバスボード、油彩・インク キャンバスボード、油彩・インク キャンバスボード、油彩・インク キャンバスボード、油彩・インク キャンバスボード、油彩・インク
28 ¹ 28 ² 28 ³ 28 ⁴ 28 ⁵ 28 ⁶ 28 ⁷ 28 ⁸ 28 ⁹ 28 ¹⁰ 28 ¹¹ 28 ¹² 28 ¹³ 28 ¹⁴	なかのひろたか	ちょうちんあんこう	「こどものとも」 126号 (福音館書店) 1966年 9月	28.7×39.9 25.8×36.9 25.8×37.0 25.9×36.9 25.8×36.9 25.8×36.9 25.9×36.9 25.8×36.9 25.9×36.9 25.8×36.9 25.8×36.9 25.8×37.0 25.8×36.9 25.8×36.9	紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク 紙、カラーインク
29 ¹ 29 ² 29 ³ 29 ⁴	なかのひろたか	ひとりぼっちのりんごのき	「こどものとも」 289号 (福音館書店) 1980年 4月	36.4×51.4 36.4×51.4 36.4×51.4 36.4×51.4	イラストレーションボード、 カラーインク イラストレーションボード、 カラーインク イラストレーションボード、 カラーインク イラストレーションボード、 カラーインク



長新太「三びきのライオンのこ」



中谷千代子「ジोजオのかんむり」

No.	作者名	作品名	初出	寸法 (cm)	材質形状
29 ⁵	なかのひろたか	ひとりぼっちのりんごのき		36.4×51.4	イラストレーションボード、 カラーインク
29 ⁶				36.4×51.4	イラストレーションボード、 カラーインク
29 ⁷				36.4×51.4	イラストレーションボード、 カラーインク
30 ¹	なかのひろたか	ゆうちゃんとめんどくさいサイ	「こどものとも」309号(福音館書店)1981年12月	26.7×66.6	ケント紙、水彩・インク
30 ²				27.8×67.1	ケント紙、水彩・インク
30 ³				28.9×19.9	ケント紙、水彩・インク
30 ⁴				27.7×67.4	ケント紙、水彩・インク
31 ¹	西巻 茅子	けいこちゃん	「こどものとも」326号(福音館書店)1983年 5月	27.3×59.8	紙、水彩
31 ²				27.4×59.8	紙、水彩
31 ³				26.7×59.8	紙、水彩
31 ⁴				26.7×59.8	紙、水彩
31 ⁵				26.8×59.8	紙、水彩
31 ⁶				27.2×59.8	紙、水彩
32 ¹	西巻 茅子	ケンカオニ	「こどものとも」481号(福音館書店)1996年 4月	25.7×72.4	紙、イラストレーションボード、 パステル・水彩
32 ²				25.8×72.4	紙、イラストレーションボード、 パステル・水彩
32 ³				25.5×72.5	紙、イラストレーションボード、 パステル・水彩
32 ⁴				25.7×72.6	紙、イラストレーションボード、 パステル・水彩
33 ¹	羽根 節子	かわいいめんどり	「こどものとも」136号(福音館書店)1967年 7月	36.3×51.5	イラストレーションボード、 水彩・パステル・インク
33 ²				36.4×51.4	イラストレーションボード、 水彩・パステル・インク
33 ³				36.3×51.4	イラストレーションボード、 水彩・パステル・インク
34 ¹	稗田 一穂	しらさぎのくるむら	「こどものとも」 31号(福音館書店)1958年10月	30.8×39.6	紙、岩彩
34 ²				30.1×39.5	紙、岩彩
34 ³				30.2×39.6	紙、岩彩
34 ⁴				30.4×39.8	紙、岩彩
35 ¹	土方 久功	おおきなかぬー	「こどものとも」 82号(福音館書店)1963年 1月	19.7×55.4	紙、インク
35 ²				27.4×19.8	紙、水彩
35 ³				27.5×19.7	紙、水彩・インク
35 ⁴				27.4×19.8	紙、水彩・鉛筆
35 ⁵				19.8×54.8	紙、インク
35 ⁶				27.4×19.7	紙、水彩
35 ⁷				19.8×54.7	紙、インク
35 ⁸				19.8×54.5	紙、水彩
36 ¹	土方 久功	ゆかいなさんぼ	「こどものとも」116号(福音館書店)1965年11月	19.8×54.1	紙、鉛筆
36 ²				19.5×54.7	紙、色鉛筆
36 ³				20.0×54.8	紙、インク
36 ⁴				19.8×54.7	紙、インク
36 ⁵				20.0×54.8	紙、インク
36 ⁶				19.7×54.8	紙、インク
36 ⁷				19.8×54.8	紙、インク



稗田一穂「しらさぎのくるむら」

No.	作者名	作品名	初出	寸法 (縦×横cm)	材質形状
36 ⁸	土方 久功	ゆかいなさんぽ		19.8×54.9	紙、インク
36 ⁹				19.8×54.8	紙、インク
36 ¹⁰				19.9×54.8	紙、インク
36 ¹¹				20.0×54.9	紙、インク
36 ¹²				20.0×54.8	紙、インク
36 ¹³				19.8×54.9	紙、インク
36 ¹⁴	土方 久功	ぶたぶたくんのおかいもの	「こどものとも」 175号(福音館書店) 1970年10月	20.1×54.9	紙、インク
36 ¹⁵				19.8×54.6	紙、インク
37 ¹				27.5×39.5	紙、水彩・インク・鉛筆
37 ²				27.3×39.7	紙、水彩・インク・鉛筆
37 ³				27.3×39.6	紙、水彩・インク
37 ⁴				27.3×39.5	紙、水彩・インク・鉛筆
38 ¹	堀 文子	はなとあそんできたふみこちゃん	「こどものとも」 25号(福音館書店) 1958年 4月	32.6×43.6	紙、水彩・パステル・コラージュ
38 ²				32.5×43.4	紙、水彩・パステル・コラージュ
38 ³				32.5×43.2	紙、水彩・パステル・コラージュ
38 ⁴				32.6×43.3	紙、水彩・パステル・コラージュ
39 ¹	三芳 悌吉	もりのむしとのはらのむし	「こどものとも」 124号(福音館書店) 1966年 7月	27.3×63.5	紙、水彩・色鉛筆・インク
39 ²				64.5×27.6	紙、水彩・色鉛筆・インク
39 ³				27.4×64.6	紙、水彩・インク
40 ¹	村山 知義	しんせつなともだち	「こどものとも」 109号(福音館書店) 1965年 4月	22.6×62.3	紙、水彩
40 ²				22.6×62.3	紙、水彩
40 ³				22.7×62.3	紙、水彩
40 ⁴				22.7×62.4	紙、水彩
40 ⁵				22.9×62.4	紙、水彩
40 ⁶				22.6×62.3	紙、水彩
40 ⁷				22.8×62.4	紙、水彩
40 ⁸				22.7×62.3	紙、水彩
40 ⁹				22.8×62.3	紙、水彩
40 ¹⁰				22.7×62.3	紙、水彩
40 ¹¹				22.7×62.4	紙、水彩
40 ¹²				22.7×62.3	紙、水彩
40 ¹³				22.7×62.4	紙、水彩
40 ¹⁴				22.8×62.3	紙、水彩
41 ¹	山下 菊二	みるなのはなざしき	ラボ教育センター1973年	52.3×19.3	紙、リトグラフ・コラージュ・ガッシュ
41 ²				52.3×19.6	紙、リトグラフ・コラージュ・ガッシュ
41 ³				52.3×19.3	紙、リトグラフ・コラージュ・ガッシュ
41 ⁴				52.3×19.3	紙、リトグラフ・コラージュ・ガッシュ
42 ¹	山田 三郎	きつねとねずみ	「こどものとも」 40号(福音館書店) 1959年 7月 [「こどものとも」 傑作集1967年*]	33.8×43.1	紙、インク
42 ²				33.2×43.0	紙、インク
42 ³				33.9×45.8	紙、水彩・インク
42 ⁴				32.2×45.5	紙、水彩・インク
43 ¹	山中 春雄	てんぐのこま	「こどものとも」 27号(福音館書店) 1958年 6月	26.9×37.9	紙、水彩・鉛筆
43 ²				27.1×38.1	紙、水彩・鉛筆
43 ³				26.9×37.8	紙、水彩・鉛筆
43 ⁴				26.8×37.9	紙、水彩・鉛筆



土方久功「おおきなかぬー」

No.	作者名	作品名	初出	寸法 (cm)	材質形状
44 ⁻¹ 44 ⁻² 44 ⁻³ 44 ⁻⁴	山本 忠敬	ビー、うみへいく	「こどものとも」 30号 (福音館書店) 1958年 9月	28.7×38.9 28.8×39.0 28.9×38.9 28.8×38.9	紙、ポスターカラー 紙、ポスターカラー 紙、ポスターカラー 紙、ポスターカラー
45 ⁻¹ 45 ⁻² 45 ⁻³ 45 ⁻⁴ 45 ⁻⁵ 45 ⁻⁶ 45 ⁻⁷ 45 ⁻⁸ 45 ⁻⁹ 45 ⁻¹⁰ 45 ⁻¹¹ 45 ⁻¹² 45 ⁻¹³ 45 ⁻¹⁴	山本 忠敬	しょうぼうじどうしゃじぶた	「こどものとも」 91号 (福音館書店) 1963年10月	26.4×32.4 27.2×70.3 27.7×71.1 27.2×70.3 27.3×70.9 27.3×70.5 27.5×70.6 27.3×70.1 26.0×70.3 27.2×72.9 26.1×70.3 26.1×70.7 26.2×70.4 27.3×71.0	紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク 紙、ポスターカラー・インク
46 ⁻¹ 46 ⁻² 46 ⁻³ 46 ⁻⁴ 46 ⁻⁵ 46 ⁻⁶	山本 忠敬	でんしゃがはしる	「こどものとも」 267号 (福音館書店) 1978年 6月	25.8×72.8 25.7×72.8 25.7×72.9 25.8×73.0 25.7×72.8 25.8×72.8	イラストレーションボード、 カラーインク・インク・色鉛筆 イラストレーションボード、 カラーインク・インク イラストレーションボード、 カラーインク・インク イラストレーションボード、 カラーインク・インク イラストレーションボード、 カラーインク・インク イラストレーションボード、 カラーインク・インク
47 ⁻¹ 47 ⁻² 47 ⁻³ 47 ⁻⁴ 47 ⁻⁵ 47 ⁻⁶ 47 ⁻⁷ 47 ⁻⁸ 47 ⁻⁹ 47 ⁻¹⁰ 47 ⁻¹¹ 47 ⁻¹² 47 ⁻¹³ 47 ⁻¹⁴	おおむらゆりこ (山脇百合子)	ぐりとぐら	「こどものとも」 93号 (福音館書店) 1963年12月	18.6×54.8 19.0×54.7 19.0×55.0 19.0×54.6 19.1×54.6 19.0×54.8 19.0×54.8 19.1×54.8 19.1×54.8 19.0×54.7 19.0×54.7 19.0×54.7 19.0×54.7 19.0×54.7	紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク
48 ⁻¹ 48 ⁻² 48 ⁻³ 48 ⁻⁴ 48 ⁻⁵ 48 ⁻⁶ 48 ⁻⁷ 48 ⁻⁸	山脇百合子	ぐりとぐらのえんそく	「こどものとも」 277号 (福音館書店) 1979年 4月	19.8×54.8 19.8×54.9 19.9×54.8 19.8×54.8 19.8×54.9 19.8×54.8 19.8×54.8 19.8×54.9	紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク 紙、水彩・インク



堀文子「はなとあそんできたふみこちゃん」

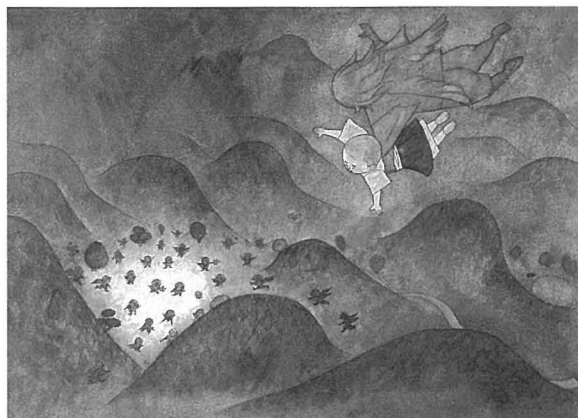
No.	作者名	作品名	初出	寸法 (cm)	材質形状
49 ¹	山脇百合子	よもぎのはらのおともだち	PHP研究所1985年	27.4×39.7	紙、水彩・インク・色鉛筆
49 ²				19.8×27.3	紙、水彩・インク・色鉛筆
49 ³				27.3×39.8	紙、水彩・インク・色鉛筆
49 ⁴				34.9×54.9	紙、水彩・インク・色鉛筆
49 ⁵				35.2×54.6	紙、水彩・インク・色鉛筆
49 ⁶				27.3×39.8	紙、水彩・インク・色鉛筆
49 ⁷				35.0×54.6	紙、水彩・インク・色鉛筆
49 ⁸				27.3×39.8	紙、水彩・インク・色鉛筆
50 ¹	横内 襄	ちいさなねこ	「こどものとも」 86号(福音館書店)1963年 5月	29.7×58.6	イラストレーションボード、水彩・鉛筆
50 ²				25.3×58.8	イラストレーションボード、水彩・鉛筆
50 ³				25.4×57.6	イラストレーションボード、水彩・鉛筆
50 ⁴				25.4×57.8	イラストレーションボード、水彩・鉛筆

関連作品

No.	作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質形状
51	池田 龍雄	空中楼閣	1952	30.8×22.7	紙、インク・水彩
52	池田 龍雄	夜	1953	30.8×24.5	紙、インク他
53	大沢 昌助	公園	1948	97.1×130.0	キャンバス、油彩
54	桂 ゆき	婦人の日	1953 (第2回日本国際美術展)	117.1×91.3	キャンバス、油彩
55	佐藤 忠良	夏のこども	1968 (第32回新制作展)	107.5×39.0×31.5	ブロンズ
56	中谷千代子	デッサン		27.0×35.2	紙、鉛筆
57	中谷千代子	デッサン		27.0×35.2	紙、鉛筆
58	中谷千代子	デッサン		26.3×35.2	紙、鉛筆
59	山下 菊二	顔の中の鳥	1963	40.5×28.5	紙、ペン・ガッシュ

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品が高さ×幅×奥行

* 作品はNo.17,41,47,48が宮城県美術館寄託作品、No.51,52,53が練馬区立美術館所蔵作品、その他はすべて宮城県美術館所蔵作品



山中春雄「でんぐのこま」

美術講演会

各分野の専門家を招いてそれぞれの展覧会に関連した内容の講演会を開催した。

時間＝午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)



「環境とアート／新しい風景をつくりだす」 芹沢高志氏

平成13年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講者数
7月14日（土）	中国的紋様の世界	味岡 義人氏	渋谷区立松濤美術館主任学芸員	中国美術の精華	48人
9月29日（土）	映画から学んだビジュアル・デザインー映画は偉大な学校だった	栗津 潔氏	印刷博物館館長	2001年シネマ・オデッセイ	38人
3月9日（土）	修復からみた美術作品ーモネ、ルノワールを中心に	岩井希久子氏	修復家	美術への扉ーコレクション十年十色	105人

平成14年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講者数
6月8日（土）	岡本太郎と人類学	山口 昌男氏	札幌大学学長	岡本太郎と縄文	84人
8月17日（土）	環境とアート／新しい風景をつくりだす	芹沢 高志氏	デメーテル総合ディレクター	ニルス＝ウド展〈自然へ〉	56人
2月1日（土）	絵本原画と美術館	有川 幾夫氏	宮城県美術館上席主任学芸員	絵本原画の世界展	63人

特別展セミナー

当館学芸員が展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後2時～3時

会場＝当館講堂（聴講無料）

平成13年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講者数
6月2日（土）、6月16日（土）	運動と色彩のユーモレスク－カルダーの世界	鎌田 享	当館学芸員	アレクサンダー・カルダー展	40人
8月4日（土）、9月1日（土）	中国美術の名品を集めて	寺嶋 弘道	当館学芸課長	中国美術の精華	25人
10月6日（土）、10月20日（土）	2001年映画ポスターの旅	石尾乃里子	当館学芸員	2001年シネマ・オデッセイ	25人
11月17日（土）、12月8日（土）	19世紀フランスの風景表現	鎌田 享	当館学芸員	バルビゾンと田園の画家たち	53人
12月22日（土）、1月26日（土）	美術鑑賞における言葉のはたらき	石尾乃里子	当館学芸員	美術への扉－コレクション十年十色	16人

平成14年度

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	関連展覧会	聴講者数
4月13日（土）、4月27日（土）	描かれた和の心－さくらに見る日本の美	石尾乃里子	当館学芸員	さくらに見る日本の美	57人
5月25日（土）、6月29日（土）	縄文の美の発見者－岡本太郎の造形世界	寺嶋 弘道	当館学芸課長	岡本太郎と縄文	50人
7月27日（土）	ニルス＝ウドの造形世界Ⅰ	平 利弘	当館主任学芸員	ニルス＝ウド展〈自然へ〉	12人
8月24日（土）	ニルス＝ウドの造形世界Ⅱ	浅川 泰	当館副館長	ニルス＝ウド展〈自然へ〉	16人
10月5日（土）、10月19日（土）	寺島春雄－生涯と作品	石尾乃里子	当館学芸員	寺島春雄展	41人
2月8日（土）、3月8日（土）	絵画としての絵本の世界	平 利弘	当館主任学芸員	絵本原画の世界展	38人

ミュージアム・カレッジ

一般来館者を対象に、開催中の展覧会をはじめ美術に関わるテーマ・内容で開催した5回連続の美術講座。外来講師や当館学芸員による講演会・講座のほか、作品鑑賞やワークショップを盛り込み多彩な内容で実施。美術についての基礎的・専門的知識を学ぶこと、同時に新たな視点から作品の鑑賞をすることを通じて、地域住民の美術に対する興味・関心を高めることを目的に開催した。各講座の終了後にはコーヒータ임을設け、参加者同士の交流や美術館職員との意見交換の場とした。なお、本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても開講した。

平成13年度

名画をひらくー十人十色の美術散歩

時間＝午後2時～4時

会場＝当館講堂、主展示室、コレクション・ギャラリー（応募制）

「美術への扉ーコレクション十年十色」（平成13年12月21日～平成14年3月27日）に関連し、多彩な美術鑑賞のあり方を発見してもらうという趣旨により開催。4回目までの講座・講演会では、広く知られた作品を取り上げ、作家論や時代・風俗との関わり、図像学、技法などさまざまな観点から紹介。最終回には、参加者が各々の視点により展覧会出品作のなかから複数の作品を選び出し、展覧会の10コーナーに続く11番めのコーナーを作るという設定でワークショップを行なった。



「鑑賞ワークショップー私がみつけた『美術への扉』」

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	参加者数
2月16日（土）	『農民画家』の伝説ーミレーの生涯と作品	寺嶋 弘道	当館学芸課長	37人
2月23日（土）	世紀末パリの華やぎーミュシャとアール・ヌーヴォーの世界	石尾乃里子	当館学芸員	35人
3月2日（土）	聖書の世界を描くーレオナルド・ダ・ヴィンチと『最後の晩餐』	鎌田 享	当館学芸員	36人
3月9日（土）＊	修復からみた美術作品ーモネ、ルノワールを中心に	岩井希久子氏	修復家	35人
3月16日（土）	鑑賞ワークショップー私がみつけた『美術への扉』			36人

＊3月9日（土）は美術講演会に参加。

平成14年度

とかち美術探訪

時間＝午後2時～4時

会場＝当館講堂（応募制）

十勝地域の美術をテーマに開催。作品鑑賞やミニワークショップを取り入れながら、能勢眞美、神田日勝、寺島春雄ら地元に住きた画家たちの作品と生涯にまつわる講話を実施した。最終回のワークショップでは、前回までに見たうちそれぞれが気になる作品について、グループワークのなかで出てきたキーワードをもとに俳句や日記、手紙などの形式にしたため、美的・視覚的な体験を言葉に置き換えることで、個人の鑑賞を他者と共有し合うことを目指した。



「ワークショップー名画探訪・とかち発見」

開催期日	演題	講師	講師所属（職業等）	参加者数
11月9日（土）	能勢眞美・人と芸術ー写真の精神のありかを探す	平 利弘	当館主任学芸員	36人
11月16日（土）	神田日勝の絵画世界ーモチーフと表現をたどって	寺嶋 弘道	当館学芸課長	29人
11月23日（土／祝）	画家たちへの讃歌ー地域の美術と歩む	松井 由孝氏	地域文化コーディネーター	25人
11月30日（土）	寺島春雄・生涯と作品ー心象の風土を訪ねて	石尾乃里子	当館学芸員	31人
12月7日（土）	ワークショップー名画探訪・とかち発見			26人

土曜映写室／映写室スペシャル

展覧会に関連したプログラムを中心に映画、ビデオ、LDの上映を行なった。

時間＝午後2時～

会場＝当館講堂(入場無料)

平成13年度

開催期日	上映作品	関連展覧会	入場者数
4月14日(土)	「日本の美術館:『大原美術館』『神奈川県立近代美術館』」	帯広美術館コレクション選集	15人
4月21日(土)	「日本の美術館:『ブリヂストン美術館』『石橋美術館』」	帯広美術館コレクション選集	7人
4月28日(土)	「日本の美術館:『ひろしま美術館』『東京国立近代美術館』」	帯広美術館コレクション選集	6人
7月28日(土)	「故宮:亡国の文人たち～元」	中国美術の精華	14人
8月25日(土)	「故宮:最後の王朝～清」	中国美術の精華	2人
11月1日(木)	映写室スペシャル「栄光のフィレンツェ・ルネサンス:夜明け～先駆者ジョット」	バルビゾンと田園の画家たち(芸術週間)	14人
11月2日(金)	映写室スペシャル「栄光のフィレンツェ・ルネサンス:美の革新者たち～ブルネレスキ、ドナテッロ、マザッチオ」	バルビゾンと田園の画家たち(芸術週間)	9人
11月4日(日)	映写室スペシャル「栄光のフィレンツェ・ルネサンス:画家・百花繚乱～フラ・アンジェリコ、ボッティチェリ」	バルビゾンと田園の画家たち(芸術週間)	17人
11月6日(火)	映写室スペシャル「栄光のフィレンツェ・ルネサンス:三巨匠～ミケランジェロ、レオナルド、ラファエロ」	バルビゾンと田園の画家たち(芸術週間)	13人
1月19日(土)、2月9日(土)	「美術のみかた:『構図の探求』『絵画を読む』」	美術への扉～コレクション十年十色	13人
2月2日(土)、3月23日(土)	「美術のみかた:『光と影』『透視画法』」	美術への扉～コレクション十年十色	23人

平成14年度

開催期日	上映作品	関連展覧会	入場者数
4月20日(土)	「日本の美:『滲みの感覚』『風月のデザイン』」	さくらに見る日本の美	6人
5月4日(土)	「日本の美:『日本人の原風景』『光と影』」	さくらに見る日本の美	29人
11月1日(金)	映写室スペシャル 「故宮:神人とともにあり～先史・殷・周、百家争鳴乱世に競う～春秋戦国、皇帝天下を制す～秦・漢」	寺島春雄展(芸術週間)	13人
11月5日(火)	映写室スペシャル 「故宮:書聖誕生～六朝、仏の道はるか～五胡十六国・北魏、長安の春～隋・唐」	寺島春雄展(芸術週間)	3人
11月6日(水)	映写室スペシャル 「故宮:大唐の落日～唐・五代、夢の都開封～北宋、美は江南にあり～南宋」	寺島春雄展(芸術週間)	7人
11月7日(木)	映写室スペシャル 「故宮:亡国の文人たち～元、紫禁城風雲録～明、最後の王朝～清」	寺島春雄展(芸術週間)	9人

トークショー

十勝ゆかりの美術家を個展形式で紹介するシリーズ展「十勝の新時代」の開催にあわせ、展覧会出品作家を迎えてのトークショーを開催した。

時間＝午後2時～4時
会場＝当館講堂(聴講無料)



「エロスと死を見つめてー私と版画制作」多賀 新 氏

平成13年度

開催期日	演題	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
8月18日(土)	エロスと死を見つめてー私と版画制作	多賀 新 氏	版画家	多賀新展	84人

平成14年度

開催期日	演題	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	聴講者数
8月3日(土)	標本から沈黙の風景へー私の創作過程	池田 緑 氏	美術家	池田緑展	56人

ワークショップ

「十勝の新時代Ⅴ 池田緑展」の開催に先立ち、作家と市民との制作ワークショップを行なった。

時間＝午後2時～4時30分
場所＝帯広市緑ヶ丘公園、美術館前庭(参加無料)



ワークショップ風景

平成14年度

開催期日	演題	講師	講師所属(職業等)	関連展覧会	参加者数
6月23日(土)	マスク・プロジェクト:グリーンパークから丘の上の美術館へ	池田 緑 氏	美術家	池田緑展	23人

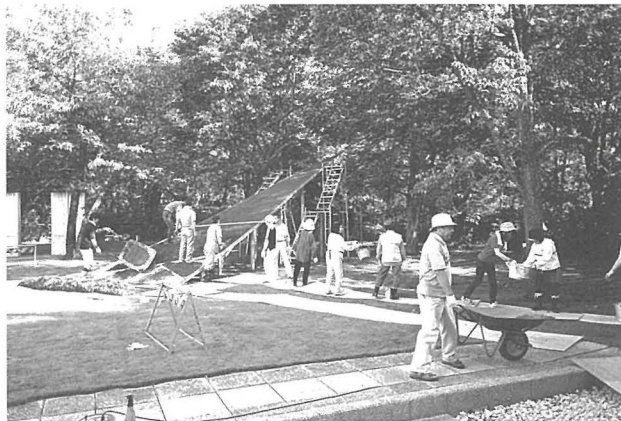
アートウォッチング

現代美術に対する理解を深めるため、作家と市民が共同で作品制作を実施。作者の造形精神とその手法を、公開制作により紹介した。

平成14年度

アートウォッチング2002〈作家招聘事業〉

美の現場：ニルス=ウド／生命の森の扉をひらく

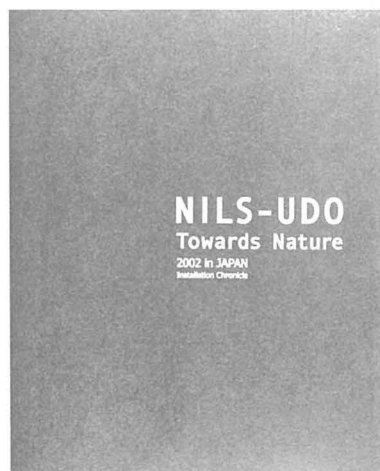


制作風景

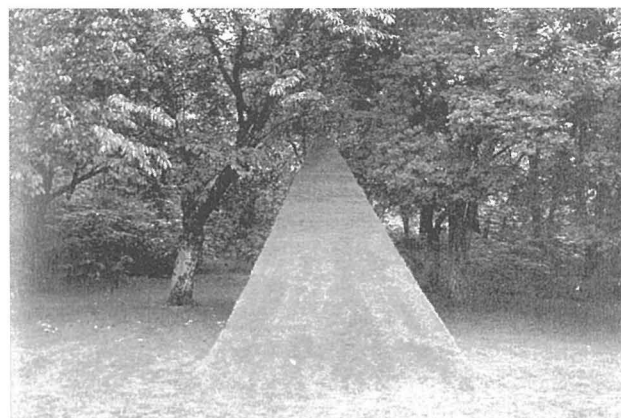
開催期日	内 容	作 者	関連展覧会	制作作品名
9月4日(水)～7日(土)	美術館中庭において、芝を使ったインスタレーション作品の制作現場を公開。また、講堂において作家レクチャー、中庭において地元市民や美術家との交流会を開催した。	ニルス=ウド	ニルス=ウド展〈自然へ〉	「歩く、飛ぶ」



交流会



記録集



作品「歩く、飛ぶ」

キッズ・ミュージアム

親子・家族連れの来館者を対象とした事業。各展覧会の会期中に1〜2回託児の日を設け、日常ゆっくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた保護者に鑑賞の機会を提供した。託児の間、子どもたちには工作遊びを楽しんでもらった。本事業の実施にあたっては、工作遊びの内容検討から準備作業、当日の受付業務、託児、工作補助まで、当館ボランティアしらかばの会との協同により行なった。

時間＝午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)



平成13年度「びっくりコスチュームで大変身!」

平成13年度

開催期日	工作内容	関連展覧会	利用者数（内・子どもの数）
5月12日（土）	色紙いっぱい 花いっぱい	帯広美術館コレクション選集	58人（36人）
6月9日（土）	ゆれる まわる ハンガー・モビール	アレクサンダー・カルダー展	30人（18人）
7月21日（土）	七夕かざりを作ろう！	中国美術の精華	23人（14人）
8月11日（土）	びっくりコスチュームで大変身！	中国美術の精華	26人（16人）
9月22日（土）	おって・まるめて 紙工作	2001年シネマ・オデッセイ	23人（14人）
10月13日（土）	はる・ぬる・こする 落ち葉でアート	2001年シネマ・オデッセイ	31人（18人）
11月10日（土）	きみもデザイナー 帽子作りに挑戦！	バルビゾンと田園の画家たち	30人（18人）
12月1日（土）	クリスマス飾ろう！	バルビゾンと田園の画家たち	30人（18人）

平成14年度

開催期日	工作内容	関連展覧会	利用者数（内・子どもの数）
5月11日（土）	彩りいろいろ ちぎり絵遊び	さくらに見る日本の美	48人（28人）
6月1日（土）	紙ひこうき 飛んでいけ！	岡本太郎と縄文	27人（16人）
7月13日（土）、8月10日（土）	スチロール版画に挑戦	ニルス＝ウド展〈自然へ〉	22人（15人）
10月12日（土）	キミだけの宝箱を作ろう！	寺島春雄展	25人（17人）
12月14日（土）	紙版画で遊ぼう！	帯広美術館コレクション選集	21人（14人）
2月15日（土）、3月15日（土）	描いて・つなげて・絵本作り	絵本原画の世界展	176人（109人）



平成13年度「おって・まるめて 紙工作」



平成14年度「紙版画で遊ぼう！」

ミュージアム・ミステリー

小学中・高学年を対象とした事業。鑑賞や制作のためのさまざまな体験プログラム（ワークショップ）を通じ、自ら感じ考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画。平成13年度からは夏期と冬期に実施回数を増やし、市民の利用機会の拡充を図った。

平成13年度

ミュージアム・ミステリー2001サマー くるくる・くねくね 動く彫刻の秘密

開催日＝5月26日（土） 午前10時～午後4時
会場＝当館講堂・ホール・主展示室ほか
参加者＝小学3～6年生 計30人（応募制）
関連展覧会＝アレクサンダー・カルダー展

プログラム

展覧会ツアー《探検！カルダー・ワールド》

制作ワークショップ《『モビール』にチャレンジ！》

鑑賞ワークショップ《発見！キミだけのナンバーワン》

部分拡大図や言葉書きをヒントに作品を探しながら展覧会を鑑賞。続いて市内の造形作家・大沼秀行氏を講師に、出品作品を参照しながら針金彫刻、モビールを制作（作品は展覧会会期末まで館内に展示。本書22ページ参照）。鑑賞ワークショップでは、観察と制作の体験をふまえ、各々気になる作品に受けた印象や発見した造形的特徴を自らの言葉で整理しニックネームを設定しながら、固有の視点で作品を鑑賞することを目指した。



ミュージアム・ミステリー2001サマー

ミュージアム・ミステリー2002ウィンター アートにクリック！美術の森の神かくし

開催日＝1月12日（土） 午前10時～午後4時
会場＝当館講堂・ホール・展示室ほか
参加者＝小学3～6年生 計30人（応募制）
関連展覧会＝美術への扉ーコレクション十年十色

プログラム

展覧会ツアー《アートにアクセス 十人十色のグランプリ》

制作ワークショップ《名作にリンク スケルトン絵画に挑戦！》

鑑賞ワークショップ《キミだけのナンバーワン パスワードはこれだ！》



ミュージアム・ミステリー2002ウィンター

展示作品にさまざまな賞を付けながら展覧会をめぐる展覧会ツアー、出品作品の1点をヒントにした制作ワークショップを通じ、参加者個々が作品とふれあう視野を広げることに重点を置いたプログラム内容とした。

平成14年度

ミュージアム・ミステリー2002サマー うず巻くアートのナゾ！芸術は爆発だ

開催日＝6月15日（土）、22日（土）各日とも午前10時～午後4時

会場＝当館講堂・ホール・主展示室ほか

参加者＝小学3～6年生 計60人

（6月15日：32人、22日：28人、応募制）

関連展覧会＝岡本太郎と縄文

プログラム

展覧会ツアー《私はだあれ？ アートな？に^{はてな}チャレンジ！》

鑑賞ワークショップ《太郎もビックリ？！ 名作なりきり大作戦！》

制作ワークショップ《オリジナル土器に挑戦！キミも縄文アーティスト》

部分拡大図やシルエット図版をヒントに作品を探すゲームをしながら展覧会を観覧した後、各自気になった作品についてクイズを作成しながら鑑賞を深めるワークショップを行なった。出品作品を参考にしてのオリジナル作品作りでは、岡本太郎と縄文の世界に対するイメージを広げることを目的とした。

ミュージアム・ミステリー2003ウィンター おとぎの国のふしぎな旅

開催日＝2月22日（土）、3月1日（土）

各日とも午前10時～午後4時

会場＝当館講堂・ホール・主展示室ほか

参加者＝小学3～6年生 計61人

（2月22日：30人、3月1日：31人、応募制）

ジュニアボランティア＝中高生 3名

関連展覧会＝絵本原画の世界展

プログラム

展覧会ツアー《空想遊覧－ストーリーのなぞを探せ！》

ワークショップ

《絵本の世界にワープ！キミだけのヒーローに大変身》

展覧会のテーマを強く反映し、お話しに当てはまる作品を探したり登場キャラクターが言っていることを考えてみるゲームを行ないながら展覧会を鑑賞。気になるキャラクターに扮してみるワークショップでは、自らの感動をイメージの中で自由にふくらませることができる絵本原画ならではの鑑賞体験を目指した。

なお、この回は中学生以上の希望者を募り、事前の研修と準備、当日の小学生参加者のサポートにあたるジュニアボランティアをまじえて開催した。



ミュージアム・ミステリー2002サマー



ミュージアム・ミステリー2003ウィンター



ジュニアボランティア活動風景

団体オリエンテーション

団体観覧者（10名以上）のうち希望するグループに対して、スライドを使用しながら当館の概要と開催中の展覧会の内容を紹介するオリエンテーションを実施した。

時間＝随時

会場＝当館講堂（事前申込制、無料）

平成13年度

関連展覧会	実施回数	利用者数
帯広美術館コレクション選集	3回	146人
アレクサンダー・カルダー展	13回	505人
荒木経惟写真展（貸館）	0回	0人
中国美術の精華	14回	436人
2001年シネマ・オデッセイ	11回	450人
バルビゾンと田園の画家たち	20回	1,084人
美術への扉コレクション十年十色	7回	262人

平成14年度

関連展覧会	実施回数	利用者数
さくらに見る日本の美	10回	349人
岡本太郎と縄文	14回	724人
ニルス＝ウド展	13回	1,005人
寺島春雄展	7回	207人
帯広美術館コレクション選集	9回	337人
北海道教職員美術展（貸館）	0回	0人
絵本原画の世界展	17回	792人

博物館実習

関係各大学の依頼により、学芸員資格取得希望生の学生を受け入れ博物館実習を実施した。

受入条件として、①帯広・十勝を中心とする地元出身者で、②美術（美学・美術史、美術教育、美術実技）を専攻としており、③卒業後に博物館勤務を現に希望する学生であることを原則とした。

平成13年度

受入期間＝9月18日(火)～28日(金) 9月25日(火／休館日)を除く10日間

受入人数＝1名(弘前大学)

実施日程

	午前10:00～12:00	午後1:00～4:30
9月18日(火)	ガイダンス 施設、展覧会見学	講義「生涯学習時代と美術館」 講義「帯広美術館の防災と防犯」 講義「教育普及活動の概要」
9月19日(水)	教育普及活動実習①(団体オリエンテーション)	講義「道立美術館の概要」 講義「美術館運営と予算の執行」 講義・実習「撮影機材の取扱い」
9月20日(木)	講義「帯広美術館の作品収集」 講義「展覧会の企画運営」	学芸実務実習①(展示記録作成)
9月21日(金)	講義「美術資料の収集と保存」	美術館実務実習(展示室監視業務)
9月22日(土)	ビデオ学習「美術作品の保存・取扱い」	教育普及活動実習②(キッズ・ミュージアム実施)
9月23日(日)	講義・実習「印刷物の編集作成」	学芸実務実習②(写真資料整理)
9月24日(月)	博物館施設自主見学①(神田日勝記念館)	
9月25日(火)	休日	
9月26日(水)	講義「教育行政と美術館」 講義「二次資料の収集・整理」	学芸実務実習③(図書資料整理)
9月27日(木)	学芸実務実習④(展覧会実務)	学芸実務実習⑤(展覧会実務)
9月28日(金)	学芸実務実習⑥(展覧会実務)	博物館施設自主見学②(帯広市児童会館、帯広百年記念館)

平成14年度

受入期間＝10月29日(火)～11月7日(木) 10日間

受入人数＝1名(聖心女子大学)

実施日程

	午前10:00～12:00	午後1:00～4:30
10月29日(火)	ガイダンス 施設、展覧会見学	美術館実務実習(展示室監視業務) 講義・実習「美術館の広報活動」 講義「教育普及活動の概要」 教育普及活動実習①(ミュージアム子どもフェスタ準備・打合)
10月30日(水)	講義「道立美術館の概要」 講義「美術館運営と予算の執行」 講義「生涯学習時代と美術館」 教育普及活動実習②(団体オリエンテーション)	講義「作品・資料の収集と保存」 教育普及活動実習③(ミュージアム子どもフェスタ準備・打合)
10月31日(木)	講義「地域社会と美術館・学芸員」 学芸実務実習①(二次資料整理)	講義「展覧会の企画運営」 教育普及活動実習④(ミュージアム子どもフェスタ準備・打合)
11月1日(金)	学芸実務実習②(展示記録作成)	教育普及活動実習⑤(子どもセミナー準備・打合)
11月2日(土)	教育普及活動実習⑥(子どもセミナー準備・打合)	教育普及活動実習⑦(子どもセミナー実施)
11月3日(日)	ビデオ学習「美術作品の保存・取扱い」 教育普及活動実習⑧(わくわくコンサート準備・打合)	教育普及活動実習⑨(わくわくコンサート実施)
11月4日(月)	ビデオ学習「美術作品の保存・取扱い」 教育普及活動実習⑩(ファミリー講演会準備・打合)	教育普及活動実習⑪(ファミリー講演会実施)
11月5日(火)	教育普及活動実習⑫(普及事業記録作成) 講義・実習「視聴覚機器の取扱い」	教育普及活動実習⑬(映写室スペシャル実施)
11月6日(水)	博物館施設自主見学①(神田日勝記念館)	
11月7日(木)	博物館施設自主見学②(帯広市児童会館)	博物館施設自主見学③(帯広百年記念館)

移動美術館

所蔵作品を広く紹介するべく平成10年度より行なっている事業。十勝、釧路、根室、網走といった北海道東部地域において年1回開催し、地域住民の美術鑑賞の機会を拡充しようと企画されたもので、平成13年度は根室管内中標津町、平成14年度は網走管内紋別市においてそれぞれ開催。当館コレクションのなかから、「バルビゾン派の絵画」「ヨーロッパのポスター」「道東の美術」の3つの分野の代表作50点を紹介した。

平成13年度

〈移動美術館2001〉中標津展
北海道立帯広美術館コレクション50選

会期＝平成13年10月10日（水）～10月14日（日） 5日間
午前10時～午後8時

会場＝中標津町総合文化会館 コミュニティホール
主催＝北海道立帯広美術館、中標津町教育委員会、
財団法人中標津町文化スポーツ振興財団

協力＝からまつの会、水彩画サークルWater Colors
観覧料＝無料
入場者数＝624人

関連事業

ビデオ映写会
「美の殿堂・オルセー美術館－リアリズムの道」
「美の殿堂・オルセー美術館－印象派の誕生」
日時＝会期中随時
会場＝中標津町総合文化会館 町民ホール

出品目録

■バルビゾン派の絵画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	J-B-C.コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0
2	J-B-C.コロー	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0×13.0
3	J-F.シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
4	Ch-E.ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865～70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
5	Ch-E.ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0
6	Ch-E.ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7
7	L.シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5
8	J.デュブレ	イギリス風景	1836	リトグラフ、紙	12.9×20.7
9	J.デュブレ	アランソン風景	1839	リトグラフ、紙	13.3×19.0
10	A.ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0
11	Ch.F.ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3
12	Ch.F.ドービニー	ヴィラーヴィル海岸	19世紀後半	エッチング、紙	9.2×19.8
13	C.トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7
14	K.ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0
15	J-F.ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0
16	J-F.ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
17	E-A.ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0
18	L.リッシュエ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
19	Th.ルソー	ビオーのサ克蘭ボの木	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.1×27.7
20	Th.ルソー	ビオーの平原	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	21.8×27.7



中標津展会場風景

■ヨローツパのポスター

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
21	R.ヴァンサン	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2
22	W.エルマン	フランス製ガソリン「アンタール」	1922	リトグラフ、紙	154.0×111.0
23	オガロ	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
24	カッサンドル	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
25	カッサンドル	ノルマンディー号—トランザトランティク総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
26	P.コラン	ジョセフィン・ペイカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0
27	A.シュープラク	フォーリー・ベルジュール「真珠のパレエ」	1885頃	リトグラフ、紙	74.0×49.3
28	H.deトゥールーズ=ロートレック	エグランティーヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.0×79.0
29	G.ド・フル	書籍「パリの暦」	1894	リトグラフ、紙	79.5×62.0
30	J.ナタン	ル・アーヴル港復興公債募集	1945以後	オフセット、紙	78.0×58.5
31	K.ファン・デル・ラーン	国立航空学校	1930頃	リトグラフ、紙	80.0×57.2
32	P.ボナール	「創作版画家展」ヴォアラール画廊	1896	リトグラフ、紙	64.5×47.0
33	A.M.ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
34	A.M.ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9
35	J.モレル	カンプロドン	1930	リトグラフ、紙	89.2×61.0

■道東ゆかりの美術

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
36	阿部貞夫	くまげらと摩周	1958 (昭和33)	木版、紙	37.9×27.0
37	池田良二	Window under the midnight sun (白夜の窓)	1988 (昭和63)	フォトエッチング、エッチング、 アクアチント、ドライポイント、 メゾチント、手漉き雁皮	50.0×50.0
38	伊藤隆二	池のほとり	1931 (昭和6)	油彩、キャンバス	72.8×91.0
39	岡沼淳一	far away	1992 (平成4)	埋もれ木 (ニレ)	18.5×48.5×44.0
40	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
41	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌの娘	1953 (昭和28)	オフセット、紙	103.0×73.0
42	多賀 新	魚No.17 (シーラカンス)	1979 (昭和54)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×60.0
43	手島圭三郎	しまふくろうの夢・古木	1982 (昭和57)	木版、紙	53.0×75.0
44	寺島春雄	無題	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	100.0×72.5
45	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木	115.0×30.0×50.0
46	長尾栄三	樹苑の秋	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	130.3×162.2
47	能勢眞美	初秋池畔	1942 (昭和17)	油彩、キャンバス	96.5×106.0
48	増田 誠	公園	1967-68 (昭和42-43)	油彩、キャンバス	37.9×45.5
49	望月正男	落日	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
50	矢柳 剛	飛んだえんぴつ、おとうさんのちんこ	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	各38.7×38.7 (2点)

平成14年度

〈移動美術館2002〉紋別展・紋別市立博物館開館記念
北海道立帯広美術館コレクション50選

会期＝平成14年6月4日(火)～6月9日(日) 6日間

午前9時30分～午後5時

会場＝紋別市立博物館 博物館市民ギャラリー

主催＝北海道立帯広美術館、紋別市教育委員会

協力＝紋別市立博物館さわやかボランティア、

紋別市立博物館友の会

観覧料＝無料

入場者数＝1,403人



紋別展会場風景

関連事業

ビデオ映写会

「ミレー～種まく人は今」

「風景画の世界」

日時＝会期中随時

会場＝紋別市立博物館 ホール

出品目録

■バルビゾン派の絵画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	J-B-C.コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0
2	J-B-C.コロー	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0×13.0
3	J-F.シュニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
4	Ch-E.ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865～70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
5	Ch-E.ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0
6	Ch-E.ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7
7	L.シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5
8	J.デュブレ	イギリス風景	1836	リトグラフ、紙	12.9×20.7
9	J.デュブレ	アランソン風景	1839	リトグラフ、紙	13.3×19.0
10	J.デュブレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7×67.3
11	Ch.F.ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3
12	Ch.F.ドービニー	ヴィラーヴィル海岸	19世紀後半	エッチング、紙	9.2×19.8
13	C.トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7
14	K.ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0
15	J-F.ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0
16	J-F.ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
17	E-A.ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0
18	L.リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
19	Th.ルソー	ビオーのサ克蘭ボの木	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	22.1×27.7
20	Th.ルソー	ビオーの平原	1848頃	クリシェ=ヴェール、紙	21.8×27.7

■ヨーロッパのポスター

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
21	オガロ	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
22	カッサンドル	北極星号ーフランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
23	カッサンドル	ノルマンディー号ートランザトランティク総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
24	カッサンドル (原画)	キナ酒「デュボネ」	1935	リトグラフ、紙	39.6×31.1
25	P.コラン	ジョセフィン・バイカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0
26	P.コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
27	J.シェレ	グレヴァン博物館 (文字刷り前のポスター)	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5
28	H.de トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
29	H.de トゥールーズ=ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバビロン」	1894	リトグラフ、紙	122.0×86.7
30	A.ベルジュヴァン	アヴランシュエモン・サン・ミシエル湾	1910頃	リトグラフ、紙	111.5×75.0
31	P.ペルトン	ノルマンディ、ブルターニュ西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
32	P.ボナール	「創作版画家展」ヴォラール画廊	1896	リトグラフ、紙	64.5×47.0
33	P.ボナール	美術雑誌「版画とポスター」	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0
34	A.M.ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
35	A.M.ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9
36	G.ルルー	万国博覧会「光学館」ー1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0

■道東ゆかりの美術

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
37	阿部貞夫	くまげらと摩周	1958 (昭和33)	木版、紙	100.0×76.0
38	池田良二	Window under the midnight sun (白夜の窓)	1988 (昭和63)	フォトエッチング、エッチング、 アクアチント、ドライポイント、 メゾチント、手漉き雁皮	105.7×75.4 96.7×58.4 39.6×31.1
39	伊藤隆二	池のほとり	1931 (昭和6)	油彩、キャンバス	80.0×60.0
40	岡沼淳一	far away	1992 (平成4)	埋もれ木 (ニレ)	80.0×60.0
41	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、板	116.5×84.5
42	渋谷栄一	楽園の調べC	1981 (昭和56)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	80.4×60.0
43	多賀 新	飛来	1977 (昭和52)	エッチング、アクアチント、紙	122.0×86.7
44	手島圭三郎	ふくろうと少女	1972 (昭和47)	木版、紙	111.5×75.0
45	寺島春雄	無題	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	106.1×78.8
46	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木	64.5×47.0
47	中江紀洋	HAHA (折り)	1994 (平成6)	スプルース、金属	83.0×61.0
48	能勢眞美	樹草	1973 (昭和48)	油彩、キャンバス	51.5×39.4
49	増田 誠	旧約聖書 十戒	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	97.5×35.9
50	矢柳 剛	最後の晩餐	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	78.5×60.0

芸術週間

道立文化施設では、道民が芸術に親しむ気運を醸成するべく、平成11年度より文化の日をはさむ11月1日から7日までを芸術週間として設定した。期間中は幅広い広報活動を行なうことで施設や事業の案内・周知に努めるとともに、一週間を通じて開館日と氏各種の教育普及事業を集中的に開催、またコレクション・ギャラリー観覧料を無料とすることで道民の関心を喚起して利用の促進を図った。

平成13年度

月 日	実 施 内 容
11月1日(木)	映写室スペシャル開催 「栄光のフィレンツェ・ルネサンス:夜明け～先駆者ジョット」
11月2日(金)	映写室スペシャル開催 「栄光のフィレンツェ・ルネサンス:美の革新者たち～ブルネレスキ、ドナテッロ、マザッチオ」
11月3日(土)	—
11月4日(日)	映写室スペシャル開催 「栄光のフィレンツェ・ルネサンス:画家・百花繚乱～フラ・アンジェリコ、ボッティチェリ」
11月5日(月)	臨時開館
11月6日(火)	映写室スペシャル開催 「栄光のフィレンツェ・ルネサンス:三巨匠～ミケランジェロ、レオナルド、ラファエロ」
11月7日(水)	開館10周年記念フォーラム開催 「市民と美術館」

* 期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「近代ポスターの父 ジョー
ル・シェレ」
主展示室「開館10周年記念 バルビゾンと田園の画家
たち」

平成14年度

月 日	実 施 内 容
11月1日(金)	映写室スペシャル開催 「故宮:神人とともにあり～先史・殷・周」 「故宮:百家争鳴乱世に競う～春秋戦国」 「故宮:皇帝天下を制す～秦・漢」
11月2日(土)	ミュージアム子どもフェスタ・子どもセミナー開催 「お砂糖アートにチャレンジ！」
11月3日(日)	ミュージアム子どもフェスタ・わくわくコンサート開催 「ジャズライブ:過去、現在そして未来へ」
11月4日(月)	ミュージアム子どもフェスタ・ファミリー講演会開催 「マンガと私～帯広での少女時代から」
11月5日(火)	臨時開館 映写室スペシャル開催 「故宮:書聖誕生～六朝」 「故宮:仏の道はるか～五胡十六国・北魏」 「故宮:長安の春～隋・唐」
11月6日(水)	映写室スペシャル開催 「故宮:大唐の落日～唐・五代」 「故宮:夢の都開封～北宋」 「故宮:美は江南にあり～南宋」
11月7日(木)	映写室スペシャル開催 「故宮:亡国の文人たち～元」 「故宮:紫禁城風雲録～明」 「故宮:最後の王朝～清」

* 期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「でこぼこ・ざらざら一見
る触感」
主展示室「凍土:魂のマチエール 寺島春雄展」

ミュージアム子どもフェスタ

子供を中心に家族、親子連れを対象とした事業を3日間連続で開催。美術館での多彩な体験活動を通じ、芸術の楽しさを発見してもらうとともに、美術館に対する親しみと関心を深めてもらうねらいのもと実施した。

プログラム

子どもセミナー

「お砂糖アートにチャレンジ！」

日 時＝平成14年11月2日（土） 午後1時～4時

会 場＝当館講堂（応募制）

内 容＝シュガークラフトの作り方をわかりやすく伝え、オーナメント作りを行なった。進行・指導は、博物館実習生が担当。

参加者数＝小学生 18人



子どもセミナー

わくわくコンサート

「ジャズライブ：過去、^{きのう}現在、^{きょう}そして未来へ」

演 奏＝田野城寿男氏（サクソ）、廣樹輝一氏（キーボード）

日 時＝平成14年11月3日（日）午後2時～3時30分

会 場＝当館コレクション・ギャラリー（応募制）

内 容＝「虹の彼方へ」「いつか王子様が」など幅広い年代に親しまれる曲目を演奏。

参加者数＝155人



わくわくコンサート

ファミリー講演会

「マンガと私ー帯広での少女時代から」

講 師＝いがらしゆみこ氏（漫画家）

日 時＝平成14年11月4日（月／振替休日）午後2時～4時

会 場＝当館講堂（聴講無料）

聴講者数＝72人



ファミリー講演会

その他

開館10周年記念フォーラム「市民と美術館」

今日、美術館運営の現場では、さまざまな形での市民との連携が模索されている。美術館ボランティアの導入、学校や地域社会との連携、教育プログラムの多面的展開、あるいは市民団体の運営参画など、各地で新たな取り組みが試行されている。

開館10周年を記念して開催したこのフォーラムでは、こうした時代の流れを見据え、市民文化活動に携わるさまざまな方々を迎え、美術館活動の現状を検討し、その将来性を探った。

日 時＝平成13年11月7日（水）午後1時～4時30分

会 場＝当館講堂（聴講無料）

聴講者数＝56人

講話（午後1時～1時30分）

「生涯学習時代と美術館」

講師＝小野寺 浩（当館館長）

基調講演（午後1時30分～2時30分）

「市民活動の場としての美術館」

講師＝廣瀬隆人氏（宇都宮大学助教授）

実践報告とシンポジウム（午後2時45分～4時30分）

「市民と美術館」

発表者＝内田祐一氏（帯広百年記念館学芸員）

小笠原洋子氏

（帯広美術館ボランティアしらかばの会会長）

吉野隆幸氏

（トヨタ・アートマネジメント講座帯広セッション実行委員会実行委員長）

助言者＝廣瀬隆人氏（宇都宮大学助教授）

小野寺 浩（当館館長）

司 会＝寺嶋弘道（当館学芸課長）



「生涯学習時代と美術館」小野寺館長



「市民活動の場としての美術館」廣瀬隆人氏



実践報告とシンポジウム

ロビーコンサート

平成13年度特別展「映画ポスターの20世紀」に関連して、よく知られた映画音楽を楽しむコンサートを実施した。

日 時＝平成13年9月15日（土） 午後2時～3時30分
会 場＝当館ロビー（参加無料）



映画音楽のつどい

事業名	演奏者	演奏者所属（職業等）	関連展覧会	参加者数
映画音楽のつどい	高橋哲夫氏 中村吉昭氏	Grazie95、フルート・オカリナ奏者 Grazie95、ギター奏者	2001年シネマ・オデッセイ	107人

ぐるっと緑ヶ丘 統一イベント

当館をふくめ、帯広市緑ヶ丘公園内に立地する5施設が連携し、公園一帯の活性化を図るねらいのもと、毎年秋期に展開する「ぐるっと緑ヶ丘」事業。平成14年度は、期間中に事業の普及を図るため、各施設がそれぞれの魅力を生かした催しを同一の日に実施。当館では親子連れを対象としたプログラムを行なった。

日時＝平成14年10月6日（日）午後1時～、午後3時～
会場＝当館講堂（応募制）



親子で名画のパズルづくり

事業名	内 容	関連展覧会	参加者数
親子で名画のパズルづくり	美術館と開催展覧会のオリエンテーション、 出品作品を形取ったパズル作り	寺島春雄展	36人

絵本の読み聞かせ

平成14年度特別展「絵本原画の世界展」に関連して、出品作品を中心とした絵本の読み聞かせを開催。市民グループの協力により実施した。

日時＝会期中、毎週日曜日 午前11時～11時30分
会場＝当館講堂（参加無料）



事業風景（帯広図書館友の会）

開催期日	実施団体名	関連展覧会	聴講者数
平成15年2月2日（日）	十勝童話会	絵本原画の世界展	53人
2月9日（日）	森の里本を楽しむ会		62人
2月16日（日）	よみきかせの会・パパール		69人
2月23日（日）	フレディの会		107人
3月2日（日）	子どもと本をたのしむ会		132人
3月9日（日）	帯広図書館友の会		87人
3月16日（日）	この本だいすきの会帯広支部		83人
3月23日（日）	月曜読書会		145人

平成13年度 作品収集状況

区 分	前年度末 作品収蔵数	平成13年度収集数				作 品 総 数	受 託 作 品		
		購 入	受 贈	委託制作	計		前年度末	平成13年度	計
油 彩	55 (9.7%)	1	2	0	3	58 (9.9%)	29	0	29
日 本 画	8 (1.4%)	0	0	0	0	8 (1.4%)	1	0	1
水 彩・素 描	21 (3.7%)	0	0	0	0	21 (3.6%)	10	0	10
版 画	230 (40.5%)	1	6	0	7	237 (40.7%)	1	0	1
彫 塑	6 (1.1%)	0	4	0	4	10 (1.7%)	1	0	1
工 芸	1 (0.2%)	0	0	0	0	1 (0.2%)	0	0	0
デ ザ イ ン	239 (42.1%)	0	0	0	0	239 (41.0%)	0	0	0
写 真	8 (1.4%)	0	1	0	1	9 (1.5%)	0	0	0
合 計	568 (100%)	2	13	0	15	583 (100%)	42	0	42

購 入

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2001014	油彩	アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩、キャンバス	75.0×150.4
2001015	版画	サム・フランシス	パサディナ・ボックス	1963～1966	リトグラフ、アクリリック、紙	132.5×48.5他 (13点組)

受 贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	寄贈者
2001001	油彩	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩、キャンバス	60.0×73.0	帯広美術館振興会
2001002	油彩	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7×67.3	帯広美術館ボランティアしらかぼの会
2001003	版画	多賀 新	バイオリニストⅠ	1992 (平成4)	エッチング、紙	33.0×36.5	多賀 新 氏
2001004	版画	多賀 新	太古の夢 (ユニコーン)	1993 (平成5)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.1	多賀 新 氏
2001005	版画	多賀 新	夢神	1993 (平成5)	エッチング、紙	29.5×52.0	多賀 新 氏
2001006	版画	多賀 新	秋草と鶉図	1998 (平成10)	エッチング、紙	36.5×24.0	多賀 新 氏
2001007	版画	多賀 新	伝・源頼朝・新像 (自画)	1998 (平成10)	エッチング、紙	24.0×18.2	多賀 新 氏
2001008	版画	多賀 新	スフィンクス (土方義氏に捧ぐ)	2000 (平成12)	フォトエッチング、紙	30.5×44.5	多賀 新 氏
2001009	彫塑	鳴海寛理	呼吸構築体ー接続領域#2	2001 (平成13)	木、鉄、真鍮	110.0×110.0×211.0	鳴海 寛理氏
2001010	彫塑	鳴海寛理	呼吸構築体ー接続領域#3	2001 (平成13)	木、鉄、真鍮	120.0×60.0×92.5	鳴海 寛理氏
2001011	彫塑	富谷道信	WAVE	1972 (昭和47)	木	96.7×36.1×15.7	富谷サキ子氏
2001012	彫塑	富谷道信	雲は切れて晴れるかも知れない	1973 (昭和48)	ブロンズ	45.0×13.5×43.0	富谷サキ子氏
2001013	写真	多賀 新	フレンドリー	1989～1990 (平成元～2)	ミクストメディア	60.3×120.7×奥行10.2	多賀 新 氏

*寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ

平成14年度 作品収集状況

区 分	前年度末 作品収蔵数	平成14年度収集数				作 品 総 数	受 託 作 品		
		購 入	受 贈	委託制作	計		前年度末	平成14年度	計
油 彩	58 (9.9%)	0	2	0	2	60 (9.6%)	29	0	29
日 本 画	8 (1.4%)	0	0	0	0	8 (1.3%)	1	0	1
水 彩・素 描	21 (3.6%)	0	0	0	0	21 (3.3%)	10	0	10
版 画	237 (40.7%)	4	12	0	16	253 (40.5%)	1	0	1
彫 塑	10 (1.7%)	0	0	0	0	10 (1.6%)	1	0	1
工 芸	1 (0.2%)	0	0	0	0	1 (0.2%)	0	0	0
デ ザ イ ン	239 (41.0%)	0	0	0	0	239 (38.2%)	0	0	0
写 真	9 (1.5%)	9	15	0	24	33 (5.3%)	0	0	0
合 計	583 (100%)	13	29	0	42	625 (100%)	42	0	42

購 入

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2002001	版画	池田 緑	Silent Breath サホロの7ヶ月／ 12ヶ月／21ヶ月／24ヶ月	2001～2002 (平成13～14)	コロタイプ、紙	各13.0×10.0 (12点組)
2002002	版画	佐藤克教	不毛の驕り	2000 (平成12)	木版、紙	73.0×90.5
2002003	版画	佐藤克教	土色の午後	2002 (平成14)	木版、紙	158.9×158.1
2002004	版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	Fー111	1974	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	92.8×190.8/92.8×178.0 92.8×190.8/92.8×178.0 (4点組)
2002005	写真	アルフレッド・ブリッケ	狼溪谷 フォンテーヌブローの森	1863/1865	鶏卵紙プリント	17.7×24.0
2002006	写真	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3×25.0
2002007	写真	シャルル・ファマン	〈沼地〉	1874頃	鶏卵紙プリント	20.3×25.9
2002008	写真	シャルル・ファマン	〈樹木〉	1874頃	鶏卵紙プリント	25.9×19.5
2002009	写真	シャルル・ファマン	〈荷馬車〉	1874頃	鶏卵紙プリント	12.0×17.4
2002010	写真	シャルル・ファマン	〈羊の群れ〉	1874頃	鶏卵紙プリント	11.4×16.4
2002011	写真	アシーユ・キネ	フォンテーヌブローの森	1868頃	鶏卵紙プリント	24.9×19.3
2002012	写真	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.3×24.7
2002013	写真	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×23.5

受 贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	寄贈者
2002014	油彩	矢柳 剛	蓼食う虫	1974 (昭和49)	油彩、リキテックス、キャンバス	162.3×130.3	矢柳 剛氏
2002015	油彩	矢柳 剛	生命のバランス	1983 (昭和58)	油彩、リキテックス、キャンバス	162.0×130.5	矢柳 剛氏
2002016	版画	矢柳 剛	愛の動物誌 (J)	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、紙	49.0×73.5	矢柳 剛氏
2002017	版画	矢柳 剛	太陽に向かって走れ	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	27.0×89.8	矢柳 剛氏
2002018	版画	矢柳 剛	宇宙人からのメッセージ	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	28.3×91.0	矢柳 剛氏
2002019	版画	矢柳 剛	子供の夢	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	26.8×89.8	矢柳 剛氏
2002020	版画	矢柳 剛	雑草マンダラ (A)	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	69.5×47.9	矢柳 剛氏
2002021	版画	矢柳 剛	雑草マンダラ (B)	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	74.9×52.8	矢柳 剛氏
2002022	版画	矢柳 剛	雑草マンダラ (C)	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	75.0×53.0	矢柳 剛氏
2002023	版画	矢柳 剛	生と死の世界 (1)	1991 (平成3)	シルクスクリーン、手彩色、紙	76.8×57.0	矢柳 剛氏
2002024	版画	矢柳 剛	生と死の世界 (2)	1991 (平成3)	シルクスクリーン、手彩色、紙	79.7×57.0	矢柳 剛氏
2002025	版画	池田 緑	Silent Breath サホロの7ヶ月／ 12ヶ月／21ヶ月／24ヶ月	2001～2002 (平成13～14)	インクジェットプリント、紙	各58.2×33.5 (14点組)	池田 緑氏
2002026	版画	佐藤克教	土色の午後	2001 (平成13)	木版、紙	75.0×103.0	佐藤克教氏
2002027	版画	佐藤克教	冥い海	2001 (平成13)	木版、紙	75.0×102.6	佐藤克教氏
2002028	写真	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×25.0	石原悦郎氏
2002029	写真	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	24.7×19.2	石原悦郎氏
2002030	写真	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.2×24.3	石原悦郎氏
2002031	写真	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	24.2×19.7	石原悦郎氏
2002032	写真	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	18.3×24.8	石原悦郎氏
2002033	写真	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0×24.8	石原悦郎氏
2002034	写真	シャルル・ファマン	〈牛〉	1874頃	鶏卵紙プリント	11.7×16.7	石原悦郎氏
2002035	写真	シャルル・ファマン	〈雌牛〉	1874頃	鶏卵紙プリント	10.4×17.2	石原悦郎氏
2002036	写真	ウィリアム・ハリスン・メイソン・ツィーム	フォンテーヌブローの森	1870頃	鶏卵紙プリント	17.4×19.5	石原悦郎氏
2002037	写真	A. トーバン	〈自然の習作〉	19世紀後半	鶏卵紙プリント	11.8×16.8	石原悦郎氏
2002038	写真	A. トーバン	〈自然の習作〉	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.0×23.9	石原悦郎氏
2002039	写真	A. トーバン	〈自然の習作〉	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.2×25.1	石原悦郎氏
2002040	写真	ジェグレル	〈自然の習作〉	1870年代	鶏卵紙プリント	25.7×21.0	石原悦郎氏
2002041	写真	ジェグレル	〈自然の習作〉	1870年代	鶏卵紙プリント	21.3×26.7	石原悦郎氏
2002042	写真	不詳	〈自然の習作〉	19世紀後半	鶏卵紙プリント	19.3×22.6	石原悦郎氏

* 寸法は縦×横

図版目録

凡 例

1. この目録には、平成13年4月1日から平成15年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 油 彩
 2. 版 画
 3. 彫 塑
 4. 写 真
3. 各分野ごとに作品は国内作品、国外作品の順にまとめ、国内作家は姓の50音順、国外作家は姓のアルファベット順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は制作年順に配列し、制作年不詳の作品はその末尾にまとめた。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。

作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法・材質、寸法、初出展覧会(開催年/会場/受賞等)、収集年度・収蔵の経緯、作品番号(収集区分)
5. データ記載事項のうち、不詳のものは表記を省略した。
6. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品には縦×横、レリーフ状の作品には縦×横×奥行、立体作品には幅×奥行×高さを示した。また、組作品のなかには、主要な1点を選択し、その寸法を記載したものがある。
7. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道東の美術:十勝・釧路・根室・網走の北海道東部4地域にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート:近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西洋の美術:バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品
8. 収集区分の記載にあたり、複数の区分を併記したものがある。

油 彩

矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933（昭和8）～

蓼食う虫
Every Insect as it Loves

1974（昭和49）
油彩、リキテックス、キャンバス
162.3×130.3
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002014（道東の美術）



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933（昭和8）～

生命のバランス
Balance of Life

1983（昭和58）
油彩、リキテックス、キャンバス
162.0×130.5
個展（1984/新宿ワシントンホテル）
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002015（道東の美術）



Gustave COURBET
ギュスターヴ・クールベ
1819～1877

釣り人のいる風景
Landscape with a Fisherman

1870
油彩、キャンバス
60.0×73.0
平成13年度・帯広美術館振興会寄贈
2001001（西洋の美術）



Jules DUPRÉ
ジュール・デュプレ
1811～1889

ベリー地方の農家
Farmhouse in Berry

1830年代
油彩、キャンバス
45.7×67.3
平成13年度・帯広美術館ボランティアしらかばの会寄贈
2001002（西洋の美術）



Alfred de KNYFF
アルフレッド・ド・クニフ
1819～1885

春の水辺
A Spring Marsh

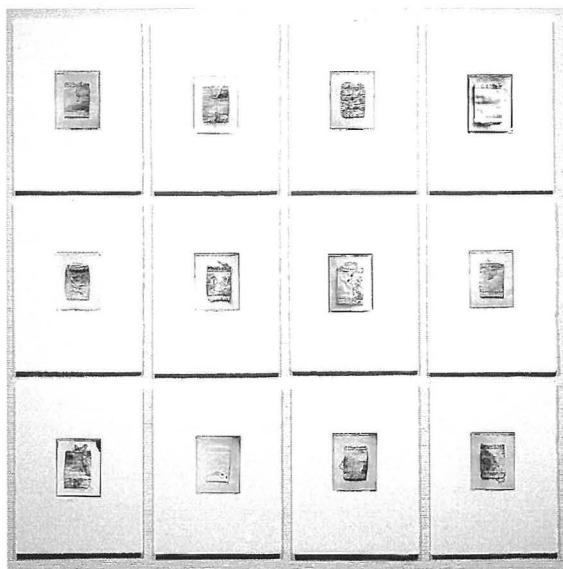
1875頃
油彩、キャンバス
75.0×150.4
サロン（1875/パリ）
平成13年度・購入
2001014（西洋の美術）



版 画

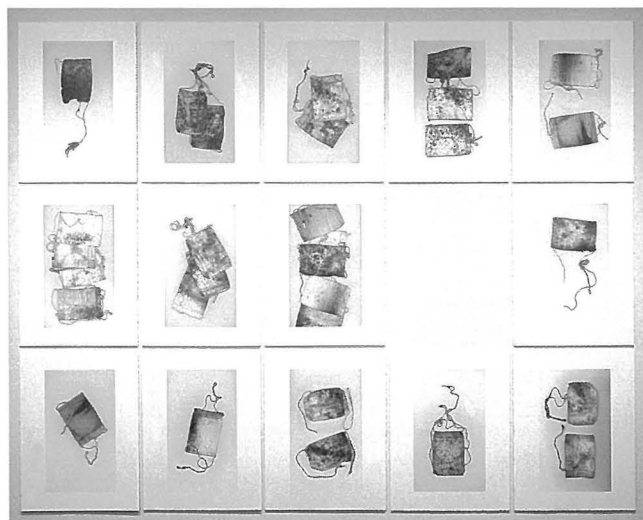
池田 緑
IKEDA Midori
1943（昭和18）～

Silent Breath サホロの7ヶ月/12ヶ月/21ヶ月/24ヶ月
Silent Breath for 7months,12months,21months,24manths in Sahoro
2001（平成13）～2002（平成14）
コロタイプ、紙
各13.0×10.0（12点組）
十勝の新時代V池田緑展（2002/北海道立帯広美術館）
平成14年度・購入
2002001（道東の美術/プリントアート）



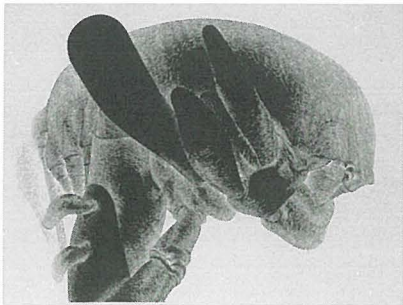
池田 緑
IKEDA Midori
1943（昭和18）～

Silent Breath サホロの7ヶ月/12ヶ月/21ヶ月/24ヶ月
Silent Breath for 7months,12months,21months,24manths in Sahoro
2001（平成13）～2002（平成14）
インクジェットプリント、紙
各58.2×33.5（14点組）
十勝の新時代V池田緑展（2002/北海道立帯広美術館）
平成14年度・池田緑氏寄贈
2002025（道東の美術/プリントアート）



佐藤 克教
SATO Yoshinori
1948（昭和23）～2003（平成15）

不毛の騷り
Approaching Sterility
2000（平成12）
木版、紙
73.0×90.5
第56回全道展（2001/札幌市民ギャラリー/会員推挙）
平成14年度・購入
2002002（道東の美術/プリントアート）



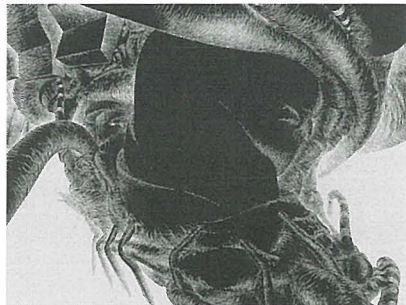
佐藤 克教
SATO Yoshinori
1948（昭和23）～2003（平成15）

土色の午後
Afternoon in Paleness
2001（平成13）
木版、紙
75.0×103.0
第2回飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（2001/高山市民文化会館）
平成14年度・佐藤克教氏寄贈
2002026（道東の美術/プリントアート）



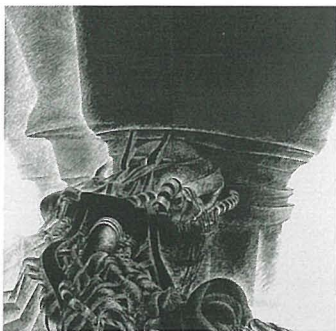
佐藤 克教
SATO Yoshinori
1948（昭和23）～2003（平成15）

冥い海
Gloomy Sea
2001（平成13）
木版、紙
75.0×102.6
神奈川国際版画トリエンナーレ2001（2001/神奈川県民ホールギャラリー）
平成14年度・佐藤克教氏寄贈
2002027（道東の美術/プリントアート）



佐藤 克教
SATO Yoshinori
1948（昭和23）～2003（平成15）

土色の午後
Afternoon in Paleness
2002（平成14）
木版、紙
158.9×158.1
第77回平原社展（2002/藤丸7階カルチャーホール/帯広）
平成14年度・購入
2002003（道東の美術/プリントアート）



多賀 新
TAGA Shin
1946（昭和21）～

バイオリニストⅠ
Violinist I
1992（平成4）
エッチング、紙
33.0×36.5
第60回日本版画協会展（1992/東京都美術館）
平成13年度・多賀新氏寄贈
2001003（道東の美術/プリントアート）



多賀 新
TAGA Shin
1946（昭和21）～

太古の夢（ユニコーン）
Ancient Dream, Unicorn
1993（平成5）
エッチング、アクアチント、紙
36.5×23.1
第10回版画日動展（1993/日動画廊、東京）
平成13年度・多賀新氏寄贈
2001004（道東の美術/プリントアート）



多賀 新
TAGA Shin
1946（昭和21）～

夢神
Lord of Dream
1993（平成5）
エッチング、紙
29.5×52.0
個展（1993/市川画廊、市川）
平成13年度・多賀新氏寄贈
2001005（道東の美術/プリントアート）



多賀 新
TAGA Shin
1946（昭和21）～

秋草と鶉図
Autumn Flowers and Quails
1998（平成10）
エッチング、紙
36.5×24.0
個展（1998/養清堂画廊、東京）
平成13年度・多賀新氏寄贈
2001006（道東の美術/プリントアート）



多賀 新
TAGA Shin
1946（昭和21）～

伝・源頼朝・新像（自画）
The Image of MINAMOTO Yoritomo, Self-portrait
1998（平成10）
エッチング、紙
24.0×18.2
個展（1998/養清堂画廊、東京）
平成13年度・多賀新氏寄贈
2001007（道東の美術/プリントアート）



多賀 新
TAGA Shin
1946 (昭和21) ~

スフィンクス (土方巽氏に捧ぐ)
Sphinx, Homage to HIJIKATA Tatsumi

2000 (平成12)
フォトエッチング、紙
30.5×44.5
個展 (2001/平安画廊、京都)
平成13年度・多賀新氏寄贈
2001008 (道東の美術/プリントアート)



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933 (昭和8) ~

愛の動物誌 (J)
Fauna of Love (J)

1972 (昭和47)
シルクスクリーン、紙
49.0×73.5
現代日本の鳥瞰 (1972/京都国立近代美術館)
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002016 (道東の美術/プリントアート)



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933 (昭和8) ~

太陽に向かって走れ
Run toward the Sun

1979 (昭和54)
シルクスクリーン、紙
27.0×89.8
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002017 (道東の美術/プリントアート)



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933 (昭和8) ~

宇宙人からのメッセージ
Message from Spacemen

1979 (昭和54)
シルクスクリーン、紙
28.3×91.0
日本現代版画展 (1981/モールギャラリー、ロンドン)
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002018 (道東の美術/プリントアート)



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933 (昭和8) ~

子供の夢
Children's Dream

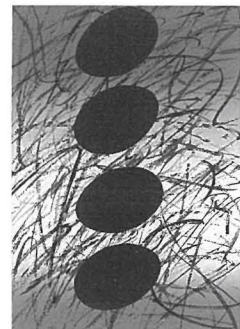
1979 (昭和54)
シルクスクリーン、紙
26.8×89.8
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002019 (道東の美術/プリントアート)



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933 (昭和8) ~

雑草マンダラ (A)
Mandala with Weeds (A)

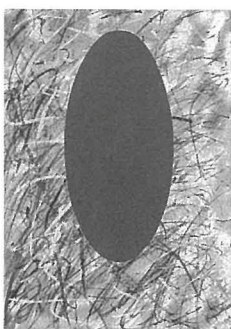
1989 (平成元)
シルクスクリーン、紙
69.5×47.9
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002020 (道東の美術/プリントアート)



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933 (昭和8) ~

雑草マンダラ (B)
Mandala with Weeds (B)

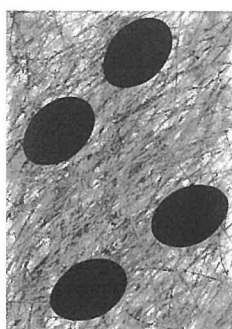
1989 (平成元)
シルクスクリーン、紙
74.9×52.8
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002021 (道東の美術/プリントアート)



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933 (昭和18) ~

雑草マンダラ (C)
Mandala with Weeds (C)

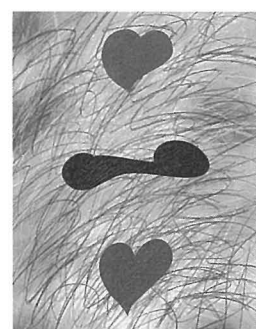
1989 (平成元)
シルクスクリーン、紙
75.0×53.0
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002022 (道東の美術/プリントアート)



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933 (昭和8) ~

生と死の世界 (1)
World of Life and Death (1)

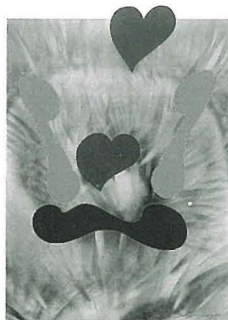
1991 (平成3)
シルクスクリーン、手彩色、紙
76.8×57.0
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002023 (道東の美術/プリントアート)



矢柳 剛
YAYANAGI Gō
1933（昭和8）～

生と死の世界（2）
World of Life and Death（2）

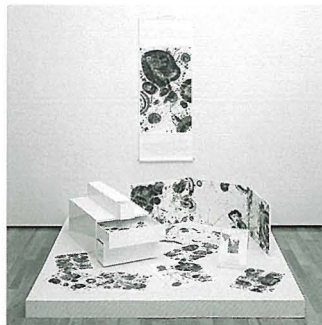
1991（平成3）
シルクスクリーン、手彩色、コラージュ、紙
79.7×57.0
平成14年度・矢柳剛氏寄贈
2002024（道東の美術/プリントアート）



Sam FRANCIS
サム・フランシス
1923～1994

パサディナ・ボックス
Pasadena Box

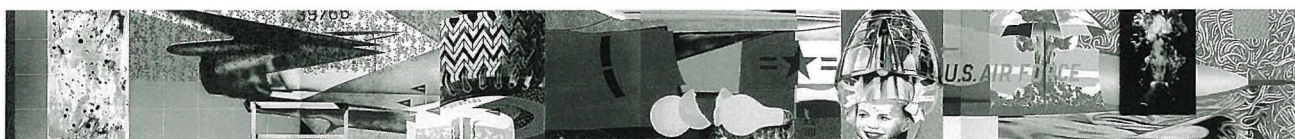
1963～1966
リトグラフ、アクリリック、紙
132.5×48.5など（13点組）
個展（1964/パサディナ美術館、カリフォルニア/13点中11点出品）
平成13年度・購入
2001015（プリントアート）



James ROSENQUIST
ジェームズ・ローゼンクイスト
1933～

F-111

1974
リトグラフ、シルクスクリーン、紙
92.8×190.8/92.8×178.0/92.8×190.8/92.8×178.0（4点組）
平成14年度・購入
2002004（プリントアート）



彫 塑

富谷 道信
TOMIYA Michinobu
1935（昭和10）～1984（昭和59）

WAVE

1972（昭和47）
木
96.7×36.1×15.7
第27回行動展（1972/東京都美術館）
平成13年度・富谷サキ子氏寄贈
2001011（道東の美術）



富谷 道信
TOMIYA Michinobu
1935（昭和10）～1984（昭和59）

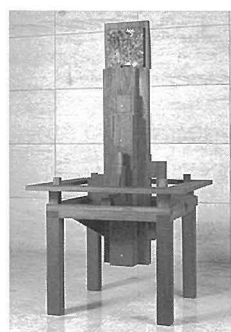
雲は切れて晴れるかも知れない
When the Clouds are Blown away
1973（昭和48）
ブロンズ
45.0×13.5×43.0
第29回行動展（1974/東京都美術館）
平成13年度・富谷サキ子氏寄贈
2001012（道東の美術）



鳴海 寛理
NARUMI Kanri
1960（昭和35）～

呼吸構築体一接続領域#2 Construction of the Breath - Inter Face#2

2001（平成13）
木、鉄、真鍮
110.0×110.0×211.0
個展（2001/スカルプチャースタジオ・カンリ、帯広）
平成13年度・鳴海寛理氏寄贈
2001009（道東の美術）



鳴海 寛理
NARUMI Kanri
1960（昭和35）～

呼吸構築体一接続領域#3 Construction of the Breath - Inter Face#3

2001（平成13）
木、鉄、真鍮
120.0×60.0×92.5
個展（2001/スカルプチャースタジオ・カンリ、帯広）
平成13年度・鳴海寛理氏寄贈
2001010（道東の美術）

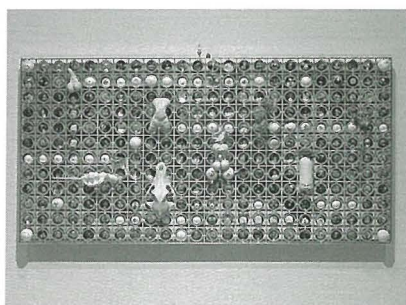


写真

多賀 新
TAGA Shin
1946（昭和21）～

フレンドリー
Friendly

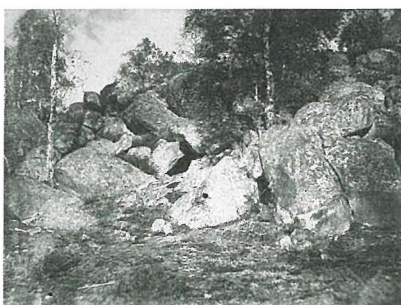
1989（平成元）～1990（平成2）
ミクストメディア
60.3×120.7×10.2
シュルレアリスムの視点Part II（2000/スパンアートギャラリー、東京）
平成13年度・多賀新氏寄贈
2001013（道東の美術/プリントアート）



Alfred BRIQUET
アルフレッド・ブリッケ
不詳

狼溪谷 フォンテーヌブローの森
Valley of Fontainebleau

1863/1865
鶏卵紙プリント
17.7×24.0
平成14年度・購入
2002005（プリントアート/西洋の美術）



Charles FAMIN
シャルル・ファマン
不詳

ダニョーの沼
Marsh of Dagneau

1874
鶏卵紙プリント
19.3×25.0
平成14年度・購入
2002006（プリントアート/西洋の美術）



Charles FAMIN
シャルル・ファマン
不詳

〈沼地〉
〈A Marshy Place〉

1874頃
鶏卵紙プリント
20.3×25.9
平成14年度・購入
2002007（プリントアート/西洋の美術）



Charles FAMIN
シャルル・ファマン
不詳

〈樹木〉
〈Trees〉

1874頃
鶏卵紙プリント
25.9×19.5
平成14年度・購入
2002008（プリントアート/西洋の美術）



Charles FAMIN
シャルル・ファマン
不詳

〈荷馬車〉
〈A Wagon〉

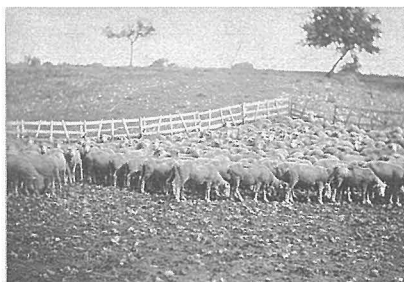
1874頃
鶏卵紙プリント
12.0×17.4
平成14年度・購入
2002009（プリントアート/西洋の美術）



Charles FAMIN
シャルル・ファミン
不詳

〈羊の群れ〉
〈Sheeps〉

1874頃
鶏卵紙プリント
11.4×16.4
平成14年度・購入
2002010（プリントアート/西洋の美術）



Charles FAMIN
シャルル・ファミン
不詳

〈牛〉
〈Cattle〉

1874頃
鶏卵紙プリント
11.7×16.7
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002034（プリントアート/西洋の美術）



Charles FAMIN
シャルル・ファミン
不詳

〈雌牛〉
〈A Cow〉

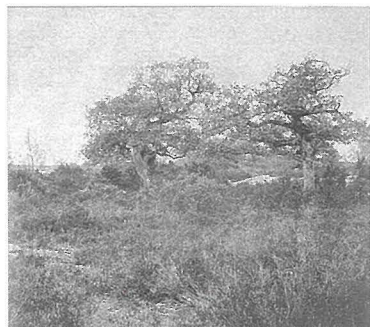
1874頃
鶏卵紙プリント
10.4×17.2
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002035（プリントアート/西洋の美術）



William-H. HARRISON / Maison ZIEM
ウィリアム・H.ハリソン / メイソン・ツィーム
不詳～1893 / 不詳

フォンテーヌブローの森
Forest of Fontainebleau

1870頃
鶏卵紙プリント
17.4×19.5
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002036（プリントアート/西洋の美術）



Achille QUINET
アシーユ・キネ
不詳～1900

フォンテーヌブローの森
Forest of Fontainebleau

1868頃
鶏卵紙プリント
24.9×19.3
平成14年度・購入
2002011（プリントアート/西洋の美術）



Achille QUINET
アシーユ・キネ
不詳～1900

自然の習作
An Etude on Nature

1868頃
鶏卵紙プリント
19.3×24.7
平成14年度・購入
2002012（プリントアート/西洋の美術）



Achille QUINET
アシーユ・キネ
不詳～1900

自然の習作
An Etude on Nature

1868頃
鶏卵紙プリント
19.5×23.5
平成14年度・購入
2002013（プリントアート/西洋の美術）



Achille QUINET
アシーユ・キネ
不詳～1900

自然の習作
An Etude on Nature

1868頃
鶏卵紙プリント
19.5×25.0
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002028（プリントアート/西洋の美術）



Achille QUINET
アシーユ・キネ
不詳～1900

自然の習作
An Etude on Nature

1868頃
鶏卵紙プリント
24.7×19.2
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002029（プリントアート/西洋の美術）



Achille QUINET
アシーユ・キネ
不詳～1900

自然の習作
An Etude on Nature

1868頃
鶏卵紙プリント
19.2×24.3
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002030（プリントアート/西洋の美術）



Achille QUINET
アシーユ・キネ
不詳～1900

自然の習作
An Etude on Nature

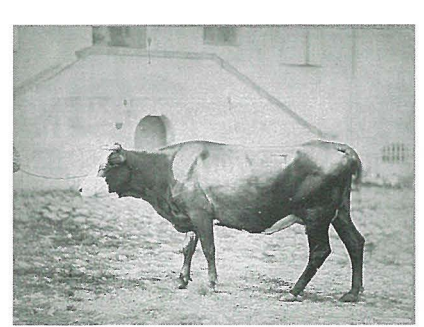
1868頃
鶏卵紙プリント
24.2×19.7
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002031（プリントアート/西洋の美術）



Achille QUINET
アシーユ・キネ
不詳～1900

自然の習作
An Etude on Nature

1868頃
鶏卵紙プリント
18.3×24.8
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002032（プリントアート/西洋の美術）



Achille QUINET
アシーユ・キネ
不詳～1900

自然の習作
An Etude on Nature

1868頃
鶏卵紙プリント
19.0×24.8
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002033（プリントアート/西洋の美術）



A.TAUPIN
A.トーパン
不詳

〈自然の習作〉
〈An Etude on Nature〉

19世紀後半
鶏卵紙プリント
11.8×16.8
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002037（プリントアート/西洋の美術）



A.TAUPIN
A.トーパン
不詳

〈自然の習作〉
〈An Etude on Nature〉

19世紀後半
鶏卵紙プリント
18.0×23.9
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002038（プリントアート/西洋の美術）



A.TAUPIN
A.トーパン
不詳

〈自然の習作〉
〈An Etude on Nature〉

19世紀後半
鶏卵紙プリント
18.2×25.1
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002039（プリントアート/西洋の美術）



ZIÉGLER
ジエグレール
不詳

〈自然の習作〉
〈An Etude on Nature〉

1870年代
鶏卵紙プリント
25.7×21.0
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002040（プリントアート/西洋の美術）



ZIÉGLER
ジエグレール
不詳

〈自然の習作〉
〈An Etude on Nature〉

1870年代
鶏卵紙プリント
21.3×26.7
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002041（プリントアート/西洋の美術）



Anonymous
不詳

〈自然の習作〉
〈An Etude on Nature〉

19世紀後半
鵝卵紙プリント
19.3×22.6
平成14年度・石原悦郎氏寄贈
2002042（プリントアート/西洋の美術）



美術作品の貸出

平成13年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
油彩	伊藤隆二	池のほとり	帯広百年記念館	平成13年10月23日	「よみがえった絵画」展出品* (帯広百年記念館)
油彩	伊藤隆二	曇り日		〃	
油彩	伊藤隆二	裏門		平成13年11月28日	
油彩	伊藤隆二	初秋			
油彩	神田日勝	瘦馬			
油彩	神田日勝	画室E			
油彩	神田日勝	人と牛B			
油彩	福井正治	サーカスの祭り			
油彩	福井正治	北方村落A			

平成14年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
版画	池田 緑	My Own Specimen (1943年4月3日に生まれて)	芸術の森美術館	平成14年4月18日	「現代・〈版〉展」出品 (芸術の森美術館)
				〃 平成14年6月27日	
版画	一原有徳	SON4 (b)			
版画	一原有徳	ZOM88			
版画	太田三郎	Seed Project マメグンバイナズナ <i>Lepidium virginicu L.</i> 1992年8月6日香川県小豆島寒霞溪			
版画	太田三郎	Seed Project ナナカマド <i>Sorbus commixta Hedl.</i> 1992年12月30日北海道小樽市幸			
版画	太田三郎	Seed Project クジャクソウ <i>Tagetes</i> 1993年6月4日東京都中央区築地			
版画	太田三郎	Seed Project イヌムギ <i>Bromus catharticus Vahl</i> 1993年6月12日東京都練馬区北町			
版画	太田三郎	Seed Project ヤマノイモ <i>Dioscorea japonica Thunb.</i> 1993年11月3日東京都練馬区北町			
版画	太田三郎	Seed Project センダングサ <i>Bidens biternata Merr.et Sherff</i> 1993年12月11日東京都練馬区高松			
版画	太田三郎	Seed Project シロバナタンポポ <i>Taraxacum albidum Dahlst.</i> 1994年4月24日岡山県津山市北園町			
版画	太田三郎	Seed Project チカラシバ <i>Pennisetum alopecuroides Spreng.</i> 1994年10月14日岡山県津山市山北			
版画	太田三郎	Seed Project ツワブキ <i>Farfugium japonicum Kitam.</i> 1995年1月3日岡山県津山市北園町			
版画	太田三郎	Seed Project ヘリクリサム <i>Helichrysum bracteatum</i> 1995年7月26日山形県山形市霞城公園			
版画	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース			
版画	國安孝昌	Wind Field Project			
版画	島 州一	指紋と木目			
写真	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)			
写真	森村泰昌	野菜涅槃 (若冲)			
版画	横尾忠則	葬列II			
版画	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物			
写真	マイク・スターン/ ダグ・スターン	若い娘たち			
写真	デイヴィッド・ホックニー	グラント・キャニオンの北側を見る 1982年9月アリゾナ			
写真	デイヴィッド・ホックニー	京都1993年4月24日			
版画	ロバート・ラウシェンバーグ	スリンガーショット・リット No.8			
版画	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲			

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
油彩	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	「ノルマンディーの風景」展実行委員会	平成14年10月6日	「印象派の故郷、ノルマンディーの風景」展出品 (浜松市美術館、下関市立美術館、尾道市立美術館)
油彩	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景		〃	
油彩	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭		平成15年2月27日	
版画	ジュール・デュプレ	ノルマンディー地方の風景			
版画	シャルル＝フランソワ・ドービニー	ヴィラーヴィル海岸			
版画	ポール・ユエ	オージュ谷のノルマンディー人			
油彩	神田日勝	瘦馬	神田日勝記念館	平成14年11月6日	「生命の証としての馬」展出品 (神田日勝記念館)
油彩	福井正治	北方村落A		〃 平成15年1月23日	
版画	栗谷川健一	牧場の鐘	NHK帯広放送局	平成14年12月10日	「栗谷川健一作品による 北海道の観光ポスター展」 出品 (NHKギャラリー)
版画	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌの娘		〃	
版画	栗谷川健一	湖水の葦		平成14年12月20日	
版画	栗谷川健一	伝説の湖			
版画	栗谷川健一	タンネの斜面			
版画	栗谷川健一	タンネの斜面			
版画	栗谷川健一	サイロの夏			
版画	栗谷川健一	真夏の夢			
版画	栗谷川健一	風車			
版画	栗谷川健一	緑に歌う			
版画	栗谷川健一	赤いエイレーキ			
版画	栗谷川健一	家路			
版画	栗谷川健一	ジャンプ			
版画	栗谷川健一	スキーの源流			
版画	栗谷川健一	麦わら帽子			
版画	栗谷川健一	昇る太陽			

*印については、帯広市寄託作品の一時返却を示す

特別観覧

平成13年度

内 訳	撮 影						複 写	熟 覧	原版使用	その他	合 計
	研 究	展 示	出 版	放 送	上 映	その他 (ネット配信等)					
件 数	0	0	2	2	0	0	0	0	10	0	14

平成14年度

内 訳	撮 影						複 写	熟 覧	原版使用	その他	合 計
	研 究	展 示	出 版	放 送	上 映	その他 (ネット配信等)					
件 数	1	0	2	0	0	1	0	0	3	1	8

平成13年度

◇主展示室

会 期	展覧会名称	実施団体	利用者数
6月23日（土）～ 7月7日（土）	荒木経惟写真展 十勝平野 喜怒哀楽	十勝毎日新聞社	4,096人
内容：「アラーキー」こと荒木経惟は、美術家としても国際的に活躍する写真家。十勝の人と風土に取材した最新作110点と映像作品により、その表現世界を紹介。			

◇講 堂

期 日	事業名称	実施団体	利用者数
9月16日（日）	トヨタ・アートマネジメント講座 帯広セッション 「はじめてのアートマネジメント ー人が動く・地域が目覚める」	トヨタ・アートマネジメント講座 帯広セッション実行委員会	55人

平成14年度

◇主展示室

会 期	展覧会名称	実施団体	利用者数
1月16日（木）～ 1月25日（土）	北海道教職員美術展 帯広開催第5回記念展	北海道教職員共済組合	1,205人
内容：第33回中央展の移動展。5回目の帯広開催を記念して、公募部門と招待部門から絵画、彫刻、工芸、書道、写真の各分野の作品、あわせて139点を展示。			

◇講 堂

期 日	事業名称	実施団体	利用者数
1月5日（土）	デメーテル学校 #003「ドイツ美術事情ー私のギャラリー奮戦記」 #004「カップルを探せ！アートdeお見合い大作戦」	デメーテル学校運営会	23人 20人
1月19日（日）	北海道教職員美術展作品解説会	北海道教職員共済組合	79人
3月22日（土）	JBBリレー講演会 「本とわたしー絵本かきの根っこ」	日本児童図書評議会	45人

名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（平成15年3月31日現在）

役職名	氏 名	現 職
会 長	杉本 久子	主 婦
副会長	瀧川 秀敏	平原社美術協会会長
委 員	大石 嘉映	長谷川産業㈱調査役
委 員	粥川 勝彦	帯広市立光南小学校長（帯広市小学校長会）
委 員	斎藤まさ子	主 婦
委 員	鈴木 武昭	女満別町教育委員会教育長（網走管内教育委員会協議会教育長部会長）
委 員	惣万 恵子	根室市女性のつどい協議会副会長
委 員	高尾 武	鹿追町教育委員会教育長（十勝管内教育委員会連絡協議会教育長部会長）
委 員	高橋 兼夫	阿寒町教育委員会教育長（釧路管内教育委員会連絡協議会教育長部会長）
委 員	早坂 隆治	「街づくりおびひろ」専務取締役
委 員	平間 育子	釧路市女性団体協議会副会長
委 員	松橋 幸子	帯広市婦人団体連絡協議会副会長

*委員の任期は平成13年6月27日から平成15年6月26日まで

北海道立帯広美術館職員名簿

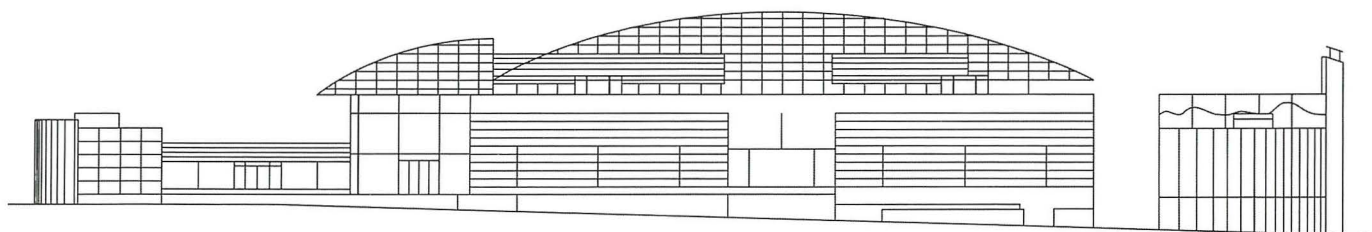
平成13年度（平成14年3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	小野寺 浩	平成13年 4 月 1 日
副館長	大坪 貞昭	平成12年 4 月 1 日
管理課長	佐藤 秀雄	平成12年 4 月 1 日
主 査	鈴木 徳光	平成12年10月 1 日
主 事	山本亜矢子	平成13年 4 月 1 日
学芸課長	寺嶋 弘道	平成 3 年 4 月 1 日
学芸員	鎌田 享	平成 7 年 4 月 1 日
学芸員	石尾乃里子	平成12年 4 月 1 日
主事（非常勤）	伊藤 昭子	平成 9 年 9 月 1 日
主事（非常勤）	川瀬 直美	平成12年 4 月 1 日
主事（非常勤）	菊地 美雪	平成 7 年 4 月 1 日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成 9 年11月 1 日
主事（非常勤）	田中 美香	平成11年 4 月 1 日
主事（非常勤）	冷水 聖子	平成 8 年 4 月 1 日
主事（非常勤）	山川 千里	平成14年 3 月 1 日

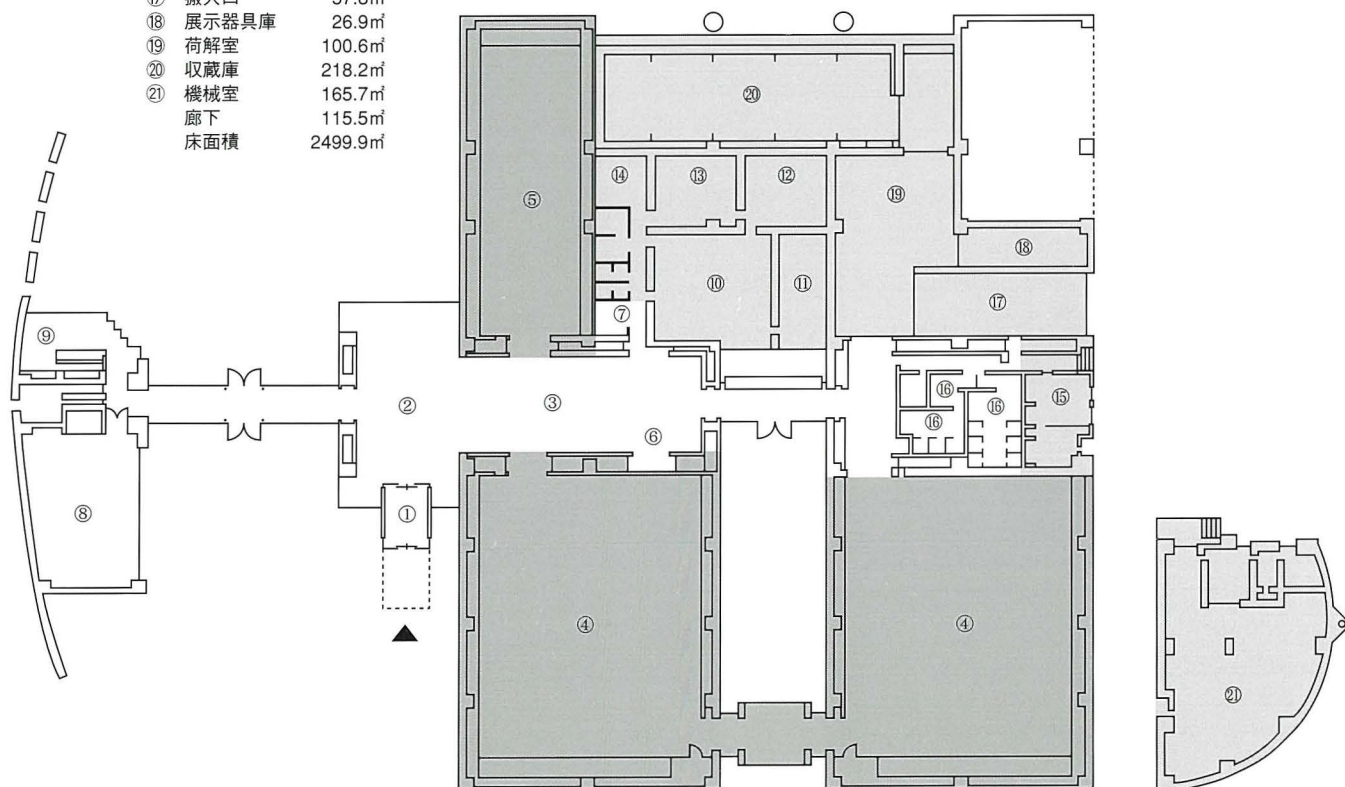
平成14年度（平成15年3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	小野寺 浩	平成13年 4 月 1 日
副館長	浅川 泰	平成14年 4 月 1 日
管理課長	佐藤 秀雄	平成12年 4 月 1 日
主 査	鈴木 徳光	平成12年10月 1 日
主 事	山本亜矢子	平成13年 4 月 1 日
学芸課長	寺嶋 弘道	平成 3 年 4 月 1 日
主任学芸員	平 利弘	平成14年 4 月 1 日
学芸員	石尾乃里子	平成12年 4 月 1 日
主事（非常勤）	赤尾 幸	平成14年 4 月 1 日
主事（非常勤）	伊藤 昭子	平成 9 年 9 月 1 日
主事（非常勤）	菊地 美雪	平成 7 年 4 月 1 日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成 9 年11月 1 日
主事（非常勤）	冷水 聖子	平成 8 年 4 月 1 日
主事（非常勤）	真柳 友子	平成14年 4 月 1 日
主事（非常勤）	山川 千里	平成14年 3 月 1 日

館内案内図



①	風除室	12.1㎡
②	ロビー	123.1㎡
③	ホール	209.9㎡
④	主展示室	841.9㎡
⑤	常設展示室	209.5㎡
⑥	売店	
⑦	授乳コーナー	5.3㎡
⑧	講堂	98.4㎡
⑨	喫茶コーナー	36.7㎡
⑩	事務室	72.3㎡
⑪	館長室	32.9㎡
⑫	資料室	36.0㎡
⑬	会議室	35.7㎡
⑭	準備室	14.7㎡
⑮	管理室	30.2㎡
⑯	トイレ	56.5㎡
⑰	搬入口	57.8㎡
⑱	展示器具庫	26.9㎡
⑲	荷解室	100.6㎡
⑳	収蔵庫	218.2㎡
㉑	機械室	165.7㎡
	廊下	115.5㎡
	床面積	2499.9㎡



展示部門
 管理・事務部門

建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク(公開設計競技最優秀)
●基 本 設 計	アトリエアク・太洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 築	宮坂・萩原・管根・市川・大道共同企業体(1、2期)
電 気 設 備	相互電業(株)(1期)
空調和衛生設備	森設備工業(株)(1期)
電 力 設 備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体(2期)
通 信 設 備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口共同企業体(2期)
衛 生 設 備	フジ・梶山・中林共同企業体(2期)
空調和設備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体(2期)
●総 工 事 費	約13億4千700万円
●工 期	起工 平成元年10月9日 竣工 平成3年3月25日
●敷 地 面 積	7,000㎡
●建 物 面 積	建面積 2,499.99㎡ 延面積 3,521.60㎡
●構 造 概 要	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
●仕 上	
〔外 装〕	
外 壁	大理石(ライムストーン) コンクリート打放し小叩仕上 アルミパネル
屋 根	アルミ垂鉛メッキ銅板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
〔内 装〕	
ロビー・ホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビー・ホール壁	大理石(ライムストーン) 合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁	石膏ボード 一部ラワンベニア下地クロスEP仕上
ロビー・ホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸音板EP仕上

設備概要

●電 気 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6KV 変圧器容量 450KVA
非常電源設備	ディーゼル機関123PS 3,000RPH 発電機 98KVA 3相 200V
動 力 設 備	防災用動力 排煙機 11KW×3 消火ポンプ5.5KW×1
電 灯 設 備	展示室 壁面照明 退色防止蛍光灯(調光式) ロビー 間接照明 蛍光灯 講 堂 ワイヤメッシュ天井内埋込蛍光灯
電 話 設 備	電子ボタン電話
放 送 設 備	防災一般兼用アンプ160W
テレビ共聴設備	OCTV(帯広ケーブルTV)による共聴
火災報知設備	P1級受信機
視聴覚設備	上降式ビデオプロジェクター 1式 音声・映像ラック 1式 映写設備(16mmフィルム、35mmスライド)1式
●機械設備	
空調和設備	
設定温湿度	
常設展示室、主展示室	
夏	24℃(21～25℃)55%(50～60%)
冬	23℃(21～24℃)50%(45～55%)
収蔵庫、展示ケース	
年間22℃(20～24℃)55%(40～60%)	
*()内は可変調整範囲、設定精度は温度±1℃ 湿度±3%	
熱源機器	
空冷チリングユニット	冷却能力 240,000Kcal/H
吸収式冷温水発生機	冷却能力 100USRT 暖房能力 253,000kcal/H
温 水 機	暖房能力 500,000kcal/H
空調和機	
主展示室	2系統
常設展示室、荷解室	1系統
展示ケース	1系統
収蔵庫	1系統
ロビー、ホール	1系統
管理諸室	1系統
衛生設備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電気温水機
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立帯広美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長、室田浩志発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成、開館記念式、屋外彫刻除幕（平成 3 年 9 月21日） 一般公開（平成 3 年 9 月22日）
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成 4 年 5 月21日授賞式）
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞（平成 4 年 6 月18日授賞式）
平成 4 年12月	第9回帯広市都市景観賞受賞（建物）（平成 4 年12月 4 日授賞式）
平成 6 年 4 月	第 2 代館長、阿部蛟発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞（平成 7 年12月 7 日授賞式）
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成（平成 8 年 6 月11日）
平成 9 年 1 月	開館 5 周年記念式（平成 9 年 1 月17日）
平成 9 年 4 月	第 3 代館長、長谷川吉廣発令
平成11年 7 月	第 4 代館長、上原脩平発令
平成13年 1 月	入館者80万人達成（平成13年 1 月 7 日）
平成13年 4 月	第 5 代館長、小野寺浩発令
平成13年10月	開館10周年記念式（平成13年10月31日）

観覧者数一覧

平成13年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=D+E (1日当たり)	個 人			団 体／前 売				有料観覧者計 D=B+C (／A)	無料免除招待 E (／A)	
				一 般 (／B)	高大生 (／B)	小中生 (／B)	計 B (／A)	一 般 (／C)	高大生 (／C)	小中生 (／C)			計 C (／A)
コレクション・ギャラリー		4月6日 ┌ 12月12日 (191日)	12,786人 (66.9424人)	4,706人 (96%)	*192人 (4%)		4,898人 (38%)	527人 (87%)	*78人 (13%)		605人 (5%)	5,503人 (43%)	7,283人 (57%)
特 別 展	帯広美術館 コレクション選集	4月6日 ┌ 5月16日 (35日)	2,361人 (67.4571人)	1,411人 (97%)	51人 (3%)		1,462人 (62%)	31人 (100%)	0人 (0%)		31人 (1%)	1,493人 (63%)	868人 (37%)
	アレクサンダー・ カルダー展	5月22日 ┌ 6月17日 (24日)	3,446人 (143.583人)	1,397人 (87%)	77人 (5%)	140人 (9%)	1,614人 (47%)	252人 (29%)	88人 (10%)	529人 (61%)	869人 (25%)	2,483人 (72%)	963人 (28%)
	中国美術の精華	7月13日 ┌ 9月5日 (47日)	5,075人 (107.979人)	2,356人 (90%)	115人 (4%)	157人 (6%)	2,628人 (52%)	813人 (67%)	43人 (4%)	356人 (29%)	1,212人 (24%)	3,840人 (76%)	1,235人 (24%)
	2001年シネマ・ オデッセイ	9月14日 ┌ 10月24日 (35日)	4,586人 (131.029人)	1,908人 (90%)	117人 (5%)	102人 (5%)	2,127人 (46%)	1,022人 (64%)	30人 (2%)	542人 (34%)	1,594人 (35%)	3,721人 (81%)	865人 (19%)
	バルビゾンと 田園の画家たち	11月1日 ┌ 12月12日 (37日)	5,925人 (160.135人)	2,452人 (91%)	96人 (4%)	134人 (5%)	2,682人 (45%)	313人 (18%)	1人 (0%)	1,401人 (82%)	1,715人 (29%)	4,397人 (74%)	1,528人 (26%)
	美術への扉ー コレクション十年十色	12月21日 ┌ 3月27日 (76日)	2,660人 (35人)	1,218人 (96%)	55人 (4%)		1,273人 (48%)	128人 (100%)	0人 (0%)		128人 (5%)	1,401人 (53%)	1,259人 (47%)
	計	6回 (254日)	24,053人 (94.6969人)	10,742人 (91%)	511人 (4%)	533人 (5%)	11,786人 (49%)	2,559人 (46%)	162人 (3%)	2,828人 (51%)	5,549人 (23%)	17,335人 (72%)	6,718人 (28%)
	計 (コレクション・ギャラリー+特別展)		7回 (445日)	36,839人 (82.7842人)	15,448人 (93%)	703人 (4%)	533人 (3%)	16,684人 (45%)	3,086人 (50%)	240人 (4%)	2,828人 (46%)	6,154人 (17%)	22,838人 (62%)
貸 館	荒木経惟写真展 十勝平野・喜怒哀楽	6月23日 ┌ 7月7日 (13日)	4,096人 (315.077人)	1,483人 (96%)	58人 (4%)	0人 (0%)	1,541人 (38%)	1,898人 (96%)	34人 (2%)	48人 (2%)	1,980人 (48%)	3,521人 (86%)	575人 (14%)
合 計		8回 (458日)	40,935人 (89.3777人)	16,931人 (93%)	761人 (4%)	533人 (3%)	18,225人 (45%)	4,984人 (61%)	274人 (4%)	2,876人 (35%)	8,134人 (20%)	26,359人 (64%)	14,576人 (36%)

*印については大学生のみの人数を示す

平成14年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=D+E (1日当たり)	個 人				団 体／前 売				有料観覧者計	無料免除招待
				一 般 (／B)	高大生 (／B)	小中生 (／B)	計 B (／A)	一 般 (／C)	高大生 (／C)	小中生 (／C)	計 C (／A)	D=B+C (／A)	E (／A)
コレクション・ギャラリー		4月9日 ～ 3月26日 (260日)	17,232人 (66.27692人)	6,492人 (95%)	*331人 (5%)		6,823人 (40%)	900人 (85%)	*162人 (15%)		1,062人 (6%)	7,885人 (46%)	9,347人 (54%)
特 別 展	さくらに見る日本の美	4月9日 ～ 5月15日 (32日)	12,463人 (389.4688人)	8,667人 (94%)	220人 (2%)	303人 (3%)	9,190人 (74%)	1,185人 (89%)	11人 (1%)	136人 (10%)	1,332人 (11%)	10,522人 (84%)	1,941人 (16%)
	岡本太郎と縄文	5月24日 ～ 7月3日 (35日)	4,083人 (116.6571人)	1,843人 (96%)	52人 (3%)	25人 (1%)	1,920人 (47%)	346人 (31%)	71人 (6%)	689人 (62%)	1,106人 (27%)	3,026人 (74%)	1,057人 (26%)
	ニルス＝ウド展 【自然へ】	7月12日 ～ 9月16日 (58日)	6,378人 (109.9655人)	2,157人 (86%)	270人 (11%)	86人 (3%)	2,513人 (39%)	1,145人 (48%)	151人 (6%)	1,095人 (46%)	2,391人 (37%)	4,904人 (77%)	1,474人 (23%)
	寺島春雄展	9月27日 ～ 11月14日 (43日)	2,546人 (59.2093人)	1,064人 (96%)	31人 (3%)	16人 (1%)	1,111人 (44%)	297人 (72%)	0人 (0%)	116人 (28%)	413人 (16%)	1,524人 (60%)	1,022人 (40%)
	帯広美術館 コレクション選集	11月22日 ～ 1月10日 (36日)	1,042人 (28.9444人)	363人 (95%)	18人 (5%)		381人 (37%)	101人 (100%)	0人 (0%)		101人 (10%)	482人 (46%)	560人 (54%)
	絵本原画の世界展	1月31日 ～ 3月26日 (47日)	17,068人 (363.1489人)	5,128人 (90%)	340人 (6%)	251人 (4%)	5,719人 (34%)	2,826人 (51%)	75人 (1%)	2,670人 (48%)	5,571人 (33%)	11,290人 (66%)	5,778人 (34%)
	計	6回 (251日)	43,580人 (173.6255人)	19,222人 (92%)	931人 (4%)	681人 (3%)	20,834人 (48%)	5,900人 (54%)	308人 (3%)	4,706人 (43%)	10,914人 (25%)	31,748人 (73%)	11,832人 (27%)
計 (コレクション・ギャラリー+特別展)		7回 (511日)	60,812人 (119.0059人)	25,714人 (93%)	1,262人 (5%)	681人 (2%)	27,657人 (45%)	6,800人 (57%)	470人 (4%)	4,706人 (39%)	11,976人 (20%)	39,633人 (65%)	21,179人 (35%)
貸 館	北海道教職員美術展	1月16日 ～ 1月25日 (9日)	1,205人 (133.8889人)										1,205人 (100%)
合 計		8回 (520日)	62,017人 (119.2635人)	25,714人 (93%)	1,262人 (5%)	681人 (2%)	27,657人 (45%)	6,800人 (57%)	470人 (4%)	4,706人 (39%)	11,976人 (19%)	39,633人 (64%)	22,384人 (36%)

*印については大学生のみの人数を示す

平成13年—14年度
北海道立帯広美術館年報

発行日 平成16年3月25日

発行者 北海道立帯広美術館

〒080-0846

帯広市緑ヶ丘2番地

Tel. (0155) 22-6963

印刷所 大同出版紙業株式会社

©Hokkaido Obihiro Museum of Art 2004

